

博物館、名所と旧跡

Casa Museu Miguel Torga

住所： Praceta Fernando Pessoa, nº 33030 Coimbra

電話： +351 239 781 345

Eメール: geral@cm-coimbra.pt

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備, ホール; 支援スキル:

視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

ミゲル・トルガ・ハウスミュージアム

ミゲル・トルガ・ハウスミュージアムは2007年8月12日に開設されました。この美術館の主な目的は、詩人ミゲル・トルガの人生におけるもっとも象徴的な場所、つまり彼の家を通じて作品の知識を見る人に提供することです。

ミゲル・トルガ [Miguel Torga] は20世紀のポルトガル文学におけるもっとも偉大な人物であり、この家には1950年初めから1995年1月まで暮らしていました。ここでは一般向けに特に文化的活動を提供し、ガイドツアーや教育プログラムも提供しています。

Museu Municipal de Alcoutim - Núcleo de Arqueologia do Castelo da Vila

住所： Rua do Município, 12, 8970-066 Alcoutim

電話： (+351) 281 540 545

Eメール: museu@cm-alcoutim.pt ウェブサイト: <https://museudealcoutim.pt/museu/nucleos/nucleo-museologico-de-arqueologia/>

アルクテーティム市立博物館は、民族誌学、考古学、地方史、古代美術などのいくつかの展示核を統合しています。

考古学博物館センターは、アルクテーティム城 (Castelo de Alcoutim) 内に設置され、「アルクテーティムの考古学的遺産」展を開催しています。この展示は、多かれ少なかれ遠い過去において現在アルクテーティムとなっている領土が経験した文化と知識を伝えようとする、千年の記憶が染み込んだ歴史的な旅です。

ここに展示されているのは時代を超越したゲーム、すなわち ゲームボードとゲームストーンのコレクションであり、イスラム時代のボードゲームの最大のコレクションと、ポルトガルで知られているマンカラの唯一の例が含まれています。アルクテーティムの古城 (Castelo Velho de

Alcoutim) で実施された考古学的発掘調査で見つかったこのコレクションをご覧ください。このコレクションは、完全なものと断片化されたものを含む 39 枚の板と18 個の小さなゲームストーンで構成されています。

片岩スラブに刻まれたこれらのボードは、6

Museu de Cerâmica de Sacavém

住所： - Urbanização Real Forte, Rua Álvaro Pedro Gomes (piso 1) - 2685-137 Sacavém- Pr. Manuel Joaquim Afonso (piso 0) - 2685-145 Sacavém

電話： +351 211 150 536 - 211 151 083/4

Eメール: dcmuseus@cm-loures.pt ; seceramica@cm-loures.pt

ウェブサイト: [https://www.cm-](https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527)

[loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527](https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527)

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

サカヴェン陶磁器博物館 (Museu de Cerâmica de Sacavém) サカヴェン工場は、1856年にマヌエル・ジョアキン・アフォンソが設立し、ジョン・スコット・ハウース、ジェームズ・ギルマン、クライヴ・ギルバートが引き継ぎました。ファイアンス焼きの製造で有名になり、当初よりヨーロッパで最高の陶磁器工場のひとつに数えられていました。この工場が評判となった理由のひとつは、長石を使ったファイアンス焼きの食器類の大量生産をポルトガルで初めて手がけた工場がここであり、アズレージョや便器やモザイクの大量生産を最初に始めた工場でもあったことです。

このように数々の成功をおさめ、革新性を持ちあわせていたにもかかわらず、この工場は時代の変化に適応することができず、1979年に倒産しました。それから10年の時を経て、かつての工場の記憶を後世に残していくために、2000年に陶磁器博物館がオープンしました。この博物館は18番の窯を中心につくられています。窯は円形をしており、美しさに定評があったサカヴェン工場のさまざまな製品が通っていった取り出し口が10ヶ所についています。その他のスペースは、すべてこの窯を中心にアレンジされており、5,000点を超える磁器と約100点のアズレージョが展示されています。複数の展示室と、テージョ川 (Rio Tejo) を見渡せる素晴らしいテラスがあるほか、作業所では以前サカヴェン陶磁器工場 で働いていた作業員が再現する昔の製造工程を見学することもできます。

サカヴェン陶磁器博物館は、英国のヨーロッパ博物館フォーラムから、産業遺産部門の最優秀賞を授与されています。

Museu Virtual Aristides de Sousa Mendes

ウェブサイト: <http://mvasm.sapo.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

アリスティデス・デ・ソウザ・メンデス・ヴァーチャル博物館 (Museu Virtual Aristides de Sousa Mendes) 第二次世界大戦中の在ポルトガル領事、アリスティデス・デ・ソウザ・メンデス (Aristides de Sousa Mendes) に関するこの博物館は、ポルトガル政府の意向に背いた彼の行動を、当時の状況とあわせ語り伝えるものです。彼は本国の指示を意図的に無視し、さまざまな国籍からなる約3万人の人々にビザを発給しました。その多くはナチスによる迫害を逃れるユダヤ人でした。本展は、国内外の公文書館所蔵の書類・未編集映像資料をもとに、年代と関連する出来事により3つの回廊 戦争の回廊、逃亡の回廊、自由の回廊で構成。自由の回廊は、亡命者の避難先となったポルトガル国内の土地 (リスボン、コインブラ (Coimbra)、その他エストリル (Estoril) シントラ (Sintra)、カスカイス (Cascais)、カルダス・ダ・ライニャ (Caldas da Rainha)、フィゲイラ・ダ・フォス (Figueira da Foz)、ルーゾ (Luso)、ブサコ (Buçaco)、クーリア (Cúria) などの海辺の保養地や温泉地) に焦点をあてています。館内では、文書資料、写真資料、命

つの異なるゲーム類型に分類されます。Alquerque、Tabula、Moinho、Trilha、Tic-tac-toe、Mancala、そして Jogo do Soldado です。

聖バーバラ城 (Castro de Santa Bárbara) としても知られる古城もぜひ訪れてみてください。町の最高地点に位置し、この地域で最も素晴らしいビューポイントを提供しています。ポルトガルのイスラム時代の最も注目するモニュメントの1つと考えられている古城は、アルガルヴェで最も重要なイスラム教徒の軍事的建造物の1つです。これは、イスラム教徒の占有の階層が今も残っているためであり、さまざまな考古学的資料がここで発見されています。

を救われた亡命者の証言などを見ることができます。

アソーレス諸島

Angra do Heroísmo

Casa Etno-Museu Dr. Marcelino Moules

住所: Estrada Dr. Marcelino Moules, nº41 Cinco Ribeiras 9700 Angra do Heroísmo

電話: +351 295 907 063 - 295 907 169 **ファックス:** +351 295 907 063

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Museu de Angra do Heroísmo

住所: Edifício de São Francisco 9701-875 Angra do Heroísmo

電話: +351 295 240 800 **ファックス:** +351 295 240 817 / 295 240 818

Eメール: museu.angra.info@azores.gov.pt **ウェブサイト:** <http://museu-angra.azores.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Palácio dos Capitães Gerais

住所: Rua do Palácio 9700 Angra do Heroísmo

電話: +351 295 402 300 **ファックス:** +351 295 213 959

Eメール: filipa.vf.silva@azores.gov.pt; teresa.mq.mendes@azores.gov.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Horta

Museu da Horta

住所: Palácio do Colégio Largo Duque d'Ávila e Bolama 9900-141 Horta
電話: +351 292 208 570 **ファックス:** +351 292 208 577
Eメール: museu.horta.info@azores.gov.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ;

オルタ博物館

元はイエズス会のコレジオだった場所にあり、ファイアル島（Ilha do Faial）の最も重要な建物の1つであるオルタ博物館（Museu da Horta）では、広い範囲の歴史をカバーする島の文化遺産の重要な作品の多種多様なコレクションを展示しています。見所としては、民族学セクションと16~20世紀の絵画コレクションがあり、その中でもアントニオ・ダコスタ（António Dacosta）、マヌエル・ラパ（Manuel Lapa）、マリオ・セザリニー（Mário Cesariny）、ソウサ・ピント（Sousa Pinto）が有名です。常設展示では、芸術家エウクリデス・ロザ（Euclides Rosa）がイチジクの木の下で彫り出した独特な作品コレクションを鑑賞し、19世紀中頃からファイアル島で行われてきた芸術を思い出すことができます。オルタ博物館には、カペリニョス火山（Vulcão dos Capelinhos）にも別館があります。

Museu de Scrimshaw

住所: Rua José Azevedo, 9 9900-027 Horta
電話: +351 292 292 327 **ファックス:** +351 292 391 287
Eメール: peter.pt@mail.telepac.pt **ウェブサイト:** <http://www.petercafesport.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

スクリムショウ美術館 ファイアル島（Ilha do

Faial）でぜひお薦めしたい場所はスクリムショウ博物館（Museu de Scrimshaw）です。そこには、マッコウクジラの歯から彫り出されて彫刻や薄浮き彫りがほどこされたすばらしい作品群があります。

これは、となりの「ピーター・スポーツ・カフェ（Peter Sports Café）」のオーナーが所有する個人のコレクションであり、このカフェは世界中の船乗りの有名な集会所になっています。彼らが何年にもわたって書き残してきたノートも博物館に展示されています。

Ilha Terceira

Museu do Vinho dos Biscoitos

住所: Canada do Caldeiro Biscoitos 9760-054 Praia da Vitória
電話: +351 295 908 305 **ファックス:** +351 295 908 404

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ;

Ilha da Graciosa

Museu da Graciosa

住所: Rua das Flores, 2 9880-364 Santa Cruz da Graciosa
電話: +351 295 712 429 **ファックス:** +351 295 732 427
Eメール: museu.graciosa.info@azores.gov.pt **ウェブサイト:** <http://museus.azores.gov.pt/default.aspx>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Ilha das Flores

Museu das Flores

住所: Convento de São Boaventura Largo da Misericórdia 9970 Santa Cruz das Flores

電話: +351 292 592 159 **ファックス:** +351 292 593 581

Eメール: museu.flores.info@azores.gov.pt **ウェブサイト:**

<http://museus.azores.gov.pt/default.aspx>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Ilha de Santa Maria

Museu de Santa Maria

住所: Rua do Museu s/n, Santo Espírito9580-238 Vila do Porto

電話: +351 296 884 844 **ファックス:** +351 296 884 916

Eメール: museu.smaria.info@azores.gov.pt **ウェブサイト:**

<http://www.museu-santamaria.azores.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Ilha de São Jorge

Museu Francisco de Lacerda

住所: Rua José Azevedo da Cunha 9850-038 Calheta (S. Jorge)

電話: +351 295 416 323 **ファックス:** +351 295 416 555

Eメール: museu.flacerda.info@azores.gov.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; カフェテリア;

Ilha de São Miguel

Museu Municipal da Ribeira Grande

住所: Rua São Vicente Ferreira 9600 Ribeira Grande

電話: +351 296 470 736 **ファックス:** +351 296 472 720

Eメール: museumunicipal@cm-ribeiragrande.pt **ウェブサイト:**

<http://www.cm-ribeiragrande.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Museu Municipal de Vila Franca do Campo

住所: Rua Visconde Botelho, 13 9680-115 Vila Franca do Campo

電話: +351 296 539 282 **ファックス:** +351 296 539 105

Eメール: museuvfc@cmvfc.pt **ウェブサイト:** <http://www.cmvfc.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

Ilha do Pico

Museu da Indústria Baleeira

住所：Rua do Poço 9940-361 São Roque do Pico

電話：+351 292 679 349

Eメール: museu.pico.info@azores.gov.pt ウェブサイト：
<http://www.museu-pico.azores.gov.pt/museu/museu-da-industria-baleeira/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

捕鯨産業博物館 (Museu da Indústria Baleeira) は現在、ホエールポート工場跡地にあり、ここではそれほど遠くない昔にアソーレス諸島 (arquipélago dos Açores) の主要な活動の1つとして捕獲された鯨からの副産物が生産されていました。この工場は1946～1984年まで操業していました。この種類の産業博物館で最良の博物館の1つとして国際的に公式認定されているこの博物館では、鯨を油と粉末に加工するときに使用するボイラー、かまど、機械類、その他の設備が展示されています。

Museu dos Baleeiros

住所：Rua dos Baleeiros, nº 13 9930-143 Lajes do Pico

電話：+351 292 679 340

Eメール: museu.pico.info@azores.gov.pt ウェブサイト：
<http://www.museu-pico.azores.gov.pt/museu/museu-dos-baleeiros/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

捕鯨博物館 ピコ島 (Ilha do Pico) とアソーレス諸島 (Azores) の歴史における最も重要な活動の1つ、捕鯨についてあらゆることを理解しましょう。現在、ラジェス・ド・ピコ (Lajes do Pico) では、3軒の古い家に設けられた捕鯨博物館 (Museu dos Baleeiros) を訪ねることができますが、これらの家ではかつて捕鯨船員がボートを預けたり、鍛冶屋の古ぼけた炉を保持していました。これらの家は19世紀の建物であり、元の特徴を依然として数多く残しています。捕鯨に使用された道具と備品のコレクション、および「スクリムショー」として知られる大衆的な芸術形式である、鯨の骨と歯から彫り出されて彫刻をほどこされた作品も博物館に展示されています。

Ponta Delgada

Museu Carlos Machado

住所：Rua João Moreira 9500-075 Ponta Delgada

電話：+351 296 283 814 ファックス：+351 296 629 504

Eメール: museu.cmachado.edu@azores.gov.pt ウェブサイト：
<http://museucarlosmachado.azores.gov.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu do Vinho

住所：Rua do Carmo 9950-364 Madalena do Pico

電話：+351 292 679 348

Eメール: museu.pico.info@azores.gov.pt ウェブサイト：
<http://www.museu-pico.azores.gov.pt/museu/museu-do-vinho/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

このピコ博物館 (Museu do Pico) - ワイン博物館 (Museu do Vinho) は、ワイン製造に興味がある人たちと、ピコ島 (Ilha do Pico) でのワイン生産の歴史についてもっと知りたい人たちのために特別に設計されています。ピコ島のブドウ園文化の景観は、UNESCOによって2004年に世界遺産に登録されました。

ワイン博物館はピコ地域博物館 (Museu Regional do Pico) の分館の1つです。地域博物館には、ラジェス (Lajes) の町の捕鯨博物館 (Museu dos Baleeiros) とサン・ロケ・ド・ピコ (São Roque do Pico) の捕鯨産業博物館 (Museu da Indústria Baleeira) も含まれています。

アルガルヴェ

Albufeira

Museu Municipal de Arqueologia de Albufeira

住所 : Praça da República, n.º 18200-081 ALBUFEIRA

電話 : +351 289 599 508

Eメール: museu.municipal@cm-albufeira.pt **ウェブサイト** :
<https://www.cm-albufeira.pt/content/museu-municipal-de-arqueologia>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Aljezur

Museu do Mar e da Terra da Carrapateira

住所 : Rua do Pescador 8670-230 Carrapateira

電話 : +351 282 970 000 **ファックス** : +351 282 998 417

Eメール: museu-carrapateira@cm-aljezur.pt

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

この博物館は、カラパテイラ（Carrapateira）の村の中にあり、地域ならではの博物館という新しい世代の博物館です。ともすれば継承が難しくなっている、この地域の伝統行事を紹介しています。

Museu Municipal de Aljezur

住所 : | Largo 5 de Outubro | 8670-053 ALJEZUR

電話 : +351 282990010 (Câmara Municipal de Aljezur)

ウェブサイト : <https://cm-aljezur.pt/pt/menu/246/museu-municipal.aspx>

アルジェズール市立博物館は、市庁舎として使用されていた 19 世紀の建物を利用しています。考古学、民族誌、イスラム文化の 3 つのセクションがあります。

イスラムの存在が[アルジェズール](#)

の町の創造とその文化において重要であったことに重きを置き、博物館は特別展示エリアをイスラム専用としています - アンダルシア人の遺産ルームには、街のさまざまな場所で実施された考古学発掘調査で収集されたイスラム時代のコレクションが収蔵展示されています。

博物館への訪問とあわせて、アルジェズールの歴史文化・環境周回コースを辿ると理解を深められます。本周回コースは、5.5 km の道すがら、アルジェズールの町とそれを取り囲む郊外エリアにある歴史スポットを巡れるようになっており、ルートの解説と案内を支援する音声ガイドが付いています。

Faro

Museu Municipal de Faro

住所 : Largo Afonso III, nº 14 8000-167 Faro

電話 : +351 289 870 827/9 **ファックス** : +351 289 870 038

Eメール: dmar.dc@cm-faro.pt **ウェブサイト** : <http://www.cm-faro.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

アルガルヴェに創設された 2 番目の博物館であり、1894 年にナビゲーターの生誕 500 周年を記念して、Museu Arqueológico e Lapidar Infante D. Henrique に名称変更されました。

Museu Regional do Algarve

住所 : Praça da Liberdade, 2 8000-164 Faro

電話 : +351 289 870 893 **ファックス** : +351 289 870 038

Eメール: dmar.dc@cm-faro.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; レストラン;

最初の施設は市役所の建物内にありました。1913年に、コレクションは旧カプチン派聖アントニオ修道院の教会に移され、1971年に現在の敷地である国定記念建造物・聖母被昇天男子修道院 (Mosteiro de Nossa Senhora da Assunção) に移されるまでそこにとどまりました。

考古学的遺構は、先史時代、ローマ時代、中世の時代からの品々を寄せ集めた最も重要なものです。ローマ時代の最も重要な遺構としては、2世紀から3世紀にかけてのモザイク、ハドリアヌスとアグリッピナの皇帝の胸像、オッソノバの碑文のコレクションがあります。

展覧会のもう一つの旧蔵書は、碑文が刻まれた大理石の墓石であり、シルヴェスの塔の建設を示しています。おそらく、その都市の防御システムを強化することを目的とした太陽の門 (ポルタ・ド・ソル) の塔です。華美な装飾が施された碑文は、誰が門の建設を命じたのかを特定しています - アルマンゾールの息子であるアルモハドの王子アブール・ウラ・イドリース (Abu l-Ula Idris) です。彼の名前は、イブン・マフフズ (Ibn Mahfuz) がアルモハドに反抗してシルヴェスに小さな独立王国を建設したときにマフフズの手により消されました。

質の高いコレクションは、かつてアルガルヴェの寺院に寄贈されていた宗教的な標本を中心とした16世紀から19世紀の絵画です。カルロス・ポルフィリオ (Carlos Porfirio) がアルガルヴェの伝説を描いた20世紀の絵画も非常に重要なものです。

ファロ市立博物館は、2002年5月からポルトガル博物館ネットワークに参加しています。

2005年11月には、ポルトガル博物館学協会によって最高のポルトガル博物館として APOM 博物館学賞 - トリエニウム 2003/05 が授与されました。

Lagos

Museu Municipal Dr. José Formosinho (Museu Regional de Lagos)

住所: Rua General Alberto da Silveira 8600-594 Lagos

電話: +351 282 762 301 ファックス: +351 282 782 058

Eメール: museu@cm-lagos.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;

ジョゼ・フォルモシニョ博士博物館 (Museu Municipal Dr. José Formosinho) - ラゴス博物館 (Museu Regional de Lagos)

この博物館は、サント・アントニオ教会 (Igreja de Santo António) の別館を利用して、1934年に創設されました。コンプロミッソ・マリティモ教会 (Igreja do Compromisso Marítimo) にあったルネッサンス様式のポルティコ (柱廊玄関) が移築されており、地元アーティストが制作した鉄の門が取り付けられています。館内には、さまざまなセクションに分けられた膨大な数の所蔵品が展示されています。考古学セクションには、新石器時代、ポルトガル イベリア時代、ローマ時代、アラブ時代の品々があります。教会の聖具室を利用した宗教美術セクションには、18世紀の絵画が展示されています。ラゴスの歴史セクションには、1504年にマヌエル1世から与えられたラゴス勅許状 (Foral de Lagos) や街の鍵 (Chave da Cidade) があります。アルガルヴェの民族誌のセクションでは、オリーブ油を運ぶのに使われていた伝統的な運搬手段が、小さな口バの剥製を使って再現されています。古銭セクションには、ポルトガルや旧ポルトガル植民地の硬貨が展示されています。鉱物や海外の民族誌を取り上げたセクションもあります。

Loulé

Museu Municipal de Loulé

住所：Rua D. Paio Peres Correia, 17 8100-564 Loulé

電話：+351 289 093 227 ファックス：+351 289 415 557

Eメール: luis.guerreiro@cm-loule.pt ウェブサイト： <http://www.cm-loule.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ロウレー考古学市立博物館（Museu Municipal de Arqueologia de Loulé）街の城壁に隣接する、14世紀に建てられた旧総督邸の2部屋を利用した博物館です。ローマ時代、ローマ 西ゴート時代、イスラム時代の重要な遺物や、14世紀～17世紀の品々など、原史から中世にかけての遺物が数多く展示されています。

Portimão

Museu de Portimão

住所：Rua D. Carlos I 8500-607 Portimão

電話：+351 282 405 230 ファックス：+351 282 405 277

Eメール: museu@cm-portimao.pt ウェブサイト：
<http://www.museudeportimao.pt/>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

São Brás de Alportel

Museu do Trajo

住所：Rua Dr. José Dias Sancho, 61 8150-141 São Brás de Alportel

電話：+351 289 840 100

Eメール: geral@museu-sbras.com ウェブサイト： <http://www.museu-sbras.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

アルガルヴェ民族衣装博物館（Museu Etnográfico do Traje Algarvio）コルクの商いで財をなしたラバ引きの住まいを利用した博物館です。この建物は、19世紀末のブルジョワ建築の典型的な例と言えます。19～20世紀のアルガルヴェ（Algarve）で見られた代表的な衣装に加え、大衆的な宗教彫刻の数々も展示されています。農業に使用されていた建物には、かつてアルガルヴェで使われていた約20台の古い乗物が展示されています。その他にも農業用具セクションや、コルクとコルク産業に関するセクションが設けられています。

Silves

Museu Municipal de Arqueologia de Silves

住所：Rua das Portas de Loulé, 14 8300-139 Silves

電話：+351 282 444 832 - 282 440 838 - 282 440 800 ファックス：
+351 282 440 862

Eメール: dctp@cm-silves.pt ウェブサイト: <https://www.cm-silves.pt/pt/menu/547/museu-municipal-de-arqueologia-de-silves.aspx>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

シルヴェス市立考古学博物館 (Museu Municipal de Arqueologia de Silves)

シルヴェス市立考古学博物館は、コレクション全体の蔵書票であり、ポルトガルのイスラム遺産の宝石である、12世紀から13世紀のアルモハド貯水池について、市議会のイニシアチブによって1990年に創設されました。

16世紀には完全にぎゅうぎゅう詰めにされたこのスペースは、19世紀には住宅地として機能するようになります。この貯水池は、保存状態が良く、深さ約18メートル、直径2.5

メートルのアルモハド時代の建造物であることが1980年代の考古学的発掘調査によって明らかになりました。3つの窓が異なる高さで開き、井戸の充填レベルに応じた水の利用を可能にする「らせん階段」の存在は、ポルトガルのイスラム建築の珍しい作品であり、かつユニークな例であり、国定記念建造物として分類されています。

この地域で発見された考古学的発見に由来する博物館のコレクションは、先史時代、ローマ時代、イスラム時代、現代の年代順にさまざまな切り口でまとめられています。

半島南西部の記述の記録とともに鉄器時代の葬儀の星印があることも言及に値します。これはまだ解読されていませんが、この地域の最初の記述であると考えられています。

Tavira

Museu Municipal de Tavira / Palácio da Galeria

住所：Palácio da Galeria - Calçada da Galeria 8800-306 Tavira

電話：+351 281 320 540 ファックス：+351 281 322 888

Eメール: museu@cm-tavira.pt ウェブサイト:

<http://museumunicipaldetavira.cm-tavira.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路:

一部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;

バリアフリーのエリア / サービス: 身体障害者用設備; バリアフリー情報:

案内板, 凡例;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Vila Real de Santo António

Galeria Manuel Cabanas

住所：Centro Cultural António Aleixo Rua Dr. Teófilo Braga 8900-303

Vila Real de Santo António

電話：+351 281 510 045 ファックス：+351 281 510 049

Eメール: geral@cm-vrsa.pt ウェブサイト：http://www.cm-vrsa.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

アレンテージョ

Aljustrel

Museu Municipal de Aljustrel

住所：Rua de São João de Deus, 19 7600-116 Aljustrel

電話：+351 284 600 170 ファックス：+351 284 600 179

Eメール: museu@mun-aljustrel.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー;

市立考古学博物館 (Museu Municipal de

Arqueologia) - アルジュストレル (Aljustrel) アルジュストレルの市立考古学博物館では、この地域で行われた考古学的発掘調査によって発見されたさまざまな発掘品のコレクションを展示しています。ここに展示されている鉱物や岩石の大半は、アルジュストレル、ネヴェス コルヴォ (Neves-Corvo)、サン・ドミンゴス (São

Domingos) の鉱山で採掘されたものです。現在この博物館では、「アルジュストレルにおける鉱物2000年の歴史」展が開かれています。この展覧会は、地域一帯におけるローマ時代から現在までの採鉱の歴史を説明し、技術的な面やこの鉱山の街の日常生活についても紹介しています。

Alpiarça

Casa-Museu dos Patudos

住所：Rua José Relvas 2090-102 Alpiarça

電話：+351 243 558 321 - 243 559 100 ファックス：+351 243 556

444

Eメール: museudospatudos@cm-alpiarca.pt ウェブサイト:

http://www.cm-alpiarca.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

パトゥードス美術館 (Casa-Museu dos Patudos) パトゥードス美術館は、20世紀初頭のポルトガルの美の伝統を今に伝える非常に魅力的な建物を使った美術館です。この建物は、所有者のジョゼ・レルヴァスの注文に基づいて、ドイツの大建築家A・ハウプトの弟子である若き建築家ラウル・リノが設計したもので、当時のロマン主義を反映したさまざまな建築上の特徴を備えています。室内は、貴重な芸術品が多数飾られているにもかかわらず、繊細さと教養とセンスを備えた雰囲気、居心地のよ

Núcleo Rural de Ervidel

住所：Rua do Poço 7600 Ervidel

電話：+351 284 645 247

Eメール: museualjustrel@mail.telepac.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

い親しみ深さを感じます。こうした雰囲気も、普通の美術館とは異なる特徴のひとつです。さまざまな部屋の壁には、偉大なポルトガル人画家たちの作品をはじめ、フランドル、ドイツ、イタリア、スペイン、フランスの各派による絵画が飾られています。時代やスタイルの異なる陶器、磁器、クリスタルも置かれており、この美術館の持つ、今にも家の主人が帰ってきそうな雰囲気を高めています。写真、風刺画、小物類も同様な効果を生み出しており、特に図書室はジョゼ・レルヴァスの文化的教養の高さとセンスのよさを示しています。ここで忘れてはならないのがアライオロス (Arraiolos) のじゅうたんのコレクションです。ポルトガル国内最大のコレクションのひとつであり、中でも1761年につくられた、リネンを下地にした素晴らしいシルクのじゅうたんは必見です。アライオロスのじゅうたんに加え、家具を引き立たせる役割を果たすオービュソンのタペストリーもあります。

Beja

Museu Regional Rainha D. Leonor - Beja

住所： Largo da Conceição 7800-131 Beja

電話： +351 284 323 351

Eメール: museuregionaldebeja@cultura-alentejo.gov.pt ウェブサイト：
<http://www.museuregionaldebeja.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

レオノール王妃博物館 (Museu Regional Rainha D.

Leonor) - ベージャ (Beja) 1927年に創設されたレオノール王妃博物館は、主要コレクションが展示されているコンセイサン修道院 (Convento da Conceição) と、西ゴート時代のもので展示されているサント・アマロ教会 (Igreja de Santo Amaro) からなっています。主な所蔵品には、ジュリウス・シーザーの頃までさかのぼるローマ時代の遺物を展示しているローマの部屋や、さまざまな墓石や家紋を含む中世の碑銘や紋章などがあります。回廊の2階部分には、考古学者フェルナンド・ヌネス・リベイロが市に寄贈したコレクションの数々が展示されています。このコレクションは、青銅器時代から現代まで、幅広い時代にわたっています。この博物館の所蔵品には、極めて貴重な品々が数多く含まれています。中でも、この修道院の創設者プリテスの紋章は非常に芸術的価値の高いものです。17世紀から18世紀のキリストのコレクションや、「メルトラ (Mértola) の窓」も一見の価値があります。この「メルトラの窓」は、コンセイサン修道院の尼僧であったマリアナ・アルコフォオラードとフランス将校であったシャミリー伯爵ノエル・プトンの恋物語を今に伝えるものです。シャミリー伯爵は、ポルトガルの再独立に向けた戦いを助けるため、1666年に自分の隊を率いてベージャに駐屯していました。マリアナの報われない愛は5通の恋文に託され、このマリアナの書いた手紙は1669年にフランスで「ぼるとがる恋文」と題して出版されることとなりました。この手紙は、17世紀のポルトガル文学における重要な作品とされています。

Benavente

Museu Municipal de Benavente e Núcleo Museológico Agrícola

住所： Rua Luís de Camões e Largo de Santo André 2130-062

Benavente

電話： +351 263 519 665 ファックス： +351 263 519 648

Eメール: museubenavente@mail.telepac.pt ウェブサイト：
<http://www.cm-benavente.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Castelo de Vide

Sinagoga Medieval de Castelo de Vide

住所： Rua da Judiaria, 7320-190 Castelo de Vide

電話： +351 245 908 220

Eメール: turismo@cm-castelo-vid.pt ウェブサイト：

<https://castelodevide.pt/2028/sinagoga>

カステロ・デウ・ヴィデ (Castelo de Vide) の中世のシナゴーク

カステロ・デウ・ヴィデの古代・中世のシナゴークであったと考えられている建物は、現在は博物館であり、街の最も象徴的なものの1つです。ルアーダ・ジュディアリア (Rua da Judiaria) とルアーダ・フォント (Rua da Fonte) の交差点に位置し、東西に向いています。その日付については定かではありませんが、14世紀にユダヤ人地区が設立されたときまでさかのぼると想定されています。

複合施設は2つのフロアで構成されています。上層階の部屋の1つには、中央の礼拝スペースがあり、1970年代に発見されたHejalがあり、現在は展示順路の中心となっています。ここにはコミュニティの男性が集まり、右側の別の部屋は女性メンバーのためのものでした。2階に通じるドアにはメズーザー (Mezuzah) のマークが付いています。すべてのドアは16世紀以前の弓形です。

残りの部屋には、カステロ・デウ・ヴィデ (Castelo de Vide) のユダヤ人コミュニティの歴史に関する作品のコレクションが展示されています。シナゴークの建物の修復、統合、強化作業にはいくつかの調査が必要であり、考古学的資料の収集が可能になりました。

建物が大きな変化を遂げたのは16世紀で、この時期はポルトガルでのユダヤ人の崇拝の自由の終焉と一致しました。何世紀にもわたって変更され、適応されたシナゴークは、18世紀に住居になるための適応作業も受けました。

Castro Verde

Museu da Lucerna

住所： Largo Vitor Prazeres 7780-218 Castro Verde

電話： +351 286 327 414 ファックス： museulucerna1@sapo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

トラベラーズチェック利用可;

Coruche

Museu Municipal de Coruche

住所：Rua Júlio Maria de Sousa 2100-192 Coruche

電話：+351 243 610 820 ファックス：+351 243 610 821

Eメール：museu.municipal@cm-coruche.pt ウェブサイト：
http://www.museu-coruche.org

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Cuba

Eco Palacete Borrhalho Relógio

住所：Rua Dr. João D. Almeida Tojeiro, 67940-122 Cuba

電話：+351 966 144 330 / 966 373 227

Eメール：info@pbr.pt ウェブサイト：http://www.pbr.pt

時刻表:

上午10点至下午5点需要预约。

导游免费提供;

その他の情報:

"ストーリー以上に、いくつかの魅力的な話を知ることができます。エポックを通じたキューバについてだけでなく、ライフスタイルや6世代の世代がすべての人に属する遺産をどのように保存しようとしたかについても明らかにしています。

すべてのストーリーが始まりますから、2014年と2015年にリノベーションを可能にした2人の兄弟、マリアとマリオで始まります。これは本当に19世紀にさかのぼる140年の歴史を持つ、非常に特別なプライベートマナーです。

エコマナーは以下を提供します：

- 民家博物館;
- 明るい噴水のあるロマンチックな庭園。
- 結婚式とイベントレセプション、視聴覚制作。

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

一部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備, 中庭, ホール;

あなたはキューバを発見し、140年の間保たれた秘密を公開することを大変歓迎しています - エコPBRマナー。

では、無料のガイド付きツアーアドレッシングを楽しむことができます

:

- アールヌーヴォーの芸術と職人技の傑作は、高い天井から非常に床まで、装飾されたスタッコ、錬鉄、タイルなどのベルエポックを反映した革新的な素材と技術を使用しています。

- 慈善団体Jose Joaquim Palma Borrhalho、

- 時代の流れと時代のライフスタイル

キューバの過去は賞賛され、祖先の存在は認識され、誇らしげに保存されています。

将来の変化と課題を思い出させ、奨励すること。

Elvas

Casa da História Judaica de Elvas

住所: R. dos Açougues 4-6, 7350-126 Elvas

電話: +351 268 622 236

Eメール: turismo@cm-elvas.pt **ウェブサイト:** <https://www.cm-elvas.pt/descobrir/cultura/museus/casa-da-historia-judaica/>

エルヴァス (Elvas) のカーサ・ダ・ヒストリア・ジュダイカ (Casa da História Judaica) (ユダヤ人の歴史の家)

エルヴァスにあるユダヤ人の歴史の家は、町の影響力のあるユダヤ人コミュニティに敬意を表しており、16世紀に市の精肉店に変わった建物の中にあります。具体的な証拠はありませんが、この空間は街の古いシナゴークの一部であったと考えられています。もしそうなら、これはポルトガルでこれまでに発見されたものの中で最大のもので、元あったシナゴークは、今日私たちが見ているスペースの最大2倍を占めていたことでしょう。

旧ユダヤ人地区の中心部では、牛、特に豚を虐殺する場所の建設は、隠れユダヤ教徒と新キリスト教徒を辱め、その空間を「不純」にすることを目的としていた可能性があります。

イスラエルの十二部族に対応している12本の柱が展示されています。隣接する家の1つには、中世からの階段がまだ見える小さな中庭、マヌエル様式の窓、貯水槽の痕跡、おそらく女性の清めの儀式のための水場があります。

この地域で最も有名なユダヤ人家族らの歴史についての常設展示を鑑賞することも可能です。

MACE - Museu de Arte Contemporânea de Elvas

住所: Rua da Cadeia 7350 Elvas

電話: +351 268 626 218

Eメール: direcao.mace@cm-elvas.pt **ウェブサイト:** <https://col-antoniocachola.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

建物内のバリアフリー通路: 全部; 利用可能な支援プロダクト/サービス:

聴覚障害;

Fábrica-Museu da Ameixa de Elvas

住所: Rua Martim Mendes, 17-A 7350-159 Elvas

電話: +351 268 628 364

Eメール: serenofonseca@gmail.com **ウェブサイト:** <http://www.ameixas-elvas.com>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口:

全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗;

Estremoz

Museu Municipal Prof. Joaquim Vermelho (Estremoz)

住所: Largo D. Dinis 7100-509 Estremoz

電話: +351 268 339 219

Eメール: museu.municipal@cm-estremoz.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-estremoz.pt/pagina/turismo/museu-municipal-de-estremoz-prof-joaquim-vermelho>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

エストレモス市立博物館 (Museu Municipal de Estremoz) この博物館では、復元されたアレンテージョ (Alentejo) の伝統的な家や、代表的な工芸品を展示しています。18世紀から19世紀にかけての素焼きの焼物や陶磁器、木工品、コルクや動物の角で作った工芸品のセクションがあります。特に、19世紀のアレンテージョの彩色家具は目を引きまします。その他

にも、ローマ時代や中世の遺物、タイル、宗教美術などの興味深いセクションがあります。博物館の中庭のひとつには作業場が設けられており、2人の地元職人がエストレモスの伝統的な素焼きの人形をつくる様子が見学できます。

Évora

MADE - Museu do Artesanato e do Design

住所：Praça 1º de Maio, 37000-650 ÉVORA

電話：+351 266 771 212

Eメール: cmevora@cm-evora.pt ウェブサイト: <https://www.cm-evora.pt/locais/museu-do-artesanato-e-do-design-made/>

時刻表:

09:30-13:00 / 14:30-18:00. 月曜休館;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ;

Museu Nacional Frei Manuel do Cenáculo - Évora

住所：Largo Conde de Vila Flor 7000-804 Évora

電話：+351 266 730 480

Eメール: geral@mnfmc.dgpc.pt ウェブサイト: <http://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/museus-e-monumentos/rede-portuguesa/m/museu-de-evora/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 一部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

全部; バリアフリーのエリア / サービス: 身体障害者用設備;

利用可能な支援プロダクト / サービス: 視覚障害;

Museu de Arte Sacra de Évora

住所：Largo da Sé - Ala Norte da Sé Catedral de Évora 7000 Évora

電話：+351 266 759 330

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

エヴォラ宗教美術館（Museu de Arte Sacra de Évora）ロマネスク ゴシック様式のカテドラルを利用した美術館で、幅広い宗教的な品々が展示されています。中でも、宝石をちりばめた鍍金銀製の聖レーニョの十字架や、「楽園の聖母」として知られる、聖母マリアを描いた象牙の三連祭壇画（12世紀）は特に見ごたえがあります。その他にも、宝飾品（16～18世紀）、彫刻（14～18世紀）、宗教家具（16世紀、18世紀）、16世紀から18世紀にかけての祭服（ポルトガルの中でも非常に素晴らしいコレクションのひとつ）などの興味深い品々が展示されています。

Palácio de D. Manuel

住所：Jardim Público7000 Évora

電話：+351 266 258 09

その他の情報:

アクセシビリティ

内部は広くっており、車いすでも移動が可能となっていますが、一部段差があります。この段差のため、上の階への入室が難しくなっています。

バリアフリー案内:

建物内のバリアフリー通路: 全部;

マヌエル王宮（Palácio de D. Manuel）サン・フランシスコ王宮（別名マヌエル王宮）は、かつてサン・フランシスコ修道院（Convento de S. Francisco）の果樹園であった公園の中にあります。この公園には、ブラタナスやイトスギやクワの木々が茂り、いろとりどりの花が植えられた花壇が設けられていて、一休みするのにぴったりな広場もあります。ここでは心地よい散歩を楽しめるだけでなく、ルイナス・ゴティカス・フィンジダス（擬ゴシック風廃墟）を訪れることもできます。これは1863年にイタリア人建築家ジュゼッペ・シナッティによって建てられたもので、当時のロマン主義的なスタイルをよく反映しています。建材にはカテドラルの前の宗教裁判所で見つかったものが使われました。サン・フランシスコ王宮は、マヌエル世がヴァスコ・ダ・ガマをインド総督に任命した場所といわれています。馬蹄型のベランダにあるムーア風のアーチと2階の連窓に、建造当初の面影が残されています。

Fronteira

Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros

住所： Avenida Heróis dos Atoleiros 7460-101 Fronteira

電話： +351 245 604 023

Eメール: atoleiros1384@cm-fronteira.pt ウェブサイト：

<http://www.atoleiros1384.cm-fronteira.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

アトレイロス (Atoleiros) 1384 -

アトレイロスの戦い理解センター (Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros) は、1384年4月6日にフロンテイラ (Fronteira) 村から歩いてすぐのところまで起こった歴史的決戦を、マルチメディアを駆使して再現し、見学者に体感してもらえるようにデザインされています。

アトレイロスの戦いは、ポルトガルの歴史と運命を左右する決定的瞬間でした。ヌノ・アルヴァレス・ペレイラがイングランドの戦法にヒントを得た作戦 (táctica do quadrado) を用いて、数的優位にあったカスティール軍を撃破したのです。

この勝利は極めて重要なものとなりました。大きな犠牲を払った相手とは異なり、ポルトガル側に死者や負傷者が出なかったばかりか、カスティール軍の無敵のイメージに傷をつけ、ポルトガルが一国家としての立場を確立するきっかけとなったからです。

中世の戦争というテーマに関する国の文化的な参照基準となることを目標に、アトレイロスの戦い理解センター (Centro de Interpretação da Batalha dos Atoleiros) は新しいタイプの博物館を目指して作られました。巡見学者は回路によって戦場を異なる視点から眺めることができ、敵対する両軍の歴史的背景を把握できるとともに、戦闘の結果がいかにポルトガルの将来にとって重要だったかを理解できるようになっています。

Golegã

Casa-Estúdio Carlos Relvas

住所： Largo D. Manuel I 2150-128 Golegã

電話： +351 249 979 120 ファックス： +351 249 977 578

Eメール: casa.relvas@cm-golega.pt ウェブサイト： <http://www.cm-golega.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

カルロス・レルヴァス写真美術館 (Museu de Fotografia Carlos Relvas) カルロス・レルヴァスは、ゴレガン (Golegã) に住んでいた、自宅と非常に近い土地の庭園の中に、美しい2階建ての建物をつくりました。それは鉄と木を当時のロマン主義の様式に従って組み合わせ、非常に個性的な建物でした。ここはレルヴァスのスタジオとなり、彼が写真に情熱を注ぎ込む場所となりました。各部屋は、薬品の準備から最終的な仕上げまで写真術のさまざまな工程に対応して設計されていました。その当時の典型的なセットが生まれ、レルヴァスが海外で購入した当時としては最新の機器が置かれていました。レルヴァスは、ここで写真の現像に必要な技術を発見し、写真に関する国内外の記事や研究論文を集め、彼が特に高いスキルを持っていたフォトタイプの技術の研究や普及を行ない、アマチュア、プロを問わず写真という芸術に関心のあるすべての人にとって非常に価値のあるコレクションを残しました。カルロス・レルヴァスは、自分の持つ新技術の知識を芸術を生み出す手段に高めることによって、19世紀のポルトガル人の生活におけるさまざまな場面を写真という証拠に残したのです。作家、政治家、一般庶民、記念碑、教会、村など、19世紀ポルトガルの社会と生活様式の全体像がレルヴァスのレンズを通して記録され、今に伝えられています。レルヴァスは、時に現実の一端をすどく切り取った写真を撮りましたが、一方でその時代の出来事や展開が指し示す露骨な事実を感じさせない写真も撮りました。

Museu de Escultura e Pintura Martins Correia

住所： Edifício Equuspolis Rua D. João IV 2150 Golegã

電話： +351 249 979 000 ファックス： +351 249 977 578

Eメール: equuspolis@cm-golega.pt ウェブサイト： <http://www.cm-golega.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

マルティンス・コレイア彫刻絵画美術館 (Museu de Escultura e Pintura Martins Correia) この美術館は、表現主義アーティストのマルティンス・コレイア (1910~) の彫刻、アズレージョ、デッサン、版画、メダルなど500点におよぶ貴重なコレクションを所有しています。「色の造形家」と呼ばれるマルティンス・コレイアは、1910年にゴレガン (Golegã) で生まれました。両親と死に別れ、まだ幼い頃にリスボン (Lisboa) のカーザ・ピアに入ることになります。カーザ・ピアは数百年の歴史を持つ慈善施設で、生徒一人ひとりの才能や個性を最大限に引き出す技術訓練や職業訓練を行い、人間的な成長を手助けする評価の高い学校でした。マルティンス・コレイアは、こうした訓練を受けたことによって、美術学校へ進みデッサンの勉強を続けることができました。物の形や輪郭に興味を持ち、デッサンのセンスがあったコレイアは、ほどなく彫刻に惹かれるようになります。美術学校の教師も、コレイアの彫刻の才能を見抜いていました。その後コレイアは教師として生徒を教えるかたわら、アーティストとしても活動を続け、ブロンズを使った作品に情熱を注ぎ始めます。しかし、その創作活動はブロンズ作品にとどまらず、彫刻の枠をも超えて広がっていきました。その作品には、シルクスクリーンのデザイン画、油彩画、石の彫刻、土と釉薬を使った作品 (ゴレガンの自宅のファサードに飾られている7m X 3mの陶器製のパネルなど) があり、彼の創造性の幅広さを物語っています。地中海風のはっきりとした色調は、コレイアの作品の最も大きな特徴のひとつです。1994年に手がけたリスボンのピコアス (Picoas) 駅の装飾などに、その特徴を見ること

ができます。コレイアの作品には、馬、牛、大地、そして女性というテーマがたびたび登場しています。これらはすべて、コレイアの出生地であるリバテージョ（Ribatejo）地方に関係の深いものであり、コレイアがリバテージョやポルトガルを自分のルーツとして重要視していることを示しています。マルティンス・コレイアは、サンティアゴ騎士団の称号を受け、公共教育機関の役員に任命されています。これまでにポルトガル芸術協会、芸術院、ディアリオ・デ・ノティシアス紙などから、多数の賞も受賞しています。リスボン市議会の芸術・考古学委員会の委員であり、リスボン国立芸術院の名誉会員でもありますが、この偉大なアーティストは自分の作品の大半をゴレガンの街に寄贈しました。それらの作品は、このマルティンス・コレイア美術館に展示されています。

Marvão

Museu Municipal de Marvão/Igreja de Santa Maria

住所：Largo de Santa Maria 7330-101 Marvão

電話：+351 245 909 132

Eメール: museu.municipal@cm-marvao.pt ウェブサイト：
<http://www.cm-marvao.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

マルヴァン市立博物館（Museu Municipal de Marvão）/ サンタ・マリア教会（Igreja de Santa Maria）このサンタ・マリア教区については、ここがアレンテージョ（Alentejo）地区の団長クラート率いるホスピタル騎士団に提供された1321年から文献が残っています。サンタ・マリア教会は、街のメインストリートのひとつを見下ろす高台にある城の近くに建てられています。もともとゴシック様式の建物でしたが、街の人口増加にともなって17世紀に改築されました。この頃ピークをむかえた街の人口はその後減少し、現在に至るまで当時の数には達していません。その結果さらに開発されることがなかったので、マルヴァンは、ほぼその頃のままの中世の特徴を今に残す街となりました。1987年に市立博物館に転用された後も、本来の宗教的な場所としての特徴が建物の全体的な構造に残されています。18世紀に建てられた礼拝堂にも、壁を覆う絵画的なアズレージョのパネルや、バロック様式の彫刻をほどこした木製の祭壇が残っています。博物館のスペースには、この地域一帯で発見された考古学的な遺物や、民族学的な品々が展示されており、マルヴァンの歴史について知ることができます。特に、現在でもこの地域で実際に使われている民間療法や迷信のスポットは人気があります。

Mértola

Museu de Mértola

住所：Câmara Municipal de Mértola Praça Luís de Camões 7750-329 Mértola

電話：+351 286 610 100 / +351 286 610 109 ファックス：+351 286 610 101

Eメール: museus@cm-mertola.pt ウェブサイト：
[https://www.museudemertola.pt](https://www.museudemertola.pt;); <http://www.camertola.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

Montemor-o-Novo

Museu de Arqueologia e Etnologia de Montemor-o-Novo

住所: Convento de São Domingos Largo Prof. Dr. Banha de Andrade 7050-111 Montemor-o-Novo

電話: +351 266 877 010 | +351 936 768 744

Eメール: centromuseulocal@hotmail.com **ウェブサイト:** <https://www.cm-montemornovo.pt/locais/centro-de-etnologia-museu-local/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

モンテモール・オ・ノーヴォ考古学・民族学博物館（Museu de Arqueologia e Etnologia de Montemor-o-Novo）

この博物館は、サン・ドミンゴス修道院（Convento de São Domingos）を利用した博物館です。この修道院にある教会には、非常に美しい17世紀の施釉タイルがほどこされています。博物館では、旧石器時代から中世にかけての考古学的に重要な品々を所蔵、展示しています。博物館の見どころは、陶磁器のセクションや民族誌のセクションです。民族誌のセクションでは、この地域における19世紀から現在までの日常的な風習や経済活動を紹介しています。他にも宗教美術セクション、闘牛セクション、動物にひかせる乗り物の実物をいくつか展示したセクションがあります。

Moura

Museu de Arte Sacra de Moura

住所: Rua da República, 18 7860-245 MOURA

電話: +351 285 251 421/375 **ファックス:** +351 284 824 500

Eメール: dphadb@sapo.pt **ウェブサイト:** <http://www.diocese-beja.pt>

Museu Municipal de Moura

住所: Rua da Romeira, 19 7860-141 Moura

電話: +351 285 253 978 **ファックス:** +351 285 250 469

Eメール: museu.municipal@cm-moura.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-moura.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Museu do Azeite - Lagar de Varas do Fojo

住所: Rua São João de Deus 7860-001 Moura

電話: +351 285 253 978

Eメール: museu.municipal@cm-moura.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

オリーブ油博物館（Museu do

Azeite） - ヴァラス・ド・フォージョ圧搾所（Lagar de Varas do Fojo）

この博物館は、昔ヴァラス圧搾所というオリーブ油の圧搾所だった場所にあります。ここではオリーブ油の伝統的な製造方法について詳しく知ることができます。

Ponte de Sor

Fundação António Prates

住所: Avª. da Liberdade, 64-F - Apartado 105 7400-999 Ponte de Sôr

電話: +351 242 291 040 **ファックス:** +351 242 091 046

Eメール: fundacaoprates@mail.telepac.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

カフェテリア; レストラン;

Portalegre

Casa-Museu José Régio - Portalegre

住所: Rua Poeta José Régio 7300-204 Portalegre
電話: +351 245 307 535 **ファックス:** +351 245 307 542
Eメール: museu.joseregio@cm-portalegre.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

ジョゼ・レジオ博物館（Casa-Museu José Régio）ポルタレグレ（Portalegre）で教師をしていた詩人のジョゼ・レジオ（1901 - 1969）が住んでいた家は、市議会の手によって1971年に博物館となりました。本人の遺志により家の中は当時のままの状態が残されており、レジオがその生涯で集めた宗教美術品や地元の芸術品の膨大なコレクションが収蔵されています。展示品の中には、400点を越える十字架に処されたキリスト像のコレクションがあり、最も古いものでは15世紀のゴシック時代につくられたものもあります。小さな祭壇、オラトリオ、教会に寄付された品々など、一般大衆の宗教表現を示すものに加え、より伝統的なスタイルでつくられたコルク製や錬鉄製の品々もあります。

Museu da Tapeçaria de Portalegre - Guy Fino

住所: Rua da Figueira 7300-139 Portalegre
電話: +351 245 307 530 **ファックス:** +351 245 307 545
Eメール: museu.tapeçaria@cm-portalegre.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ポルタレグレ・タペストリー博物館（Museu da Tapeçaria de Portalegre）- ギイ・フィーノ（Guy Fino）この博物館は、ポルタレグレにおけるタペストリーづくり専門の博物館として、市議会の手で創設されました。市は、この地方特有の工芸品であるタペストリーやじゅうたんとその制作技術の紹介、保存、研究を行う場所として、またポルタレグレ・タペストリー製造所（Manufactura de Tapeçarias de Portalegre）の創始者であるギイ・フィーノの功績をたたえるために、この博物館をつくりました。博物館をつくるために市が購入した建物は、かつてカステル・ブランコの住まいだった場所で、これを革新的で調和の取れた建物に改築しました。このプロジェクトは、ポルトガル博物館協会とポルタレグレ製造所の後援で行われ、特にポルタレグレ製造所は博物館の所蔵品のかなりの割合となる品々を寄贈しました。この博物館では常設展に加え、タペストリーやじゅうたんの製造やデザインといったテーマに沿って、期間限定の展覧会も開いており、現代アートの美術館として受け入れられるようになってきました。こうした展示には、ジュリオ・ボマル、リマ・デ・フレイタス、マリア・ケイル、ヴィエラ・ダ・シルヴァ、アルマダ・ネグレイロス、フレッド・クラドルファー、コスタ・ピニエイロ、エドゥアルド・ネリー、アルパド・スゼンヌ、ジョゼ・デ・ギマラインスなどの作品を織物で再現したものが含まれています。

Manufactura de Tapeçaria de Portalegre

住所: Rua D. Iria Gonçalves, 2 7301-901 Portalegre
電話: +351 245 301 400 **ファックス:** +351 245 301 409
Eメール: manufactura@mtportalegre.pt **ウェブサイト:** <http://www.mtportalegre.pt>

Museu Municipal de Portalegre

住所: Rua José Maria da Rosa 7300-256 Portalegre
電話: +351 245 302 544
Eメール: museu.municipal@cm-portalegre.pt **ウェブサイト:** <http://www.geira.pt/mmpportalegre/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

ポルタレグレ市立博物館（Museu Municipal de Portalegre）ポルタレグレ市立博物館は、16世紀にアマドール・アライス修道士によって建てられた教区神学校の建物を利用しています。この建物は1765年にジョアン・デ・アゼヴェド司教によって改造され、18世紀の邸宅のあらゆる特徴を備えたファサードには司教の紋章がしるされています。1960年代につくられたこの博物館には、もともとポルタレグレの複数の修道院にあった宗教的な品々が集められています。特にサン・ベルナルド修道院（Convento de São Bernardo）とサンタ・クララ修道院（Convento de Santa Clara）のものも多く、個人から博物館に寄贈されたものもあります。寄贈主には、この博物館の創設にかかわったガヨラ・ザガロ博士、地元住民であるエルクラノ・コルヴェロ（聖アントニオに関する15世紀以降の宗教美術品約800点を寄贈）、海軍医のジョゼ・デ・アンドラーデ・セケイラ（航海中に集めた嗅ぎタバコ入れや中国の陶磁器を寄贈）などがいます。宗教美術の中で特に見ごたえがあるのは、ゴシック様式の浅浮彫りの「ピエタ（Pietà）」（15世紀）、イタリアでつくられた高浮彫りの象牙細工（18世紀）、インド ポルトガル様式の「受胎の聖母（Nossa Senhora da Conceição）」（17世紀）です。ガヨラ・ザガロのコレクションでは、座して思いにふけるキリストの姿が描かれている「キリストの受難（Senhor da Paciência）」（16世紀）の絵が目を引きまします。

Reguengos de Monsaraz

Casa da Inquisição – Centro Interativo da História Judaica

住所：Tv. do Quebra-Costas 7, 7200-175 Monsaraz

電話：+351 927 997 316

Eメール: turismo@cm-reguengos-monsaraz.pt ウェブサイト: <https://www.cm-reguengos-monsaraz.pt/locais/espanol-casa-da-inquisicao-centro-interativo-da-historia-judaica/>

カーサ・ダ・インキジサオン (Casa da Inquisição) – モンサハシ (Monsaraz) のセントロ・インテラチーボ・ダ・ヒストリア・ジュダイカ (Centro Interativo da História Judaica) (異端審問の家-ユダヤ人の歴史のインタラクティブセンター)

ユダヤ人のインタラクティブセンターの家は、中世の街モンサハシでのユダヤ人の記憶を明らかにしています。地元の伝統によって指定が存続しているにもかかわらず、異端審問裁判所は、小さな町であるモンサハシにはそのような構造物がなかったため、建物内に配置されませんでした。代わりに、それは聖職者の親戚の宿として、または被告人がエヴォラで裁判にかけられる前の一時的な滞在場所として機能していたでしょう。

モンサハシの遺産と歴史に捧げられたエリアといくつかのテーマ別の部屋があります。いわゆる本の宗教 (キリスト教、ユダヤ教、イスラム教) に焦点を当てた「宗教と人間」。そして「モンサハシのユダヤ教」は、モンサハシの歴史とユダヤ人の存在に捧げられた空間であり、既存の文書と遺物に従って開発されました。異端審問の「過去/未来の空間」の画像には、歴史を通してのユダヤ人の苦しみを例示するために、ホロコースト、戦争、宗教紛争が展示されています。

センターには、研究者と学生のための作業および受付オフィスもあり、歴史的科学研究の発展を可能にしています。

Santarém

Museu Diocesano de Santarém

住所：Edifício do SeminárioPraça Sá da Bandeira2000-135 Santarém

電話：+351 243 304 065 / 243 304 060

Eメール: geral@museudiocesanodesantarem.pt ウェブサイト: <http://www.museudiocesanodesantarem.pt>

時刻表:

月曜日～金曜日：午前10時～午後1時、および午後2時～午後6時
土曜日の非宗教的な祝日：午前10時～午後1時、午後2時～午後7時 (10月～5月の間は午後6時)
日曜日と祭日：午後2時～午後7時 (10月～5月の間は午後6時)

休館日：火曜日、1月1日、聖金曜日および12月24日～31日;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

Museu Diocesano de Santarém (サンタレン教区博物館)

サンタレン教区博物館はサンタレン大聖堂と国の「大聖堂ルート」プロジェクトの建築物の一部を形成する最近の博物館です。ここでは、壮大な空間と共に宗教的美術品の桁外れのコレクションに賛嘆する他はありません。記念建造物を訪れた観光客は、他では味わうことのできない体験に満足するはずです。

かつての王宮の廃墟に建てられた旧イエズス会大学の北ウィングに収納された、博物館のコレクションは13世紀から19世紀にさかのぼり、サンタレン教区の111の小教区に属している数百点の絵画、彫刻およびその他

Núcleo Museológico do Tempo - Torre das Cabaças

住所：Rua Zeferino Sarmiento 2000-121 Santarém

電話：+351 243 304 468

Eメール: biblioteca@cm-santarem.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

カバッサスの塔 (Torre das Cabaças) - 時の博物館 (Núcleo Museológico do Tempo)

カバッサスの塔は、サン・ジョアン・デ・アルポラン教会 (Igreja de São João de Alporão) に近い、ゼフェリノ・サルメント広場 (Largo Zeferino Sarmiento) にあります。高さ22メートルの四角形の塔で、15世紀におけるこの街の防衛システムを今に伝える、後期ゴシック様式の建造物です。17世紀に塔の美観を高めようと、塔の上にマニエリスム様式のシーマ (波型の線形) が加えられました。もともとこの塔は議事堂に付属する建物でしたが、議事堂の建物や壁は残っていません。しかしカバッサスの塔は、今でも時計台として実際に機能しています。カバッサス (ひょうたん) の塔という名称は、塔の上にある鉄製の支柱の上に8つのひょうたん (現在は陶器の壺に置き換えられている) が置かれていたことからきています。これは、鐘の音がサンタレンの近郊の村々にも届くようにするためのものですが、庶民の間では、このような無粋で不恰好な建物をつくった市会議員たちの空っぽの象徴、と長い間ささやかれていました。1999年に市議会は、塔を修復し周辺地区を再建する計画をたてました。現在、しっくい塗りなおされ、時計が修復されて、すっかり装いを新たにしたカバッサスの塔には、時間をテーマにした展示を行う「時の博物館」が設けられています。

の宗教的遺産からなっています。また、これは建物の建築的価値をさらに高めるものとなっています。

博物館の場所は、セントジェームズ、ファティマおよびサンタレンの聖餐の奇跡への道など、重要な巡礼ルートが含まれることを意味します。博物館への観光は博物館はもちろん、大聖堂と教会の聖具も含む周遊旅行で構成されます。

その他の体験にはワインの試飲、女子修道会のスイーツまたは宗教音楽の演奏なども旅行に含まれます。

Santiago do Cacém

Museu Municipal de Santiago do Cacém

住所: Praça do Município 7540-136 Santiago do Cacém

電話: +351 269 827 375 **ファックス:** +351 269 829 498

Eメール: cm-sc.bib@mail.telepac.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-santiago-do-cacem.pt/cultura/museu.htm>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

サンティアゴ・ド・カセン市立博物館（Museu Municipal de Santiago do Cacém）この博物館のコレクションの中で特に目を引くのは、古銭と考古学的な遺物です。考古学的な展示品は、この地域における旧石器時代から続く人間の営みを紹介しています。民族誌的なコレクションの中では、アレンテージョの典型的な台所と、その横に再現された質素な寝室が目を引きます。こうした庶民の部屋と対比させるかたちで、明らかにブルジョワ階級とわかる様式の部屋も設けられています。これは地域の資産家であるアヴィレス伯爵から譲り受けた貴重な遺産の一部です。

Serpa

Museu do Relógio de Serpa

住所: Convento do Mosteirinho Rua do Assento 7830-341 Serpa

電話: +351 284 543 194

Eメール: museudorelogio@iol.pt **ウェブサイト:** <http://www.museudorelogio.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

Museu Etnográfico de Serpa

住所: Largo do Corro 7830-328 Serpa

電話: +351 284 543 050 **ファックス:** +351 284 540 109

Eメール: geral@mun-serpa.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-serpa.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

セルバ民族誌博物館（Museu Etnográfico de Serpa）昔の市場を利用した博物館で、この地域一帯のさまざまな伝統工芸品や伝統的職業を紹介しています。この地方の伝統的な職種には、編みカゴ職人、服飾職人、椅子職人、陶工、農家、鍛冶、羊飼い、仕立て屋、靴職人、ブリキ職人などがあります。

Sines

Museu Arqueológico de Sines

住所：Rua Dr. Francisco Luis Lopes, 40 7520-001 Sines

電話：+351 269 632 330 ファックス：+351 269 633 022

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

シネス考古学博物館（Museu Arqueológico de Sines）この博物館では、シネスとその周辺地域における旧石器時代から続く人間の営みを紹介しています。主な展示品には、「ガイオ（Gaio）の財宝」（紀元前7世紀）や、彫刻が施された西ゴート時代のバシリカ聖堂の石（紀元7世紀）があります。

Vila Viçosa

Museu-Biblioteca da Casa de Bragança - Paço Ducal e Castelo de Vila Viçosa

住所：Terreiro do Paço 7160-251 Vila Viçosa

電話：+351 268 980 659 ファックス：+351 268 989 808

Eメール: palacio.vilavicosas@fcbraganca.pt ウェブサイト：
<http://www.fcbraganca.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ヴィラ・ヴィソーザ公爵の館（Paço Ducal de Vila Viçosa）この博物館は、ポルトガル王家最後の宮殿に残された品々を展示しています。展示品には、17～18世紀のポルトガル家具、16～18世紀のポルトガルとフランスのタペストリー、西洋や東洋の磁器、16～18世紀のファイアンス焼きやマジョリカ焼きなどがあります。見事なガラス製品や絵画（特にカルロス1世の描いた油彩画や、ブラガンサ家の王と王妃の肖像画は必見）、16～20世紀の武器コレクション、40点の馬車と荷馬車のコレクションもあります。

ポルトと北部地方

Alijó

Núcleo museológico Favaios, Pão e Vinho

住所：Rua Direita5070-272 Favaios

電話：+351 259 950 073 ファックス：+351 259 959 738

Eメール: museu.favaios@cm-alijo.pt

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例,

双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;

Amarante

Museu Municipal Amadeo de Souza-Cardoso

住所 : Alameda Teixeira de Pascoais4600-011 Amarante

電話 : +351 255 420 272 / 233 **ファックス** : +351 255 420 281 / 203

Eメール: mmasc@cm-amarante.pt **ウェブサイト** :

<http://www.amadeosouza-cardoso.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

アマデオ・デ・ソウザ・カルドーソ博物館（Museu Municipal Amadeo de Souza Cardoso）この博物館と図書館は、昔の修道院を改造したスペースを使用しています。アマランテ（Amarante）で最も有名な芸術家であり作家であるアマデオ・デ・ソウザ・カルドーソを記念し、アマランテの歴史に関する品々を展示する目的で、1947年にアルバノ・サルドエイラによって創設されました。この博物館は、マニエリスム様式の回廊に展示されている考古学関連の貴重な品々のほか、近現代のポルトガル美術の興味深いコレクションも所有しています。中でも、この地域の出身であるアントニオ・カルネイロやアマデオ・デ・ソウザ・カルドーソの作品が特に目を引きます。建物の外には、タメガ川（Rio Tâmega）を見下ろす小さな庭園があります。この庭園の中には、やはりポルトガルの美術界における重要人物でありこの地域にインスピレーションを受けた詩人、ティシェイラ・デ・パスコアイスを記念したブロンズ像が建てられています。

Arcos de Valdevez

Centro Interpretativo da Paisagem Cultural de Sistelo

住所 : Rua Visconde de Sistelo4970-645 Arcos de Valdevez

電話 : +351 925 728 018

Eメール: sistelocultural@gmail.com; associacaosistelo@hotmail.com

ウェブサイト : <https://www.visitarcos.pt>;<https://www.cmav.pt>

Centro Interpretativo Himalaya

住所 : Rua Dr. Félix Alves Pereira4970-456 Arcos de Valdevez

電話 : +351 258 247 326

Eメール: oficinashimalaya@cmav.pt **ウェブサイト** :

<https://www.visitarcos.pt>;<https://www.cmav.pt>

Centro Interpretativo e Etnográfico de Soajo

住所 : Largo do Eiró - Soajo4970-660 Arcos de Valdevez

電話 : +351 258 247 327

ウェブサイト : <https://www.visitarcos.pt>

Paço da Giela

住所 : Giela4970-765 Arcos de Valdevez

電話 : +351 258 520 529

Eメール: pacodegiela@cmav.pt **ウェブサイト** :

<https://pacodegiela.cmav.pt/>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 視覚障害; 利用可能な支援プロダクト / サービス: 運動障害, 精神障害;

Arouca

Museu de Arte Sacra de Arouca

住所： Largo de Santa Mafalda - Apartado 103 4540-108 Arouca

電話： +351 256 943 321

Eメール: museu@rirsma.pt ウェブサイト: <https://rirsma.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

アロウカ宗教美術館 (Museu de Arte Sacra de Arouca)

主にかつてのアロウカ修道院 (Convento de Arouca) にあった品々を所蔵している美術館で、貴重な絵画、彫刻、タペストリー、家具、金細工、織物を展示しています。

昔の修道院を利用しており、回廊、台所、食堂、寮も見学することができます。教会の中にある1階の聖歌隊席やパイプオルガンが目を引きま

Baião

Fundação Eça de Queiroz - Casa de Tormes

住所： Caminho de Jacinto, 3110 - Quinta de Tormes 4640-424 Santa Cruz do Douro

電話： +351 254 882 120 ファックス： +351 254 885 205

Eメール: feq@feq.pt ウェブサイト: <http://www.feq.pt>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; レストラン;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

一部; バリアフリーのエリア / サービス: 店舗, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; 支援スキル: 運動障害;

Barcelos

Museu de Olaria de Barcelos

住所： Rua Cônego Joaquim Gaiolas 4750-306 Barcelos

電話： +351 253 824 741 ファックス： +351 253 809 661

Eメール: museuolaria@cm-barcelos.pt ウェブサイト: <http://www.museuolaria.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バルセロス陶磁器博物館 (Museu de Olaria de Barcelos) バルセロス陶磁器博物館は、バルセロスの18世紀の遺産を代表する旧メンダーニャス邸 (Casa dos Mendanhas) に設けられています。ポルトガル全土とポルトガル語圏の国々から集められたおよそ7000点の陶磁器が展示されており、特にバルセロス市内で集められた品々を展示するセクションが最大の見どころです。ここでは、日常生活に使う実用的なものや娯楽用のものをはじめ、地元の伝説にちなんだ陶磁器や、廃れつつあるこの地域の習慣や風習を示す陶磁器を見ることができます。当然のことながら「バルセロスの雄鶏」は多数展示されており、ローザ・ラマーリオの作品も数多くあります。他にも名の知られたポルトガルの職人たちによってつくられた品々がたくさん展示されています。展示品を見学するだけでなく、陶芸、絵付け、土片を使った伝統的な遊びなどに関する、さまざまな学習のワークショップを開いています。学校がある期間にこうしたワークショップへ参加したい人は、事前に予約する必要があります。学校が休みの期間には、事前予約は必要ありません。

Museu Etnográfico de Chavão

住所： Lugar da Aldeia - Chavão 4775-081 Chavão

電話： +351 252 954 200

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

Paço dos Duques - Museu Arqueológico de Barcelos

住所： Rua Dr. Miguel Fonseca 4750-322 Barcelos

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

公爵の館 (Paço dos Duques) - バルセロス考古学博物館 (Museu Arqueológico de Barcelos) カヴァド川 (Rio Cávado) にかかる橋を渡ってバルセロスに入ると、中世の頃の街の様子を今に伝えるバルセロス伯爵の館の廃墟が残る公園がすぐに見えてきます。

この廃墟は、8代目バルセロス伯爵で初代ブラガンサ公爵となったドン・

Museu Regional e Etnográfico de Alvito São Pedro

住所：Rua Daniel Lopes Miranda 4750-085 Alvito S. Pedro

電話：+351 253 884 100 ファックス：+351 253 884 101

Eメール: juntalvito.s.p.@iol.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

Solar dos Pinheiros

住所：Rua Dr. Miguel Fonseca(antiga Rua dos Duques de Bragança)4750-322 Barcelos

ピニエイロスの屋敷（Solar dos Pinheiros）教区教会に程近い歴史的な地区

の中心部にある15世紀に建てられたこの古い屋敷は、ポルトガルに現

存する中世の民間建築の数少ない例のひとつです。この屋敷は、川を見

渡す景観のよさを生かし、市民法と教会法の権威であったペドロ・エス

テヴェスによって1448年に建てられました。ただしこれには異論もあつ

て、ペドロ・エステヴェスの義父トリスタン・ゴメス・ピニエイロが建

てたという人もいます。実際この屋敷は、何代にもわたってバルセロス

を統治してきたピニエイロ家の住まいとして使用されていました。当時

の典型的な様式を反映し、この屋敷は2つの高い塔に低い中心部分がはさ

まれた形をしています。扉部分の尖頭アーチと、南に面した塔の珍しい

装飾（女性の像と髭をはやした男性の像）は特に目を引きます。この男

性の像は、娘イネス・ペレスとアヴィス王家の当主ジョアン1世が密通し

ていたことを知って、怒りのあまり自分の髭をむしり取ろうとしたとい

う、イネス・ペレスの父「バルバダオン（髭面）」を表していると考え

られています。このイネス・ペレスとジョアン1世の間に生まれたのが、

8代目バルセロス伯爵であり初代ブラガンサ公爵となるドン・アフォンソ

です。ピニエイロ家の一族は教区教会の礼拝堂に眠っており、今もその

壮麗な墓を見ることができます。

Braga

アフォンソ（アフォンソ5世）によって15世紀初頭に建てられた館の名残で、バルセロスの街の最も象徴的な建物のひとつです。館と城の要素を兼ね備えた建物で、ジョアン1世の私生児であったドン・アフォンソが富と権力をその手中に収めつつあることを示す、堂々たる建物でした。当時は、複数の高い円柱形の煙突と、川にかかる橋を守る塔があり、自然と田園の風景の中では非常に目立つ存在でした。

現在は、煙突は1本しか残っておらず、塔もなくなっています。この館は17世紀まで伯爵家の住まいとして使用されていましたが、その後は放置され廃墟となっていきました。1755年の大地震も館の荒廃に拍車をかけました。現在残っている部分は、この歴史的な場所にふさわしく、野外の考古学博物館として利用されています。

ここでは、先史時代に始まるこの地域への人の居住の歴史を物語る品々を見ることができます。ここに展示されている考古学的な品々の中には、中世の石棺、紋章、ブラガンサ家の境石、解体された教会や修道院の建物の一部、今は姿を消した貴族の家紋の彫刻などがあります。

中でも、「バルセロスの雄鶏」の伝説にちなんでつくられた「セニョール・ド・ガロの十字架（Cruzeiro do Senhor do Galro）」は特に目を引きます。これは18世紀始めにバルセリーニョス（Barcelinhos：川の対岸にあるバルセロスの地区のひとつ）でつくられたもので、バルセロスの象徴であるこの古い伝説を浅浮き彫りで表現しています。

Museu D. Diogo de Sousa

住所: Rua dos Bombeiros Voluntários 4700-025 Braga
電話: +351 253 273 706 / 253 615 844 **ファックス:** +351 253 612 366
Eメール: mdds@culturante.gov.pt **ウェブサイト:**
<https://www.museuddiodesousa.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

ドン・ディオゴ・デ・ソウザ考古学博物館（Museu Arqueológico de Braga D. Diogo de Sousa）ドン・ディオゴ・デ・ソウザ考古学博物館では、ブラガ一帯で見つかった考古学的な遺物を所蔵しています。そのコレクションは、旧石器時代から中世まで、時間的にも文化的にも幅広くカバーしています。ローマ時代のものは特に見ごたえがあり、ローマの都市ブラカラ・アウグスタ（Bracara Augusta）の人々の生活を物語る、墓石などの品々が展示されています。

中世の墓のセクションも評価の高いセクションです。この博物館の名前は、ディオゴ・デ・ソウザ司教とその功績をたたえてつけられたものです。ドン・ディオゴ・デ・ソウザは、1512年にブラガの司教となった後、街の拡大と向上に努め、インフラの整備に貢献しました。

現在この博物館の展示室は閉鎖されていますが、教育的なプログラムは続けられており、ブラガにある考古学的な遺跡や建物の研究訪問の企画、考古学・博物館学・復元・地域遺産をテーマとした図書館の運営、研究者のサポートなどを行っています。

Museu de Cordofones Domingos Machado

住所: Linhares4705-630 Tebosa - Braga
電話: +351 253 673 855
Eメール: mcordofones@um.geira.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

ドミンゴス・マシャード弦鳴楽器博物館（Museu de Cordofones Domingos Machado）1995年にオープンしたこの弦鳴楽器博物館では、名職人ドミンゴス・マシャードが所有していた、他では見ることでできない弦楽器コレクションを展示しています。この博物館は、1960年代、リスボンの国立民族学博物館に寄贈された楽器の修復について、民族学者のエルネスト・ヴェイガ・デ・オリヴェイラがドミンゴス・マシャードに連絡したことがきっかけで設立されました。この音楽遺産のコレクションは、中世から現代までのポルトガルの楽器を集めたものです。一部は今ではもう使われなくなった楽器であり、その他はドミンゴス・マシャードが収集したり復元した楽器です。ポルトガルギター、ヴィオラ、バンジョー、マンドリン、ブラガのカヴァキーニョ（ウクレレに似た楽器）をはじめ、さまざまな楽器が展示されています。作業所を見学し、こうした楽器がどのようにつくられるのかを学ぶこともできます。ドミンゴス・マシャードは、この博物館に貢献する一方、職人としての技術を磨き続け、弦楽器の制作やチューニングに関して学生やコレクターや研究者を手助けしています。国内外の音楽学者が意見を求めてくる弦楽器の権威です。

Museu dos Biscainhos

住所: Rua dos Biscainhos 4700-415 Braga
電話: +351 253 204 650 **ファックス:** +351 253 204 658
Eメール: mbiscainhos@culturante.gov.pt **ウェブサイト:**
<https://museudosbiscainhos.gov.pt/>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;

Museu da Imagem

住所: Campo das Hortas, 35-37 (Largo da Porta Nova) 4700-210 Braga
電話: +351 253 278 633

Eメール: museu.imagem@cm-braga.pt **ウェブサイト:**
<http://museudaimagem.blogspot.com/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

画像美術館（Museu da Imagem）画像美術館は、中世の城壁に設けられている門のひとつであるポルタ・ノーヴァの塔（Torre da Porta Nova）を使用しています。この美術館は、市議会の発案で1999年に設立されました。写真の専門美術館で、当初の目的は廃業したブラガの写真屋「フォト・アリアンサ」が所有していたものを展示することででした。しかし、すぐにプロジェクトの対象範囲が大幅に広げられ、ブラガの視覚的な歴史全般を取り扱うことになりました。この美術館では、文化的な生活に対する写真という芸術形態の貢献や、写真の芸術面での進化に関する、討論会やセミナーも開いています。この美術館は、研究者や研究熱心な学生たちにとってブラガ一帯の画像が集められた役立つ資料館となることを目標としています。集められた資料は、最新技術を使って体系的・科学的に整理分類されています。期間限定の企画展が行われているほか、写真専門の図書室も設けられています。

Museu do Tesouro da Sé

住所: Rua D. Paio Mendes 4700-427 Braga
電話: +351 253 263 317 **ファックス:** +351 253 263 731

Eメール: catedralbraga@hotmail.com **ウェブサイト:** <http://www.se-braga.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ;

カテドラル宝物博物館（Museu do Tesouro da Sé）宗教美術の博物館を設立するというアイディアは、1930年にマヌエル・ヴィエラ・デ・マトス司教によって提案されました。それを受けて、18世紀にロドリゴ・デ・モウラ・テレス司教によって建てられた旧カビド邸（Casa do Cabido）に、この博物館がつくられました。この博物館では、陶磁器、家具、宝飾品、テキスタイルの非常に貴重なコレクションを所有しています。その幅広い展示品の中には、ルイス・デ・ソウザ司教が入手した17世紀のポータブル・オルガン、マヌエル1世がディオゴ・デ・ソウザ司教に寄贈した16世紀の祭服、450個のダイヤモンドが埋め込まれ金銀のめっきがほどこされた18世紀の聖宝容器などが含まれています。

Museu Nogueira da Silva

住所: Avenida Central, 61 4710-228 Braga
電話: +351 253 601 275 **ファックス:** +351 253 264 036

Eメール: sec@mns.uminho.pt **ウェブサイト:** <http://www.mns.uminho.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ノゲイラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Nogueira da Silva）

この美術館では、国内外の絵画、陶磁器、ファイアンス焼き、彫刻、タ

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害;

ビスカイニョス美術館 (Museu dos Biscainhos) ビスカイニョス美術館は、17世紀に貴族の住まいとして建てられた美しい館を利用しています。

バロック時代の民間建築様式の素晴らしい例であるさまざまな建物が当初のままの状態に残されており、バロック時代の上流階級の住まいがどんなものであったかを今に伝えています。室内には、主に個人からの寄贈品であるバロック時代の家具や陶磁器、中国の磁器、ヨーロッパのガラス製品、銀細工、テキスタイル、ポルトガルやヨーロッパの絵画など、17世紀から18世紀の美術品が展示されています。18世紀のフランスの様式を取り入れた庭園は、バロック時代につくられた庭園の中でも最も保存状態がよく完成度の高い庭園に数えられています。

Museu Pio XII

住所: Largo de Santiago 47 4700-532 Braga

電話: +351 253 200 130 ファックス: +351 253 200 131

Eメール: geral@museupioxii.com ウェブサイト:
<http://www.museupioxii.blogspot.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

Bragança

Centro de Arte Contemporânea Graça Morais

住所: Rua Abílio Beça, 105 5300-011 Bragança

電話: +351 373 302 410 ファックス: +351 273 202 416

Eメール: centro.arte@cm-braganca.pt ウェブサイト:
<http://centroartegracamorais.cm-braganca.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ,

身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例,

双方向型・視聴覚資料を用いた発表;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Centro de Memória Forte São João de Deus

住所: Largo Forte São João de Deus 5300-263 Bragança

電話: +351 273 328 378

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口:

全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;

バリアフリー情報: 案内板, 凡例; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;

Museu do Abade de Baçal

住所: Rua Abílio Beça, nº 27 5300-011 Bragança

ペストリー、アズレージョ、銀器、象牙細工を展示しています。

Palácio do Raio

住所: Rua do Raio 4700 Braga

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス:

身体障害者用設備;

ライオ小宮 (Palácio do Raio) ジョアン5世 (1706 - 1750) の時代に、アンドレ・ソアレスがジョゼ・デュアルテ・デ・フェレイラのために設計した宮殿で、バロック時代の素晴らしい民間建築物です。ジョゼ・デュアルテ・デ・フェレイラは強い影響力を持った商人で、キリスト騎士団の騎士でもありました。1834年にサン・ラザロ子爵ミゲル・ジョゼ・ライオがここを購入したことから、この建物は子爵の名前を取ってライオの館またはライオ小宮と呼ばれるようになりました。装飾の面では、ファサードを覆うタイル、炎の形の模様やアンフォラ (両取手付きの壺) で飾られた素晴らしい手すり、鍛鉄や加工した御影石を使ったプランダなどがあります。屋内にある階段も一見の価値があります。

Centro de Fotografia George Dussaud

住所: Rua Abilio Beça 75/77 5300-011 Bragança

電話: +351 273 324 092 ファックス: +351 273 324 580

Eメール: cfdussaut@cm-braganca.pt ウェブサイト:
<http://www.dussaud-g.fr/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 全部;

バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;

バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備, ホール;

バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表;

Memorial e Centro de Documentação Bragança Sefardita

住所: Rua Abílio Beça, 265300-011 Bragança

電話: +351 273 240 022 / +351 924 491 464

Eメール: cicsefardita@cm-braganca.pt ウェブサイト:
<http://www.sefarad-braganca.com/pt/>

メモリアル・エ・セントロ・ドゥ・ドキュメンタサオン・ブラガンサ・セファルディータ (Memorial e Centro de Documentação Bragança Sefardita) (ブラガンサのセファルディ記念文書化センター)

セファルディ記念文書化センターは、過去を知りたい社会の統合のための物理的および仮想的な空間である、ノルデステ・トランスモンターノ (Nordeste Transmontano) のセファルディ文化解釈センターを補完し、相互作用する施設です。展示会のサーキットは、宗教的实践と家族や地域社会の生活に焦点を当てており、本質的に教訓的です。日常の経験は、伝達されることを意図したものの中心にあります。

電話： +351 273 331 595 ファックス： +351 273 323 242
Eメール: mabadebacal@culturante.gov.pt ウェブサイト：
<https://www.museuabadebacal.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, 中庭; バリアフリー情報: 案内板, 凡例; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害, 精神障害;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;
支払い:
クレジットカード利用可;

アバデ・デ・バサル博物館 (Museu do Abade de Baçal) アバデ・デ・バサル (バサル修道院長) 博物館は、1915年に旧司教館を利用してつくられました。この司教館は17世紀に建てられたもので、ミランダ・ド・ドウロ (Miranda do Douro) とブラガンサの2つに分かれた司教区を往来する司教が1年の半分を過ごす、正式な司教の住まいとして使われていました。博物館の名前は、バサルのフランシスコ・マヌエル・アルヴェス修道院長 (1865 - 1948) を記念して付けられました。アルヴェス修道院長は、地域の歴史と芸術に強い関心を持った博学な人で、この博物館の設立に力を注ぎました。

この博物館では、9部屋を使って、トラスモンタノ (Trasmontano) 地方北東部と司教館の歴史というテーマに沿った展示が行われています。設立当初からのコレクションに加え、バルボザ・ロドリゲス大佐とサ・ヴェルガスからの寄贈品 (18~19世紀の硬貨と金製の宝飾品) や、作家のゲーラ・ジュンケイロとトリンダーデ・コエリョからの遺贈品の数々があります。特に価値のあるものとしては、15世紀の絵画「聖母マリアと幼子イエス (Virgem com o Menino)」、聖油の保管に使用されていた18世紀の戸棚、「聖イグナチオの受難 (Martírio de Santo Inácio)」を描いた三連祭壇画 (1560年頃)、キャンバスに描かれた18世紀の「受胎告知 (Anunciação)」があります。

セントロ・デウ・インテルプレタソン・ダ・カルチャーラ・セファルジータ・ド・ノルデストゥ・トランスモンタノ (Centro de Interpretação da Cultura Sefardita do Nordeste Transmontano) (ノルデストゥ・トランスモンタノのセファルディ文化解釈センター)

住所: Rua Conselheiro Abilio Beça 103 5300-011 Bragança

電話: +351 273 240 022

Eメール: cicsefardita@cm-braganca.pt

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;
バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;

ノルデストゥ・トランスモンタノのセファルディ文化解釈センターは、トラシュ・オス・モンテシュ (Trás-os-Montes) 地域に住んでいたユダヤ人コミュニティの経験の記念碑として設計されたスペースです。その記憶は今に至ってもまだ生きています。ブラガンサの街の歴史ある中心部に位置し、建築家ジョアキム・ポルテラ (Joaquim Portela) と共に、ブリッカー賞を受賞した建築家であるソウト・モウラ (Souto Moura) によって再建された建物の中にあります。

展示内容は、この地域のセファルディのユダヤ人の経験についてのテー

ツアーは小さなシナゴグ (-1階) での歓迎から始まり、訪問者が儀式のいくつかを実践するために開かれているユダヤ教の宗教的崇拝の空間を再構成します。宗教的な側面に加えて、展示の側面は、シナゴグ自体、会議とコミュニティの性質、そのリズムと宗教的なカレンダー、そして聖なるテキスト、トーラーの中心性についての情報を提供します。

女性の場所、儀式、お祭りも取り上げられ (2階)、日常の家族のしぐさや儀式に重点が置かれています。ビデオは、セファルディの儀式を再現しています。

最上階 (3階) には、思い出のアーカイブとオンラインのドキュメンテーションセンターがあり、15世紀以降に記録されたブラガンサ地域のセファルディの存在に関する考察と調査に役立ちます。ブラガンサ地域のセファルディユダヤ人のすべての居住者と子孫は、ここで証言をし、資料とテキストの両方で思い出を預けることができます。

Museu Ibérico da Máscara e do Traje

住所: Cidadaela - Castelo Rua D. Fernão " O Bravo " , nº 24/ 26 5300-025 Bragança

電話: +351 273 381 008

Eメール: museu.iberico@cm-braganca.pt ウェブサイト:
<http://museudamascara.cm-braganca.pt/>

時刻表:

;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

支援スキル: 精神障害;

マ別の歴史科学から得られた情報を再考することを目的としています。それは、この地域の経済発展とともに中世に始まり、近代の重要な帆船金融王朝時代を経て、最も多様な知識分野に専念した人々にスポットを当て、宗教迫害に終わります。

博物館の入り口には、小さな黒丸でできた大きなオリーブの木があり、その中にはユダヤ人のコミュニティがあった地域が刻まれています。2階では、市場、道路、生産・取引された製品など、この地域のユダヤ人の社会経済的な営みをさまざまな視点で展示しています。センターのこのエリアには、民族離散の始まりも含まれています。

このスペースには、ブラガンサの最も著名な人物の何人かとそこで生まれた家族の末裔の記念碑もあります。例えば、ポルトガルで最も輝かしい科学者の1人であるジャコブ・デウ・カストロ・サルメント (Jacob de Castro Sarmiento) (1691-1762年)、神学者で思想家でもあるトマス・ロドリゲス・ペレイラ (1605-1699年頃)、トゥールーズ大学の医学講師で神学者でもあるバルタザール・オロビオ・デウ・カストロ (Baltazar Oróbio de Castro) (1620-1687年頃) などがいます。恐怖は上層階のコレクションの焦点で、異端審問の尋問の様子を再現展示しており、画家グラサ・モライシュ (Graça Morais) によるずばり「オ・メド (O Medo)」(恐怖)と題した絵画を展示しています。

Esposende

Museu Municipal de Esposende

住所: Praça do Município 4740-223 Esposende

電話: +351 253 960 182 ファックス: +351 253 960 176

Eメール: cm.esposende@mail.telepac.pt;

museu.arte.esposende@sapo.pt ウェブサイト: <http://www.cm-esposende.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Guimarães

Casa da Memória de Guimarães

住所: Av. Conde Margaride, 536 4835-073 Guimarães

電話: +351 253 424 716

Eメール: geral@casadamemoria.pt ウェブサイト:

<http://www.casadamemoria.pt>

時刻表:

;

特色とサービス:

ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口:

全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス:

身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板;

双方向型・視聴覚資料を用いた発表、触覚的探索用のアイテム;

支援スキル: 視覚障害、聴覚障害、運動障害、精神障害;

利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害、精神障害;

Museu de Agricultura de Fermentões

住所: Rua Nossa Senhora de Fátima - Fermentões 4800-180

Museu Arqueológico Martins Sarmiento

住所: Rua Paio Galvão 4814-509 Guimarães

電話: +351 253 415 969

Eメール: sms@msarmiento.org ウェブサイト: <http://www.csarmiento.uminho.pt>;

<http://www.facebook.com/sociedade.martinsarmiento>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 全部;

バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗;

身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例;

双方向型・視聴覚資料を用いた発表、触覚的探索用のアイテム;

支援スキル: 運動障害、精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス:

精神障害;

マルティンス・サルメント考古学博物館 (Museu Arqueológico Martins

Sarmiento) マルティンス・サルメント協会は、1881年に設立された文化

機関です。この協会は価値の高いさまざまな財産を所有しており、マル

ティンス・サルメント考古学博物館もそのひとつです。この博物館はポ

Guimarães

電話：+351 962 063 186 - 253 559 130

Eメール: geral@museudeagriculturadefermentos.pt ウェブサイト：
http://www.museudeagriculturadefermentos.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備;
バリアフリー情報: 案内板, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表;
支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害;

農業博物館 (Museu Agrícola de Fermentões) 1983年にオープンした博物館で、リネンやワインづくり (ポルトガル北西部特産のワイン「ヴィーニョ・ヴェルデ」) を中心とした、地元の伝統的な農業活動を紹介しています。

Paço dos Duques de Bragança

住所：Rua Conde Dom Henrique 4800-412 Guimarães

電話：+351 253 412 273

Eメール: pduques@culturante.gov.pt ウェブサイト：
https://pacodosduques.gov.pt/

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路:
全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗,
バー/カフェ, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

ブラガンサ公爵館美術館 (Museu do Paço dos Duques de Bragança) ブラガンサ公爵館は、典型的なフランスの屋敷にインスピレーションを得て設計されたもので、15世紀始めに建設が開始されました。この館は、初代ブラガンサ公爵でありアヴィス家のジョアン1世の私生児である、バルセロス (Barcelos) のドン・アフォンソによって建てられたものです。後に、ブラガンサ公爵家の住まいはアレンテージョ (Alentejo) にあるヴィーラ・ヴィゾーザ (Vila Viçosa) の館に移されたため、ブラガンサの公爵館は段々と荒廃していき、1807年に軍の兵舎に転用されました。1937年になって建物の修復作業が始められ、サン・マメーデの戦いのちょうど831年後にあたる1959年6月24日に、ノルマンの影響を受けたゴシック様式の荘厳な姿を取り戻した館が完成しました。北側の1階には近代美術の小さな美術館があり、この街出身の画家ジョゼ・デ・ギマラインス (ポルトガル観光のシンボルマークをつくったアーティスト) が生まれ故郷の街に寄贈した作品が展示されています。1階の複数の大部屋を使用したこの美術館は、さまざまな美術館から集められた美術品やそのレプリカの展示を行っています。中でも多数の17世紀の家具、古い武器のコレクション、4枚の巨大な素晴らしいタペストリーが特に目を惹きます。このタペストリーは組になっており、北アフリカの街アルジラ (Arzila) へのポルトガル人の到着、アルジラの包囲、タンジールの攻略の様子が細かく描かれています。このタペストリーの原物は、マドリッドに近いパストラナ (Pastrana) で発見され、その後司教館に移されました。スペイン政府はタペストリーの複製は許可しましたが、原物のタペストリーをポルトガルへ返却することは認めなかったため、現在の公爵館美術館に飾られているものは複製の方です。

ポルトガルにおけるローマ時代以前の文化の権威的存在であり、ヨーロッパでもローマ時代以前の文化に関する最も重要な博物館のひとつに数えられています。この博物館は、14世紀につくられたサン・ドミンゴス教会の回廊を利用しており、先史時代と原史時代の考古学、金石学、古銭学に関する優れたコレクションに加え、近現代アートのコレクションも所有しています。数ある所蔵品の中で最も重要なものは、「ペドラ・フォルモサ (美しい石)」と呼ばれている墓碑です。これは1897年にマルティンス・サルメント博士によって博物館に持ち込まれました。

Museu de Alberto Sampaio

住所：Rua Alfredo Guimarães 4810-251 Guimarães

電話：+351 253 423 910

Eメール: masampaio@culturante.gov.pt ウェブサイト：
https://www.museualbertosampaio.gov.pt/

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗,
身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害;

アルベルト・サンパイオ美術館 (Museu de Alberto Sampaio) アルベルト・サンパイオ美術館は、旧ノッサ・セニョーラ・デ・オリヴェイラ協同教会 (Colegiada de Nossa Senhora da Oliveira) をはじめとする、ギマラインス (Guimarães) の教会や修道院が所蔵していた美術品等を所蔵・展示するために、1928年に設立されました。世界遺産に指定されているギマラインスの歴史地区の中心部、10世紀にムアドーナ伯爵夫人によって建てられた修道院の跡に設けられています。

この美術館は、かつてノッサ・セニョーラ・ダ・オリヴェイラ協同教会の一部であった寮と回廊と小修道院の3つのエリアを利用しています。教会の後陣の周囲につくられたこの回廊は変則的な形をしており、ポルトガル建築では珍しい例といえます。アルベルト・サンパイオ美術館は、非常に興味深いコレクションを所有しています。

中でも特に注目したいのは、石灰岩と木でつくられた13世紀から18世紀の像の数々です。木工品の中では、聖ペテロ会が所有していた祭壇飾りの彫刻 (17世紀) や、サンタ・クララ修道院 (Convento de Santa Clara) の教会にあったバロック様式の支柱が特に優れています。絵画の中には、素晴らしいフレスコ画や油彩画がいくつかあります。陶磁器類では、タイルとファイアンス焼きが展示されています。テキスタイルのコレクションには、聖職者の祭服に加え、さまざまな種類の衣服を集めた重要なコレクションがあります。

ポルトガル王ジョアン1世がアルジュバロータの戦いで身に付けていた外衣は、この美術館の最も有名な展示品のひとつです。金銀器のコレクションの中では、12世紀から19世紀の典礼具 (聖杯、聖体皿、聖体顕示器、聖遺物箱) を集めたノッサ・セニョーラ・ダ・オリヴェイラの至宝コレクションが目を惹きます。

セントロ インテルナシオナル ダス アルテ ジョゼ ジギマラインイシュ [ジョゼ ジギマラインイシュ国際芸術センター]

住所：Av. Conde Margaride, 175 4810-525 Guimarães

電話：+351 253 424 715

Eメール: geral@ciajg.pt ウェブサイト：http://www.ciajg.pt

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

ムゼウ ダ クルトゥーラ カストレジャ (カストロ文化博物館)

住所: Rua do Solar4805-448 São Salvador de Briteiros - Guimarães

電話: +351 253 478 952

Eメール: citania@msarmento.org ウェブサイト: <http://www.csarmento.uminho.pt>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール;
バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表,
触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 精神障害;

ムゼウ ダ クルトゥーラ カストレジャ (カストロ文化博物館) は、18世紀後期に建てられ、フランシスコ マルティンス サルメント (1833 - 1899) 一家が所有していた古い農家であるソラーダボンチに入っています。ソラーダボンチは、農地、脱穀場、穀物倉、製粉機、農場の小作人の厩舎と家を含む広大な財産の一部でした。

マルティンス サルメントは、普段はギマランイシ (Guimarães) に住んでいて、別荘としてこのスペースを使い、近くにあるシタニア デ プリテイロスとカストロ デ サブローソ (Castro de Sabroso) で行っていた考古学調査の間、ここに滞在していました。サルメントが、さまざまな友人を出迎えたのもここでした。友人とは、1880年にシタニアを訪れて考証を書いた作家カミーロ・カステロ・ブランコやヨーロッパの研究者達、パリから来たエミール・カルタイヤックやアンリ・マルタン、ベルリンから来たルドルフ・フィルヒョウ、マドリッドから来たジュアンヴィラノーバ、ワルシャワから来たアドルフ・パヴィンスキーといった面々です。

1899年にサルメントが亡くなった後、ソシエダード マルティンス サルメント (SMS) に寄贈されたソラーダボンチはもはや終の住処として使われることはなくなり、徐々に荒廃し、元の部屋にあったもの多くはなくなってしまいました。領主の館の完全修復は、ムゼウ ダ クルトゥーラ カストレジャ (カストロ文化博物館) が開館した2003年ようやく可能になり、ソシエダード マルティンス サルメント考古学博物館のテーマを拡張することになりました。

Lamego

Museu de Lamego

住所: Largo de Camões 5100-147 Lamego

電話: +351 254 600 230

Eメール: mlamego@culturante.gov.pt ウェブサイト: <https://museudelamego.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

トラベラーズチェック利用可;

ラメーゴ博物館 (Museu de Lamego) ラメーゴ博物館は、かつて司教館として使われていた美しい建物だ。ここでは、素晴らしい展示の数々が見られるのはもちろんのこと、この古い館の中を歩きながら、その壮大で厳粛な美しさを堪能することができる。展示品の中でも特に注目したいのが、一般にグラン・ヴァスコの名で知られる偉大なポルトガル画家ヴァスコ・フェルナンデスの絵画作品と、フランドルのタペストリー

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール;
バリアフリー情報: 案内板; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害,
精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害, 精神障害;

ジョゼ ジギマランイシ国際芸術センター (CIAJG) は、50年近くにわたり、ジョゼ ジギマランイシが、アイデンティティを構築する方法としての多様性について考察を加えながら、故郷であるギマランイシ (Guimarães) の街から始まり、豊かで複雑な文化がある3大陸由来の文明を横断し、もとの場所へと戻る地理学的で時間的な筋立てについて記述したスピリチュアルでシンボリックな旅程のなかで収集してきたコレクションからの品々を一堂に集めています。コレクションには、アフリカンアート、前コロンブス時代のアート (メキシコ (México)、ペルー (Peru)、グアテマラ (Guatemala) およびコスタリカ (Costa Rica) および古代中国アートのほか、アーティストおよびその他の現代アーティストの手による作品、民俗学的遺産、宗教的遺産および考古学的遺産といえる品々が含まれています。CIAJGは、手短かに言えば、様々な遠方由来の文化の品々、写真および思想をひとまとめにして関連づける地図帳として機能しています。

のコレクションだ。16世紀初頭、ラメーゴのジョアン・マドゥレイラ司教は、カテドラルの内陣に飾るための大きな祭壇画の制作をグラン・ヴァスコに依頼した。その時に描かれた20枚のパネルのうち5枚が現存しており、そのすべてがこの博物館に展示されている。現存するのは「動物の創生」、「マリアに受胎告知する天使ガブリエル」、「聖母マリアのエリザベト訪問」、「キリストの奉獻」、および「割礼」で、16世紀のポルトガル美術における最高の作品のひとつに数えられている。ラメーゴ博物館にあるタペストリーは、グラン・ヴァスコの絵画と同時代にブリュッセルでつくられたものだ。貴族や高位聖職者たちは、タペストリーを装飾品として自分の館に飾ると同時に、より居心地のよい空間をつくる道具として使用していた。ここに展示されているものの中には、音楽舞踏会を描いた2枚組みのタペストリー、女神ラトナに関する神話の一場面を描いた「ラトナの神殿」と題する非常に美しいタペストリー、ギリシア神話の中で最も悲劇的な話であるオイディプスの物語を描いた4枚組みのタペストリーなどがある。1階には複数の部屋を使った考古学セクションが設けられており、多数の中世の墓石、非常に美しい中世の十字架、ポルトガルのさまざまな一族の紋章が刻まれた数々の石などが展示されている。館内にある4つの礼拝堂も訪れる者の目を引く。これらは、もともとシャガス修道院 (Convento das Chagas) にあった礼拝堂をこの博物館の中に移築したもので、創造性豊かなポルトガルのバロック美術を今に伝えている。ポルトガル家具やインド ポルトガル家具、17世紀のアズレージョのパネルを含むさまざまな陶磁器類、金銀製の宝飾品、内容の充実した祭服のコレクションも一見の価値がある。

Matosinhos

Casa-Museu Abel Salazar

住所: Rua Dr. Abel Salazar, 4884465-012 São Mamede de Infesta

電話: +351 969 872 425

Eメール: cmuseu@reit.up.pt **ウェブサイト:** <https://cmas.up.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

一部; バリアフリーのエリア / サービス: 店舗;

アベル・サラザール美術館 (Casa-Museu Abel Salazar)

高名な医師にしてポルト大学 (Universidade do Porto) の組織学教授であったアベル・サラザール (1889 - 1946) が住んでいた家、サン・マメデ・デ・インフェスタ (São Mamede de Infesta) は、ルイ・ルイス・ゴメス教授と友人らからの強い要望により、1950年に美術館へと生まれ変わりました。この美術館設立は、アベル・サラザールが時代の問題に立ち向かうために、知性や社会的な面で大きく貢献してきたことをたたえたものです。館内には当時の内装が残されており、一連の油彩画、彫刻、版画が展示されていると同時に、アベル・サラザール自身の芸術に対する興味や才能を表す個人的な品々も見るすることができます。中でも注目のしたいのは、エンリケ・ボウザンの作品にならった習作、ソアレス・ドス・レイスやコロンバーノなどのポルトガル人アーティストへのオマージュとしてつくられた作品、彼の芸術哲学を反映した作品です。

Museu da Quinta de Santiago

住所: Rua de Vila Franca, 134 4450-802 Leça da Palmeira

電話: +351 22 939 24 10 **ファックス:** museuqsantiago@cm-matosinhos.pt

ウェブサイト: <https://www.cm-matosinhos.pt/servicos-municipais/cultura/museu-da-quinta-de-santiago>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu da Memória de Matosinhos

住所: Rua Alfredo Cunha, 58 4450-020 Matosinhos

電話: +351 22 939 09 67

Eメール: mumma@cm-matosinhos.pt **ウェブサイト:** <https://www.cm-matosinhos.pt/servicos-municipais/cultura/equipamentos/museu-da-memoria-de-matosinhos>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

全部; バリアフリーのエリア / サービス: 店舗; 身体障害者用設備;

バリアフリー情報: 双方向型・視聴覚資料を用いた発表; 支援スキル:

視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

利用可能な支援プロダクト / サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 一部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール;
バリアフリー情報: 案内板; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害,
精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害,
運動障害, 精神障害;

アートを通じてマトシーニョスとレサダパルメイラの歴史的記憶を保存し、広めることが、この博物館の中心的な使命であり、自治体によって管理され、1996年4月2日に発足しました。

この博物館は、歴史的な建物(おそらく1896年に完成)にあり、イタリア人建築家ニコラピガリアのプロジェクトにより、サンティアゴデカルバーリョエソウザ家の住居として建てられました。それは世紀の終わりにマトシンホス・リサ市で行われました。XIXと世紀を通して。XX。

2003年以来、MuMaの創設博物館の1つであるポルトガル博物館ネットワークを統合しています -
マトシンホス博物館ネットワークと2007年以来のICOMのメンバー。

2009年以来、Quinta de Santiagoは3つの建物で構成されています。19世紀後半のインテリアの特徴的な雰囲気に加えて、2つの博物館フロアで構成される博物館。XIX、特許展を見つけることができます。Espaço Irene Vilar、多目的講堂と教育サービス用のスペースを備えています。ヒガンテの滝が設置されているカサドボスケは、約15平方メートルで、20世紀初頭からのレサの代表的な再建です。XX - ホセ・モレイラによって建設され、博物館に寄贈されました。

博物館を囲む広い庭園では、訪問者はシザピエラ、ルイアナホリー、ラゴアエンリケスの彫刻作品を見ることができます。

Melgaço

Espaço Memória e Fronteira

住所: Rua Loja Nova 4960-558 Melgaço

電話: +351 251 418 106

Eメール: memoriaefronteira@cm-melgaco.pt

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

Museu de Cinema de Melgaço Jean Loup Passek

住所: Rua do Carvalho 4960-536 Melgaço

電話: +351 251 401 575

Eメール: museudecinema@cm-melgaco.pt

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

Miranda do Douro

Museu da Terra de Miranda

住所: Praça D. João III, 2 5210-190 Miranda do Douro

電話: +351 273 431 164 ファックス: +351 273 431 164

Eメール: mterramiranda@culturante.gov.pt ウェブサイト:

<https://www.museuterrademiranda.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。

テラ・デ・ミランダ博物館(Museu da Terra de Miranda) テラ・デ・ミランダ博物館は、アントニオ・マリア・モウリーニョ神父によって1982年に設立されました。この博物館が入っている17世紀の建物は、かつてミランダ・ド・ドウロ(Miranda do Douro)の議事堂だった場所で、監獄としても使用されていました。

この博物館には、さまざまな時代の考古学に関する品々を集めたコレクションに加え、トラス・オス・モンテス (Trás-os-Montes) 地方の民族誌に関する重要なコレクションがあります。その中でも最も重要なコレクションは、恐らくテラ・デ・ミランダのコレクションでしょう。ワインの宣伝や製造に用いられる農業器具などの品々が複数の部屋を使って展示されており、これらの展示品を通して、この地域のさまざまな技術や工芸が紹介されています。この地域の伝統産業である織物に関しては、毛織物やリネンをつくる機械や器具とともに、多数のリネンや毛織物、伝統的な衣装のコレクションが展示されています。

Mirandela

Museu da Oliveira e do Azeite

住所: Travessa D. Afonso III, 48 5370-516 Mirandela

電話: +351 278 993 616

Eメール: moa@cm-mirandela.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-mirandela.pt>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;

Museu Municipal Armindo Teixeira Lopes

住所: Rua João Maria Sarmiento Pimentel, 161 5370-326 Mirandela

電話: +351 278 201 590

Eメール: museu@cm-mirandela.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-mirandela.pt>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;

Paredes de Coura

Museu Regional de Paredes de Coura

住所: Rua Aquilino Ribeiro4940-533 Paredes de Coura

電話: +351 251 780 122 **ファックス:** +351 257 780 120

Eメール: museu@cm-paredes-coura.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

パレデス・デ・コウラ地方博物館 (Museu Regional de Paredes de Coura) パレデス・デ・コウラ地方博物館は、この地方の文化遺産、特に芸術、考古学、民族誌に関する文化遺産の研究、保存、紹介を促進していくことを目標としています。この博物館は、18世紀に建てられたと考えられているカーザ・ダ・ヴェイガ (Casa da Veiga) に設けられています。カーザ・ダ・ヴェイガには、もともと脱穀場と穀物倉庫の2つの建物がありました。博物館には、この地域のテキスタイル、衣類、家具、農耕器具、装飾品が展示されています。

Penafiel

Museu Municipal de Penafiel

住所: Rua do Paço 4560-485 Penafiel

電話: +351 255 712 760 **ファックス:** +351 255 711 066

Eメール: museu.penafiel@cm-penafiel.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-penafiel.pt/VSD/Penafiel/vPT/Publica/AccaoMunicipal/MuseuMunicipal/;http://www.cm-penafiel.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Peso da Régua

Museu do Douro

住所: Rua Marquês do Pombal 5050-286 Peso da Régua

電話: +351 254 310 190 **ファックス:** +351 254 310 199

Eメール: geral@museudodouro.pt **ウェブサイト:**
<http://www.museudodouro.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

Porto

Casa São Roque Centro de Arte

住所: Rua São Roque da Lameira 2092 4350-317 Porto

Eメール: info@casasaoroque.pt

時刻表:

午後1時30分～午後7時(10月から3月)。

午後1時30分～午後8時(4月から9月)。

定休日: 火曜日、12月25日、1月1日、5月1日;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部;

建物内のバリアフリー通路: 一部; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;

Website: <https://www.casasaoroque.art/pt/>

Casa-Museu Marta Ortigão Sampaio

住所: Rua Nossa Senhora de Fátima, 291 4050-428 Porto

電話: +351 22 606 65 68 **ファックス:** +351 22 605 70 01

Eメール: dmmpc@cm-porto.pt **ウェブサイト:**
<http://www.portoturismo.pt/index.php?m=3>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

マルタ・オルティガン・サンバイオ美術館(Casa-Museu Marta Ortigão Sampaio) この美術館の建物は、建築家ジョゼ・カルロス・ロウレイロが設計したもので、19世紀後半から20世紀後半にかけての自然主義の絵画コレクションが展示されています。展示品の中には、アウレリア・デ・ソウザ、ソフィア・デ・ソウザ、マルケス・デ・オリヴェイラ、シルヴァ・ポルト、カルロス・レイス、ヴェローゾ・サルガド、ソウザ・ピント、アルトゥール・ロウレイロなどの作品があります。絵画の他にも、17世紀から20世紀にかけての宝飾品300点以上を所蔵しています。

Museu de Arte Contemporânea de Serralves

住所: Rua D. João de Castro, 2104150-417 Porto

電話: +351 22 615 65 00 **ファックス:** +351 22 615 65 33

Eメール: serralves@serralves.pt **ウェブサイト:** <http://www.serralves.pt>

セラルヴェス現代美術館(Museu de Arte Contemporânea de Serralves) 多面的なこの美術館の設計は、建築家アルヴァロ・シザ・ヴィエイラの

Casa-Museu Guerra Junqueiro

住所: Rua D. Hugo, 32 4050-305 Porto

電話: +351 22 200 36 89 **ファックス:** +351 22 208 60 29

Eメール: dmmpc@cm-porto.pt **ウェブサイト:**
<http://www.portoturismo.pt/index.php?m=3>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

ゲーラ・ジュンケイロ美術館(Casa-Museu Guerra Junqueiro) ポルトのカテドラルに隣接する、18世紀の美しい建物を利用した美術館で、ポルトガル人作家ゲーラ・ジュンケイロ(1850 - 1923)が個人で集めたコレクションを展示しています。展示品には、14~15世紀のものを中心とするポルトガル家具をはじめ、真鍮製品・銀製品の優れたコレクションや、陶磁器、宗教彫刻があります。

Museu da Fundação Maria Isabel Guerra Junqueiro e Luís Pinto de Mesquita Carvalho

住所: Rua D. Hugo, 15 4050-305 Porto

電話: +351 22 200 11 55

Eメール: fundguerrajunqueiro@sapo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

Museu do Carro Eléctrico do Porto

住所: Alameda Basílio Teles, 51 4150-127 Porto

電話: +351 22 615 81 85 **ファックス:** +351 22 507 11 50

Eメール: cpimentel@stcp.pt **ウェブサイト:** <http://museu-carro-electrico.stcp.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

ポルト電車博物館(Museu do Carro Eléctrico do Porto) ポルト電車博物館はポルトガルで唯一の電車博物館です。ここに展示されている自分の親や祖父母の時代に使われていた輸送手段を見れば、過去100年以上の間のポルトの歴史を肌で感じることができます。こんな体験をできるポルト電車博物館は、ポルトの旧マッサレロス発電所(Central Termo-

手によるものです。スケールとバランスと光を重視した4500 m²の展示エリアに加え、残りの8200 m²には、講堂、図書室、資料センター、ミュージアムショップ、本屋、休憩エリアが設けられています。休憩エリアには、公園を見渡すテラスが設けられたレストランもあります。こうしたすべての空間は、窓の外に見える自然のことを考え、自然との一体感を感じてもらえるように設計されています。この美術館には、1960年代以降の国内外のアーティストたちの作品を集めた、貴重な現代美術コレクションがあります。現代美術に対する関心と理解を深め、アーティストと受け手との対話を促進するために、企画展や教育的なプログラムも行っています。

Museu do Papel Moeda da Fundação Dr. António Cupertino de Miranda

住所： Avenida da Boavista, 4245 4100-140 Porto

電話： +351 226 101 189 ファックス： +351 226 103 412

Eメール： sefacm@mail.telepac.pt ウェブサイト： <http://www.facm.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu dos Transportes e Comunicações

住所： Rua Nova da Alfândega Edifício da Alfândega 4050-430 Porto

電話： +351 223 403 000

Eメール： museu@amtc.pt ウェブサイト： <http://www.amtc.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:

全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ,

身体障害者用設備; バリアフリー情報:

双方向型・視聴覚資料を用いた発表; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害,

運動障害, 精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害,

精神障害;

Museu Nacional de Soares dos Reis

住所： Rua D. Manuel II 4050-342 Porto

電話： +351 22 339 37 70 ファックス： +351 22 208 28 51

Eメール： mnsr@imc-ip.pt ウェブサイト： <http://mnsr.imc-ip.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

ソアレス・ドス・レイス国立美術館 (Museu Nacional de Soares dos

eléctrica de Massarelos) を利用しています。ここでは、路面電車の動力付き車両6台、客車5台、路面電車のメンテナンス用トラック2台に加え、写真、料金表、設計図などが展示されています。ポルト初の大量輸送機関であり「カーロ・アメリカーノ」と呼ばれていた鉄道馬車の貴重な原物も保存されています。ここに展示されている車両No.8のような鉄道馬車が、1872年にポルトの公共輸送機関として運転を開始しました。その後1895年には、電力を使った国内初の路面電車のサービスが始まり、ここに展示されている車両No.22のような電車が、このポルトガル北部の街における生活の円滑化に役立ちました。それ以降、路面電車はポルトの街の風景に欠かせないものです。ポルト電車博物館を訪れば、車両No.373の路面電車が走っているのを初めて見たポルト市民の驚きを想像できるはずです。その理由を知りたい方は、この博物館までぜひ足をお運びください！そして忘れてはならないのが有名なNo.500の車両。驚きの詰まった文字通りのびっくり箱です。

Museu do Vinho do Porto

住所： Rua de Monchique, 45-52 4050-394 Porto

電話： +351 22 207 63 00 ファックス： +351 22 207 63 09

Eメール： museuvinhoporto@cm-porto.pt ウェブサイト： <http://www.cm-porto.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

Museu Nacional da Imprensa

住所： Estrada Nacional 108, nº 206 4300-316 Porto

電話： +351 22 530 49 66 ファックス： +351 22 530 10 71

Eメール： museuimprensa@mail.telepac.pt ウェブサイト： <http://www.imultimedia.pt/museuvirtpress>; <http://www.cartoonvirtualmuseum.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

国立印刷博物館 (Museu Nacional da Imprensa) 1997年にオープンした国立印刷・出版・グラフィックアート博物館 (Museu Nacional da Imprensa, Jornais e Artes

Gráficas) は、イベリア半島で唯一の、印刷に関する博物館です。この博物館設立は、1989年につくられた印刷博物館協会 (AMI: Associação Museu da Imprensa) が先頭に立ち、ジャーナリスト訓練センター、非日刊紙協会 (AIND: Associação de Imprensa Não-Diária)、ポルト市議会、アントニオ・デ・アルメイダ財団、100年以上の歴史を持つ新聞4紙 (コメルシオ・ド・ポルト、ディアリオ・デ・ノティシアス、ジョルナル・デ・ノティシアス、プリメイロ・デ・ジャネイロ) の協力を得て実現されました。この博物館は、ポルトのフレイショ宮 (Palácio do Freixo) に近い、かつて工場として使われていた建物を利用しています。2つのセクションに分かれており、ひとつはポルトガル人初の印刷工を記念して「サラ・ロドリゴ」と名づけられた常設展示セクション、もうひとつは特別展示ギャラリーです。サラ・ロドリゴ・セクションでは、展示されている機械の一部を実際に試すことができ、インタラクティブな形で紙面構成や印刷の技術について学ぶことができます。特別展示ギャラリーの方は、印刷・出版・グラフィックアートが持つ社会的、教育的、文化的な重要性を示す展示を行うことを目標としていますが、風刺画や時事漫画の体系的な展覧会なども開催しています。

Museu Romântico da Quinta da Macieirinha

住所： Rua Entrequintas, 220 (Quinta da Macieirinha) 4050-240 Porto

電話： +351 22 605 70 00 ファックス： +351 22 605 70 01

Eメール： dmpc@cm-porto.pt ウェブサイト：

<http://www.portoturismo.pt/index.php?m=3>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照

Reis) この美術館は、18世紀に建てられた新古典主義の宮殿に設けられています。19～20世紀のポルトガル絵画の素晴らしいコレクションを所有しており、中でも「ポルト派」と呼ばれる自然主義画家たちの時代の作品は特に見ごたえがあります。その中にはシルヴァ・ポルト、マルケス・デ・オリヴェイラ、アルトゥール・ロウレイロ、エンリケ・ポウザンの作品が含まれています。優れた彫刻家であったソアレス・ドス・レイス(1847 - 1889)の重要作品のコレクションもあります。宮殿のメインフロア(現在修復工事中)には、その他に食堂や音楽室があり、宮殿として使われていた当時の装飾が一部残っています。このエリアは17～18世紀の絵画と装飾美術品の展示に使用されています。装飾美術品の中には、ポルトガル北部のファイアンス焼きの品をはじめとする興味深い陶磁器の数々、東洋の磁器、金細工、宝飾品、ガラス製品、家具などがあります。

Palácio da Bolsa

住所: Rua de Ferreira Borges 4050-253 Porto

電話: +351 223 399 013 **ファックス:** +351 223 399 090

Eメール: turismo@cciporto.pt **ウェブサイト:**
<http://www.palaciodabolsa.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

ください。;

キンタ・ダ・マシエイリーニャ・ロマン主義美術館(Museu Romântico da Quinta da Macieirinha) 装飾美術品のコレクションを所有する美術館で、絵画や19世紀の家具など、サルディニア王のカルロ・アルベルト(1798 - 1849)が所有していた品々が展示されています。

ボルサ宮(Palácio da Bolsa) ボルサ宮(証券取引所)は、ポルトで最も重要な歴史的建造物のひとつであり、この街で絶対に見逃せない場所のひとつです。19世紀の後半に新古典主義の様式でつくられた建物で、ポルト商工会の本部として使われていました。この事実からも商業がこの街の歴史にとっていかに重要なものであったかが分かります。1841年にマリア2世の命令により証券取引所として使われるようになりますが、1911年に商工会へ返還されています。この建物は、ポルトの建築家ジョアキン・ダ・コスタ・リマ・ジュニオールが設計しました。建築的に優れた建物で、英国のパラディオ様式やポルトの街の他の建物を参考にしたことがはっきりと分かります。参考にした建物には、ジョン・カーが設計したサント・アントニオ病院(Hospital de Santo António)、カルロス・アマランテが設計した海運貿易学院(Academia da Marinha e Comércio: 現在は科学大学[Faculdade de Ciências])、ジョン・ホワイトヘッドが設計した工場(Feitoria Inglesa)などがあります。宮殿内では、中央の中庭(Pátio das Nações)や、アラブの間(Salão Árabe)が見どころです。1862年にゴンサルヴェス・イ・ソウザによってつくられたアラブの間は、新ムーア様式の華麗な装飾をほどこした独特な部屋です。かつてはここで、世界の要人たちの歓迎式典など、ポルトで最も重要な公の式典が行われていました。現在この部屋は文化的な催しに使用されています。

Póvoa de Lanhoso

Museu do Ouro de Travassos

住所：Aldeia de Baixo - Travassos - Póvoa de Lanhoso 4830-771

Travassos PVL

電話：+351 253 943 790 ファックス：+351 253 943 792

Eメール: info@museudoouro.com ウェブサイト：

http://www.museudoouro.com

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

黄金博物館 (Museu do Ouro)

この黄金博物館は、さまざまな金細工の工房があるトラヴァッソス (Travassos) 村の金細工職人の仕事を紹介し、その質をさらに高めていくことを目的として創設されました。

ここでは、フランシスコ・デ・カルヴァーリョ・イ・ソウザが金細工職人として過ごした50年間に集めた品々や資料を展示しており、何代にもわたって培われてきた秘伝の技と知識の結晶である繊細な金線細工 (フィリグリー) の制作方法が詳細に紹介されています。

展示品には、工房で使用される設備、職人自身が使用する道具、若干の銀細工とさまざまな金細工があり、その中には銅器時代の王冠やローマ時代の耳飾りなど、考古学的な遺物も含まれています。

Póvoa de Varzim

Museu Municipal de Etnografia e História da Póvoa de Varzim

住所：Rua do Visconde de Azevedo, 17 4490-589 Póvoa de Varzim

電話：+351 252 616 200 ファックス：+351 252 616 200

Eメール: museu@cm-pvarzim.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ポヴォア・デ・ヴァルジン民族誌・歴史博物館 (Museu Municipal de Etnografia e História da Póvoa de Varzim) この博物館は、18世紀後半に建てられた「ソラル・ドス・カルネイロス (Solar dos Carneiros)」という屋敷を修復、拡張した建物を使用しています。屋敷の一部としてもとあった礼拝堂も、現在一般に公開されています。この博物館では、この地方の海岸地帯と田園地帯における生活を紹介する、民族誌や考古学に関する展示を行っています。考古学セクションでは、この地域における人間の生活の起源とその進化の歴史を紹介しています。この地域には、原史時代の始まり以降の比較的確切な人間の生活の痕跡が残っており、ローマ時代以前の重要な情報やローマ人が居住した痕跡も残されています。街の港では、ポヴォア・デ・ヴァルジンの伝統的な船、「ランシャ・ボヴェイラ・ド・アルト (Lancha Poveira do Alto)」を見学することができます。

Resende

Centro Interpretativo da Cereja

住所: Vila de Cova, 102 – Vila Verde4660-386 São Martinho de Mouros – Resende
電話: +351 254 877 200

Eメール: museu@cm-resende.pt **ウェブサイト:** <https://cm-resende.pt/museu-municipal>

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア / サービス: 身体障害者用設備, 中庭, ホール;
支援スキル: 運動障害, 精神障害; 利用可能な支援プロダクト / サービス:
運動障害, 精神障害;

Centro Interpretativo de Montemuro

住所: Av. da Liberdade – antiga escola primária4660-070 Feirão – Resende
電話: +351 254 877 200

Eメール: museu@cm-resende.pt **ウェブサイト:** <https://cm-resende.pt/museu-municipal>

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口:
全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス:
身体障害者用設備, ホール; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト / サービス: 運動障害, 精神障害;

Santa Maria da Feira

Museu de Santa Maria de Lamas

住所: Largo da Igreja, 90Parque de Santa Maria de Lamas4535-412 Santa Maria de Lamas
電話: +351 22 744 74 68 | +351 91 664 76 85 **ファックス:** +351 22 745 49 93

Eメール: geral@museudelamas.pt **ウェブサイト:** <https://museu.colegiodelamas.com/>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Centro Interpretativo da Cerâmica

住所: Calçada dos Cesteiros, 80 – Antiga Escola Primária4660-338 São João de Fontoura - Resende
電話: +351 254 877 200

Eメール: museu@cm-resende.pt **ウェブサイト:** <https://cm-resende.pt/museu-municipal>

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス:
身体障害者用設備, ホール; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト / サービス: 運動障害, 精神障害;

Museu Municipal de Resende

住所: Rua Dr. Amadeu Sargaço 4660-238 Resende
電話: +351 254 877 200

Eメール: museu@cm-resende.pt **ウェブサイト:** <https://cm-resende.pt/museu-municipal>

その他の情報:

Entrada gratuita / Contactos: +351 254 877 200 / 926 509 276

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口:
全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス:
身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板; 支援スキル:
運動障害, 精神障害; 利用可能な支援プロダクト / サービス: 運動障害,
精神障害;

Museu do Papel Terras de Santa Maria

住所: Rua de Riomaior, 3384535-301 Paços de Brandão
電話: +351 22 744 29 47 **ファックス:** +351 22 745 99 32

Eメール: geral@museudopapel.org **ウェブサイト:** <http://museudopapel.org/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;
テラス・デ・サンタ・マリア紙博物館（Museu do Papel Terras de Santa Maria）1822年に創設された昔の製紙工場の建物を利用したテラス・デ・サンタ・マリア紙博物館は、ポルトガルにおける紙の製造の歴史を紹介する専門博物館です。現在も使用可能な製造エリアがあり、来館者が紙の製造プロセスに参加できるようになっています。ここでは、紙の歴史における産業化以前と産業化後の時代を対比させ、1枚ずつ手作業でつくっていく方法と、長くつながった紙をロール単位でつくっていく方法を紹介しています。この博物館には、新工場（1795 - 1958）の跡も残っています。この工場跡は、堂々とした外見と周りの美しさから、他にはない独特なスペースとなっており、18世紀から19世紀にかけてサンタ・マリア・ダ・フェイラ（Santa Maria da Feira）の一部工場がいかに重要なものであったかをはっきりと物語っています。この新しい博物館では、紙の製造の歴史を後世に伝えていくために、300年近くにわたって製紙業に関わってきたこの地域の歴史的、文化的、社会経済的価値を高め、過去と未来とを結ぶ掛け橋を築いていくことを目標としています。

Santo Tirso

Museu Municipal Abade Pedrosa

住所：Rua Unisco Godiniz, 100 4780-363 Santo Tirso

電話：+351 252 830 400 ファックス：+351 252 256 534

Eメール：gap@cm-stirso.pt ウェブサイト：http://www.cm-stirso.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

São João da Madeira

Núcleo de Arte da Oliva

住所：Rua da Fundação, 2403700-119 São João da Madeira

電話：+351 256 004 190

Eメール：nucleoarteoliva@cm-sjm.pt ウェブサイト：
http://olivacreativefactory.com/wp/?pageid=578

時刻表:

開場時間：火曜日から日曜日：10時から午後6時まで;

オリヴァ芸術センター（Núcleo de Arte da Oliva）は、2013年の暮れに発足した文化機関で、その使命は創造的革新的な都市の基礎としての現代芸術と芸術的表現について広く知ってもらうということです。それ自身を現代社会の議論と反映の場であり、この地の文化的創造的推進と開発の場であると宣言しています。

活性化し、さらに知識を広め、楽しんでもらい、その地域社会が新しい芸術的实践に触れることをその責務として引き受け、その使命を満たすため、この芸術センターは自身を統合的包括的な場、独立と優秀さ、教育とリクレーション、問いと挑戦、思考と創作の場と位置付けています。

帽子博物館（Museu de Chapelaria）

住所：Rua Oliveira Júnior, 5013700-204 São João da Madeira

電話：+351 256 201 680

Eメール：museu.chapelaria@gmail.com ウェブサイト：
http://museudachapelaria.blogspot.com

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; レストラン;

ここは1914年、サン・ジョアン・ダ・マデイラ（São João da Madeira）の名士で、のちに当時の政府に産業・農業功労賞を授与されたアントニオ・ジョゼ・オリヴェイラ・ジュニオールによって創設され、その頃の人々に「新工場」（Fábrica Nova）として知られるようになったところです。

工場は製造技術にかけては革新的で、常に市場のニーズを把握して最先端を走りました。この会社は、メリノウール（ファインウール）の帽子の商品化も行いました。いわゆる「ファッション帽」と呼ばれるもので、従来製造されてきた、きめの粗いウールの帽子とは全く異なるものでした。このファッション帽の製造機と製造技術を有するポルトガル唯一の企業として、エンブレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社（Empresa Industrial de Chapelaria）は長年にわたりその製造と販売を独占していました。

Oliva Creative Factory

住所：Rua da Fundação, 2403700-119 São João da Madeira

電話：+351 256 004 100

Eメール：olivacreativefactory@cm-sjm.pt ウェブサイト：
http://www.olivacreativefactory.com

時刻表:

育成機関受付時間:月曜から金曜:午前9時から午後12:30
および午後2時から午後6時

芸術センター受付時間：火曜日から日曜日:午前10時から午後6時;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

オリヴァ創造工場

オリヴァ創造工場はサン・ジョアン・ダ・マデイラの最近の文化と芸術の場で、才能と創造性にひらめきを与えることを使命としています。

元のオリヴァ工場の中にあつて、ポルトガルの工業の歴史で最も重要なものの一つとされるオリヴァ創造工場は、商業部、オリヴァの歴史の情報センター、現代美術館、芸術家居住部、舞踏学校、そして種々の芸術的創造的開発と訓練の場、文化的イベントと活動の場を含んでいます。

役立つ情報

トッレ・ダ・オリヴァに位置し、サン・ジョアン・ダ・マデイラの最も象徴的で歴史的な建物です。歓迎センターはサン・ジョアン・ダ・マデイラの工業の観光、工業的遺産の経路についての情報を与えてくれます。ここで、工場への来訪を記帳し、工業ツアーガイドのサービスを要求し、質問に答え、ワークショップへの登録をすることができます。何人かの館員が援助をし、工業ツアーガイドに紹介し、訪問したい工場あるいは機関についてのマルチメディアのガイドを与えてくれます。歓迎センターに立ち寄るとどんな見るべきものがあるかを直ちに知ることが出来ます。対話テーブルを覗いて経路についての情報を得たり、ピアルコとオリヴァの工場の歴史について2本の時系列の看板で学ぶことができます。

この場所は私たちの工業の歴史の過去、現在、未来への記憶に残る旅への出発点です。

サービス

- 案内所と記帳所
- 工業ツアーのガイドとマルチメディア・オーディオ・ガイドが有ります（ポルトガル語、英語、フランス語とスペイン語です）
- 対話式マルチメディア空間
- ラウンジと対話式の子供のラウンジ
- ポルトと北ポルトガル観光局の売店

帽子産業の黎明期からの歴史の一部を担い、結果として、その繁栄と衰退の時代をともに歩んだエンブレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社は1995年に閉鎖されました。同社は、帽子づくりを生涯の仕事とした帽子製造者や職人を何世代にもわたって雇用、育成した工場のイメージと永遠に結びつけられるでしょう。

オリヴェイラ・ジュニオール通り (Rua Oliveira Junior) にあり、現在、帽子博物館 (Museu de Chapelaria) が入居する建物は、均整のとれた落ち着いたデザインで知られ、それ自体がポルトガル建築史の一時代を映すものとなっています。

Torre de Moncorvo

Museu do Ferro e da Região de Moncorvo

住所：Lg. Dr. Balbino Rego 5160-241 Torre de Moncorvo

電話：+351 279 252 724 ファックス：+351 279 252 724

Eメール: museu-ferro@hotmail.com ウェブサイト：

<http://www.museudoferroedaregiaodemoncorvo.net>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

モンコルヴォ地方・鉄博物館 (Museu do Ferro e da Região de Moncorvo) 地域一帯から集められた考古学的な遺物を収納する博物館を設立するという提案は、19世紀から出されていました。しかし、このプロジェクトが実現されたのは1984年になってからのことです。フェロミナス社が先頭に立って、リスボン新大学 (Universidade Nova de Lisboa) と協力しながら、産業考古学の共同研究プログラムの一環として博物館を立ち上げました。フェロミナス社は鉄鉱石の採掘に関わってきた会社で、鉄の採掘という地場産業についての歴史的な調査研究も行ってきました。1986年に同社が解体された際、その博物館の所蔵品はモンコルヴォ市議会にゆだねられました。1993年になって、市議会はモンコルヴォ地域考古学プロジェクトへの協同意見書に調印し、このプロジェクトによって新たにモンコルヴォ地方・鉄博物館が設立されることとなりました。この博物館は、かつての鉄博物館が所有していたコレクションと長い年月をかけて集められた多数の資料の所蔵を主要目的としています。現在この博物館は、16世紀に建てられたソラル・ド・バラオン・デ・パルメ (Solar do Barão de Palme) という館に設けられています。かつて共和国軍の本部として使われていました。

Vale de Cambra

Museu Municipal de Vale de Cambra

住所：Praça da República - Macieira de Cambra 3730-223 Vale de Cambra

電話：+351 256 422 016 ファックス：+351 256 420 519

Eメール: mmvc@netvisao.pt ウェブサイト：

<http://www.geira.pt/mmvalecambra/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Viana do Castelo

Museu de Artes Decorativas

住所: Largo de São Domingos 4900-330 Viana do Castelo

電話: +351 258 809 305 | +351 258 820 377 **ファックス:** +351 258 824 223

Eメール: museu.a.a@cm-viana-castelo.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-viana-castelo.pt/pt/mad-apresentacao>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

装飾芸術美術館 [Museu de Artes Decorativas]

18世紀に建てられた邸宅を利用した美術館です -

テイシェイラ・バルボサ・マシエル[Teixeira Barbosa

Maciel]家の紋章が表に飾られています - ヴィアナ・ド・カステロ市立美術館は装飾芸術作品を専門に展示しています。青の彩色が特徴的なかの有名なヴィアナ・ド・カステロの陶器工房の多数の作品の実例をはじめとする、17世紀から19世紀のポルトガルの古いファイアンス陶器の価値あるコレクションを展示しています。

絵画作品のコレクション（16世紀のもの）や描画に加えて、18世紀のインド・ポルトガル家具およびポルトガルタイルやヒスパニック・アラビヤタイルコレクションが収蔵されています。18世紀のポリカルポ・デ・オリヴェイラ・ベルナルデス[Policarpo de Oliveira Bernardes]が手がけたタイルは特に興味深い作品です。

Navio Hospital Gil Eannes

住所: Doca Comercial 4900-405 Viana do Castelo

電話: +351 258 809 710 **ファックス:** +351 258 809 719

Eメール: geral@fundacaogileannes.pt **ウェブサイト:** <http://www.fundacaogileannes.pt/engine.php?cat=1>

その他の情報:

ガイドツアーは事前予約が必要です。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; バリアフリーのエリア/サービス: ホール; バリアフリー情報: 案内板, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;

ジル・エアネス病院船 [Navio Hospital Gil Eannes]

ジル・エアネス病院船は1955年にヴィアナ・ド・カステロに建設され、ニューファンドランド島とグリーンランドの沿岸で操業するポルトガルのタラ漁船団を何十年もの間支えてきました。

現在は博物館ユニットと海洋センターに転換し、訪れる人々にまさに非日常の体験を提供しています。今日ではヴィアナ・ド・カステロの観光スポットとなっています。

Museu do Traje - Viana do Castelo

住所: Praça da República 4900-318 Viana do Castelo

電話: +351 258 809 306

Eメール: museutraje@cm-viana-castelo.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-viana-castelo.pt/pt/mt-apresentacao>

時刻表:

火曜日～金曜日: 午前10時～午後6時

土曜日、日曜日: 午前10時～午後1時/午後3時～午後6時

休館日: 毎週月曜日、12月24日、25日、31日、1月1日;

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表;

衣装博物館 [Museu do Traje]

町の歴史地区に位置するこの博物館は、以前はポルトガル銀行でしたが2004年から衣装博物館となりました。ここではヴィアナの伝統的衣装を鑑賞し、民族誌学上の豊かさを感じることができます。

常設展示の「A lã e o linho no traje do Alto

Minho」（アルト・ミーニョ衣装の羊毛とリネン）、

「Traje à Vianesa」（ヴィアナの伝統的衣装）、

「Oficina do Ouro」（金のワーク

ショップ）とともに、手作りの衣服を作る道具も展示されています。

衣装博物館ではヴィアナの伝統的衣装と民族誌をテーマにした非常に多くの展示会を開催しています。

Vila Nova de Famalicão

Casa de Camilo - Museu / Centro de Estudos

住所: Avenida de São Miguel de Seide, n.º 7584770-631 São Miguel de Seide

電話: +351 252 327 186 (Museu) / 252 09 750 (Centro de Estudos)

Eメール: geral@camilocastelobranco.org **ウェブサイト:** <http://www.camilocastelobranco.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 全部;

バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;

バリアフリーのエリア/サービス: 店舗; 支援スキル: 視覚障害, 運動障害, 精神障害;

カミロ博物館 (Casa-Museu de Camilo) この博物館は、19世紀の最も有名なポルトガル人作家のひとりであるカミロ・カステロ・ブランコが住んでいた家を利用した博物館です。1825年にリスボンで生まれたカミロ・カステロ・ブランコは、その時代のさまざまな新聞に記事を書き、生涯を執筆活動にささげた人です。1863年に、伴侶のアナ・ブラシドが相続したセイデ (Seide) にある家へ引越しました。晩年は完全に視力を失い、1890年に亡くなりました。このカミロ・カステロ・ブランコの家は、1958年に博物館に生まれ変わりました。この博物館には、19世紀の家具、個人的な所持品、絵画や彫刻などに加え、カステロ・ブランコの作品や伝記が並ぶ貴重な図書室があります。ジャーナリスト、小説家、伝奇小説家として、彼の作品には19世紀の社会的・政治的風潮や一般的な世界観が反映されています。

Museu Bernardino Machado

住所: Rua Adriano Pinto Basto, 79 4760-114 Vila Nova de Famalicão

電話: +351 252 377 733

Eメール: museu@bernardinomachado.org **ウェブサイト:** <http://www.bernardinomachado.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗;

Museu de Cerâmica Artística da Fundação Castro Alves

住所: Rua Comendador Castro Alves - N. 3914765-053 Bairro Vila Nova de Famalicão

電話: +351 252 931 053

Eメール: fundacao@fundacaocastroalves.org **ウェブサイト:** <https://www.fundacaocastroalves.org/>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu Nacional Ferroviário - Núcleo de Lousado

住所: Largo da Estação - Lousado4760-623 Vila Nova de Famalicão

電話: +351 252 153 646 **ファックス:** +351 252 153 606

Eメール: museuferroviario@vilanovadefamalicao.org **ウェブサイト:** <https://www.fmnf.pt>

特色とサービス:

Centro Português do Surrealismo

住所: Praça D. Maria II4760-111 Vila Nova de Famalicão

電話: +351 252 301 650 **ファックス:** +351 252 301 669

Eメール: museu@fcm.org.pt **ウェブサイト:** <https://www.cupertino.pt/>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板;

Museu da Indústria Têxtil da Bacia do Ave

住所: Rua José Casimiro da Silva - Outeiro4760-355 CalendárioVila Nova de Famalicão

電話: +351 252 313 986 **ファックス:** +351 252 377 110

Eメール: geral@museudaindustriatextil.org **ウェブサイト:** <https://www.museudaindustriatextil.org/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリー情報:

触覚的探索用のアイテム;

Museu do Automóvel de Vila Nova de Famalicão

住所: Lago Discount Lote 48-B4760-673 Ribeirão - Vila Nova de Famalicão

電話: (+351) 252 314 045 **ファックス:** (+351) 252 314 045

Eメール: museudoautomovelfamalicao@gmail.com **ウェブサイト:** <https://www.visitportugal.com/ja/%40museudoautomovelfamalicao>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備, ホール;

Num espaço com três mil metros quadrados de exposição, o Museu do Automóvel tem patente um espólio de grande riqueza, que é constituído por cerca de uma centena e meia de carros, motorizadas e bicicletas antigas, que retrata a evolução do design e da técnica do automóvel ao longo do século XX. Alguns dos ex-libris do Museu dizem respeito a um microcarro único da VEL, um dos dois exemplares únicos no mundo da Rolls Royce e cinco exemplares diferentes do primeiro carro a ser produzido em série no mundo, o modelo T da Ford.

ショッピング; ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール;

Vila Nova de Foz Côa

Museu da Casa Grande

住所: Rua Direita 5155 Freixo de Numão

電話: +351 279 789 573 **ファックス:** +351 279 789 573

Eメール: freixo.acdr@clix.pt **ウェブサイト:** <http://www.acdr-freixo.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー; レストラン;

Museu do Côa

住所: Rua do Museu 5150-620 Vila Nova de Foz Côa

電話: +351 279 768 260 **ファックス:** +351 279 768 270

Eメール: museu@arte-coa.pt **ウェブサイト:** <http://www.arte-coa.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

2010年7月30日にオープンし、ドウロ川とコア川が交わる斜面の1つにあるこのコア博物館は、最先端の技術を使用してコア深谷の洞窟美術（特に25,000年前後～12,000年前の旧石器時代のもの）を展示しています。

博物館は、ヴァレ・ド・コア考古学公園の施設の1つです。オフロード車による専門ガイド付きツアーが、3つの異なる旧石器時代の美術史跡で提供されています。ツアーは、事前に予約が必要です。また、博物館は考古学に関する実験ワークショップや他の教育サービスアクティビティも提供しており、こちらも事前予約が必要です。

Vila Nova de Gaia

Casa-Museu Teixeira Lopes

住所: Rua de Teixeira Lopes, 32 4400-320 Vila Nova de Gaia

電話: +351 223 742 904

Eメール: casamuseuteixeiralopes@cm-gaia.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

CIPA – Centro Interpretativo do Património da Afurada

住所: Rua António dos Santos, 10 São Pedro da Afurada 4400-365 Vila Nova de Gaia

電話: +351 227 710 093

Eメール: cipapbiologico@cm-gaia.pt **ウェブサイト:** <http://www.parquebiologico.pt>

WOW – World of Wine

住所: Rua do Choupelo, 39 4400-088 Vila Nova de Gaia, Portugal

電話: +351 220 121 200

Eメール: info@wow.pt **ウェブサイト:** <https://wow.pt/pt>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ, 身体障害者用設備, 中庭;

Solar dos Condes de Resende

住所: Travessa Condes de Resende, 110 4410-264 Canelas - Vila Nova de Gaia

電話: +351 22 762 56 22 / 960 413 442

Eメール: solarcondesresende@cm-gaia.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

レゼンデ伯爵の屋敷（Solar dos Condes de Resende）中世の頃に住まいとして建てられたこの屋敷は、その名が示すようにレゼンデ伯爵が所有していましたが、1984年に自治体が購入、改築して、地域の文化センターへと生まれ変わりました。

ここで最も目を引くのは、樹齢百年を超える木のある「椿の庭園（Jardim das Japonêiras）」や、「エサ・デ・ケイロス庭園（Jardim Eça de Qu

World of Wine は、ポルト市街のいわゆるワイン地区にいくつかの体験スポットを収容する複合施設です。7つの博物館、12のレストラン、バー、そしてカフェスペース、「ワインスクール」、複数のショップ、展示ホール、そしてイベントスペースからなります。

ドウロ川の南岸にあるVila Nova de Gaiaに位置し、Ribeira do Porto（ポルトのリバーサイド）とルイス1世橋を見渡し、プロジェクトは古いポートワインセラーの修復から始まり、ワイン製造にまつわる歴史と思

eiroz)」です。エサ・デ・ケイロス庭園は、この家でレゼンデ伯爵の娘エミリア・デ・カストロ・パンブローナと恋に落ちた、19世紀の有名なポルトガル人作家を記念してつくられました。建物の中には、中世からの文書が収められている歴史文書センター、博物館セクション、考古学研究室、特別展示用のエリアがあります。

を様々な形態で伝えることを目的としています。

7つの
テーマの博物館があります：ワインをわかりやすく説明する**ワイン体験**；インビクタシティの歴史と遺産を明らかにする**ポルト地域の歴史**；コルクの世界を紹介する**コルクの惑星**；ココアの世界を紹介する**チョコレート・ストーリー**；ガラス細工の歴史の変遷をたどる**ブリッジ・コレクション**；ポルトガルのファッションのショーケースである**ポルト・ファッション・アンド・ファブリック博物館**；ロゼワインのコンセプトにビジターを浸らせる最近完成した**ピンクの宮殿**です。

ワインスクールでは、World of Wineの博物館のテーマに関連する授業やワークショップに参加することもできます。

Vila Real

Casa de Mateus

住所：Largo Morgados de Mateus Mateus 5000 Vila Real

電話：+351 259 323 121 **ファックス**：+351 259 326 553

Eメール：casademateus@casademateus.pt **ウェブサイト**：<http://www.casademateus.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

マテウス邸（Casa de Mateus）この館は18世紀前半に建てられたもので、ニコラウ・ナジニの仕上げの後が各所に見られます。広大な農場の中で美しい庭園に囲まれて建つこの館は、ポルトガルにおけるバロック時代の民間建築物の中でも最も優れた建物に数えられています。邸内には、複雑な彫刻をほどこした木の天井、さまざまな時代の家具、17～18世紀の絵画、銀器、陶磁器、叙事詩「ウズ・ルジアダス」の素晴らしい装丁本を所蔵する図書室などがあります。この館を所有するマテウス財団は、音楽、文学、彫刻、陶磁器の分野を中心とした数々の文化活動のスポンサーとなっており、さまざまな催し、クラス、セミナー、展示会を企画しています。

Museu de Arqueologia e Numismática de Vila Real

住所：Rua do Rossio 5000-620 Vila Real

電話：+351 259 320 340 **ファックス**：+351 259 320 349

Eメール：museu@cm-vilareal.pt **ウェブサイト**：<http://museu.cm-vilareal.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備；

Vila do Conde

Casa de José Régio e Centro de Documentação - Vila do Conde

住所：Av. José Régio, 4480-671 Vila do Conde

電話：+351 252 248 468

Eメール：museu@cm-viladoconde.pt **ウェブサイト**：<https://www.cm-viladoconde.pt/pages/501>

特色とサービス:

ショップ；ガイドツアー；

バリアフリー案内:

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア；建物内のバリアフリー通路；

一部；バリアフリーのエリア/サービス：店舗，身体障害者用設備；

バリアフリー情報：双方向型・視聴覚資料を用いた発表，

触覚的探索用のアイテム；支援スキル：視覚障害，運動障害；

Museu Agrícola Entre Douro e Minho

住所：Rua da Agrária - Lugar do Crasto - Vairão 4480 Vila do Conde

電話：+351 252 660 453 **ファックス**：+351 252 660 452

Eメール：ddirp.rp@draedm.min-agricultura.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

特色とサービス:

ガイドツアー；

ドウロ/ミーニョ農業博物館（Museu Agrícola Entre Douro e Minho）

この博物館は、1991年度ヨーロッパ博物館コンテストにおいて、特別賞を受賞しました。農業に使われる道具や機械を所蔵しており、この地域における農業活動を紹介する展示を行っています。

Museu das Rendas de Bilros - Vila do Conde

住所：Rua de S. Bento, 70 4480-782 Vila do Conde

電話：+351 252 248 470 ファックス：+351 252 248 470

Eメール: museus@cm-viladoconde.pt ウェブサイト：

<http://www.museudeviladoconde.org.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ヴィラ・ド・コンデ・レース博物館（Museu das Rendas de Vila do Conde）伝統的なレース編みがヴィラ・ド・コンデの重要な歴史遺産の一部です。この博物館には、レース技術学校（Escola de Rendas）でつくられた作品や品評会に出された作品を含む、非常に美しいレースが展示されています。外国のセクションもあり、ヨーロッパやブラジルのピローレースやポピンレースを見ることができます。ポピンレースが実際につくられるところを見学できるセクションも設けられています。

Museu de Arte Sacra de Vila do Conde

住所：Rua da Misericórdia, 60 4480-758 Vila do Conde

電話：+351 252 640 810 ファックス：+351 252 000 126

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ヴィラ・ド・コンデ宗教美術館（Museu de Arte Sacra de Vila do Conde）この美術館には、木像、金糸刺繍をほどこした祭服（16～18世紀）、銀器（16～20世紀）が展示されています。中でも、宝石をちりばめた鍍金銀製の18世紀の聖体顕示器や、18世紀の銀製ランタンのコレクションは一見の価値があります。

Vimioso

Museu Judaico de Carção

住所：Praça David dos Santos, 5230-122 Carção

電話：+351 966 197 194

Eメール: paulo.carcao@gmail.com

ムゼウ・ジュダイコ・カルサオン（Museu Judaico Carção）（カルサオンユダヤ人博物館）

Museu Judaico Carçãoは、記憶とマラナ（Marrana）の生活（スペイン語で、キリスト教に改宗することを余儀なくされたが、ユダヤ教の信仰を秘密裏に公言したユダヤ人を指す）と、正統派ユダヤ教の押し付けによって追い払われて、彼ら自身の形の宗教を創造したクリプトユダヤ人の文化についての小さなスペースです。

隠れユダヤ教に関連する碑文および家庭資料のコレクションは注目に値します。

廃墟のビルから救われたユダの獅子が彫られたまぐさが際立っています。

また、16世紀から18世紀にカルサオンのユダヤ人が言っていた非常に重要な祈りの言葉のコレクションを強調しています。

長い記念碑には、異端審問官が逮捕して投獄したカルサオンの住民の名前が記載されています。

ポルトガル中部地方

Abrantes

Museu Dom Lopo de Almeida

住所：Castelo de Abrantes 2200 Abrantes

電話：+351 241 371 724 ファックス：+351 241 330 186

Eメール: cultura@cm-abrantes.pt ウェブサイト：<http://www.cm-abrantes.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

ドン・ロポ・デ・アルメイダ博物館（Museu Dom Lopo de Almeida）

この博物館は、サンタ・マリア・ド・カステロ教会（Igreja de Santa Maria do Castelo）の中にあり、ポルトガル国内で最も素晴らしいコルダ・セカのセヴィーリャ風アズレージョのコレクションを所有しています

。アブランテス公爵のディオゴ・デ・アルメイダ、ロボ・デ・アルメイダ、ジョアン・デ・アルメイダの墓石に加え、絵画、祭服、民族誌関連の品々、彫刻と金箔をほどこした木工品もあります。特に興味深いものに、ローマ時代から18世紀にかけての彫刻の数々や、改装された宗教美術セクションがあります。

Alcanena

Museu de Aquarela Roque Gameiro

住所：Largo Justino Guedes nº 2 2395-102 Minde

電話：+351 249 841 292 / 249 840 022

Eメール: museuaguarela@caorg.pt ウェブサイト： <http://www.caorg.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Alcobaça

Museu Raul da Bernarda

住所：Ponte D. Elias 2460-261 Alcobaça

電話：+351 925 651 638

Eメール: museu.raul.bernarda@cm-alcobaca.pt ウェブサイト：
<https://www.cm-alcobaca.pt/pt/pt/2734/museu-raul-da-bernarda.aspx>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

美術館は、インスタレーションに関連するテーマの一時的な展示と、常設の「ラウル・ダ・ベルナルダ・セラミック・コレクション」の2つの展示に分かれています。これは、135年を超える遺産を登録し、賞賛しています。その年代順に展示されたユニークな作品群は、アルコバサ (Alcobaça) の陶磁器産業の重要性と豊かさを反映しています。

ラウル・ダ・ベルナルダ & フィリョーシュ株式会社 (Raul da Bernarda & Filhos, Lda.)。アルコバサで最も古い食器工場です。1875年にジョゼ・ドス・レイシュ (José dos Reis) によって設立され、街にコインブラ様式の実用的な食器を紹介しました。ジョゼ・ドス・レイシュは、1900年から1920年代の終わりまで、ディレクターのマニエル・フェレイラ・ダ・ベルナルダ (Manuel Ferreira da Bernarda) によって小規模な生産ラインで引き継がれました。すでに息子のラウル・ダ・ベルナルダの管理下にあるこの工場は、彼の起業家と地域や国の装飾芸術を象徴する陶芸家のチームの成果として1930年代から創造的な衝動を獲得し、いわゆるアルコバサの芸術的な磁器の端緒を作りました。

美術館は2000年にラウル・ダ・ベルナルダによって開館され、その後2010年にアルコバサ市議会によって買収され、以降管理されています。主な展示会は、1900年から1970年までのアルコバサの社会的、文化的過去の歴史的、民族誌的、芸術的記憶を描いた100点以上の作品とともに、会社の元メンバーから自治体に寄贈されたコレクションで構成されています。

博物館は、ラウル・ダ・ベルナルダショップを併設しています。ここでは、工場の現在の生産物のなかから最高のコレクションが販売されています。これは、以前は最も有名な国際的アウトレットでしか入手できなかったものです。

Alenquer

Museu Damião de Góis e das Vítimas da Inquisição

住所：Calçada Damião de Góis 11-13, 2580-296 Alenquer

電話：+351 927 058 207

Eメール：mdgvi@cm-alenquer.pt

ムゼウ・ダミアオン・デウ・ゴイシュ・ダス・ヴィティマシユ・ダ・インキジサオン (Museu Damião de Góis e das Vítimas da Inquisição) (**ダミアオン・デウ・ゴイシュと異端審問の被害者博物館**)

イグレジャ・デウ・サンタ・マリアダ・ヴァルゼア (Igreja de Santa Mariada Várzea) (サンタ・マリア・ダ・ヴァルゼア教会) は現在、ダミアン・デ・ゴウシュ (Damião de Góis) と異端審問犠牲者の博物館であり、そこで亡くなった人々の記憶に敬意を表して、アレンケルのユダヤ人コミュニティの重要性に捧げられています。このスペースは、ポルトガルの宗教的迫害と文化的不寛容の犠牲者に捧げられた最も重要なものの1つです。

一方では、アレンケルに住むユダヤ人は、教会の再建を命じられた後、その宗教的な寺院を焼き尽くす火を放ったことを非難され、これが原因で15世紀の終わりに町から追放されました。

アレンケルで生まれ、亡くなったダミアン・デウ・ゴウ (1502-1574) は、教会に埋葬されています。彼は最も重要なポルトガルのヒューマニストであり、ロッテルダムのエラスムスのゲストであり、高官であり、ポルトガルの王に仕えるためにヨーロッパ中を旅してきました。彼の人生の終わりに、彼は彼の考えのために異端審問によって逮捕されました、そして、ユダヤ人であるためではありません。ルーサーの考えに固執したと非難され、彼は健康が回復を超えたときのみ解放されました。

Museu Municipal Hipólito Cabaço

住所：Rua Maria Milne Carmo, 2 2580-319 Alenquer

電話：+351 263 730 906 ファックス：+351 263 711 504

Eメール：ffrogeiro@sapo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

ヒポリト・カバッソ市立博物館 (Museu Municipal Hipólito Cabaço) この博物館は、約40,000点におよぶ膨大なコレクションを所有しています。中でも、この博物館の後援者であったヒポリト・カバッソが20世紀初頭から死去するまでの間に収集した考古学的遺物のコレクションは特に見ごたえがあります。所蔵品の大半は地元アレンケル (Alenquer) に関係のあるものですが、他のポルトガル各地の遺跡から発見されたものも数多く含まれています。

Almeida

Memorial aos Refugiados e ao Cônsul Aristides Sousa Mendes

住所：Largo da Estação, 6355-272 Vilar Formoso

電話：+351 271 149 459

Eメール：fronteiradapaz@cm-almeida.pt **ウェブサイト**：https://www.cm-almeida.pt/espacos-municipais/1678-2/memorial/

2017年に落成した難民とアリスティデス・スーザ・メンデス (Aristides

Sousa Mendes) 領事の記念碑は、ポルトガルへの入国ビザが命を救った

という最近の閉鎖された国境の過去の記憶を生かしています。ユダヤ人

への10,000人を含む、これらの3万人は、第二次世界大戦中にポルドーの

ポルトガル領事館、アリスティデシュ・デウ・ソウザ・メンデス (1885-

Museu João Mário

住所：Travessa de São Benedito 2580-395 Alenquer

電話：+351 263 732 534 **ファックス**：+351 263 732 001

Eメール：eratel@mail.telepac.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

ジョアン・マリオ美術館 (Museu João Mário) この美術館はオーナーのコレクションを展示している私設美術館で、さまざまな時代の具象絵画や彫刻を400点以上所有しています。特に、コロンバーノ、シルヴァ・ポルト、ロケ・ガメイロ、ヴェローゾ・サルガドなどの重要な作品があります。

1954) によって付与されました。この領事は、1966年にヤド・ヴァシエムによって「諸国民の中の正義」として記憶されました。

この施設は、ホロコストの恐怖への難民のための中立国への玄関口であったポルトガルの重要な国境の町、ヴィラル・フォルモゾ (Vilar Formoso) の鉄道駅に接続された2つの古い倉庫に収容されています。証言によれば、街は歓迎ムードで、移民は、巨大なスープのポット、パン、宿泊施設で歓迎された、と説明しました。鉄道駅の2つの倉庫は、元の断片として設計された両方の建物の外壁の白とは対照的に、暗いボディで接続されています。

6つの展示クラスターが来館者に提示されます。「私たちのような人々」、「悪夢の始まり」、「旅」、「ヴィラル・フォルモゾ、平和の境界」、「ポルトガルの地を通り抜ける」、「出発」。最初の倉庫では、ウィーンの街路や公園を歩いたり遊んだりしているユダヤ人の家族の画像を見ることができます。訪問中、ヒトラーが権力を握ってから1933年にポルトガルが移民の大波を受けた1940年まで、ドイツとヨーロッパでの変革を証明するビデオ、写真、テキスト、ポスターがあります。戦時中に存在した唯一の倉庫である第2の倉庫では、淡い青色の壁が、ヴィラル・フォルモゾに到達した人々の感情を込めて描かれた青い空を再現しています。

Anadia

Aliança Underground Museum

住所：Rua do Comércio, 4443781-908 Sangalhos

電話：+351 234 732 000/45 ファックス：+351 234 732 005

Eメール: undergroundmuseum@alianca.pt ウェブサイト：
<http://www.alianca.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

Museu José Luciano de Castro

住所：Rua Dr. Alexandre Seabra, 29 3780-230 Anadia

電話：+351 231 512 245 ファックス：+351 231 511 338

Eメール: scm.anadia@sapo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Aveiro

Ecomuseu da Marinha da Troncalhada

住所： Canal das Pirâmides 3800 Aveiro

電話： +351 234 406 485

Eメール: museucidade@cm-aveiro.pt ウェブサイト: <http://mca.cm-aveiro.pt/rede-de-museus/ecomuseu-marinha-da-troncalhada/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; バリアフリー情報: 案内板; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu de Arte Nova

住所： Rua Barbosa de Magalhães, n.ºs. 9-113800-200 Aveiro

電話： +351 234 406 485

Eメール: museucidade@cm-aveiro.pt ウェブサイト: <http://mca.cm-aveiro.pt>

時刻表:

;

その他の情報:

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu da Cidade de Aveiro

住所： Rua João Mendonça, n.ºs 9-113800-200 Aveiro

電話： +351 234 406 485

Eメール: museucidade@cm-aveiro.pt ウェブサイト: <http://mca.cm-aveiro.pt>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu de Aveiro

住所： Av.ª. Santa Joana Princesa 3810-329 Aveiro

電話： +351 234 423 297 - 234 383 188 ファックス: +351 234 421 749

Eメール: maveiro@drcc.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害; 特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

アヴェイロ博物館（Museu de Aveiro）アヴェイロ博物館は、15世紀に建造されたかつてのジェズ修道院（Convento de Jesus）を利用した博物館です。ジェズ修道院は、アフォンソV世の娘ジョアンナ王女が入っていたことで知られる修道院です。ジョアンナ王女は、1490年にこの修道院で亡くなり、1673年に聖ジョアンナとなりました。ここには王族が暮らしていたことを物語る重要なものが2つ残されています。ひとつはジョアンナ王女の墓で、王室付きの建築家ジョアン・アントゥネスの設計によって18世紀前半につくられた、素晴らしい作品です。もうひとつは王女の肖像画です。これはヌーノ・ゴンサルヴェスとその弟子たちの作品といわれており、高貴な衣装に身を包み若さの絶頂にありながら、その表情に悲しみと諦めをたたえた王女が描かれています。修道院の教会には、タイルのパネルに覆われた壁に、聖ジョアンナの生涯を物語る6面の絵が飾られています。この美術館は、1834年の修道会・教団の解散命令によって消滅した修道院や宗教施設から集められた美術品を収納するために、1911年に創設されました。絵画、彫刻、木工品、タイル、金銀細工、祭服、金糸の刺繍がほどこされたアンテペンディウム（祭壇の前飾り）、極めて稀少価値の高い15～16世紀の写本（この修道院の設立と聖ジョアンナの生涯に関する写本を含む）など重要なコレクションを所有しており、この地域を訪れる際には見逃せない場所となっています。建物の中には古い修道院の生活の面影を残す場所があり、展示品と同じくらい興味深いポイントです。玄関ホール、金に塗られた木造部やタイルが美しい礼拝堂が複数設けられている回廊、教会の1階部分の聖歌隊席、きらびやかな2階の聖歌隊席などがあります。1階の聖歌隊席は、修道女たちが一般の信者たちと格子をへだてて礼拝に出席するために使用されていました。

Batalha

Museu da Comunidade Concelhia da Batalha

住所：Largo Goa, Damão e Diu, n.º 4 2440-901 Batalha

電話：+551 244 769 878 ファックス：+351 244 769 111

Eメール: geral@museubatalha.com ウェブサイト：
http://www.museubatalha.com

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Museu de Oferendas ao Soldado Desconhecido no Mosteiro da Batalha

住所：Mosteiro de Santa Maria da Vitória ou da Batalha 2440-001 Batalha

電話：+351 244 765 738

Eメール: geral@ligacombatentes.org.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バターリャ修道院博物館（Museu do Mosteiro da Batalha）この博物館は、ゴシック建築の傑作で1933年から世界遺産に指定されているバターリャ修道院（Mosteiro da Batalha）の食堂だった場所を利用しています。ここはポルトガルが参加した1914年～1918年の戦争の記憶を後世に残していくための博物館です。ポルトガルは、当時アフリカにあった植民地を守るために、この戦争へ参加しました。当時、ドイツはポルトガルの植民地であったアンゴラとモザンビークを併合し、独自の植民地帝国をつくりあげようとしていました。ポルトガルは、そうしたドイツの計画に脅かされていた植民地を守るうとしたのです。英国側についてフランスとベルギーの国境地帯で戦いを繰り広げていたポルトガル軍は、ラ・リスの戦いにおいてドイツ第6陸軍の猛攻により壊滅状態となりました。無名戦士の墓がある教務院は、食堂と同様に王の回廊と隣接しています。壮大なアーチ型の天井があり、ヨーロッパの中でも最も大胆なゴシック建築の例に数えられています。戦いの間兵士たちを見守った「塹壕のキリスト」のまなざしの下、永久に燃え続ける「国の火」ともす記念碑的なシャンデリアに照らされた、この飾り気のない無名戦士の墓は、フランドルの塹壕の中で死んでいった何千ものポルトガル人たちの象徴です。

Belmonte

Museu Judaico de Belmonte

住所：R. da Portela 4, 6250-088 Belmonte

電話：+351 275 088 698

Eメール: empds.belmonte@gmail.com ウェブサイト：
https://cm-belmonte.pt/diretorio/museu-judaico/

ベルモンテのムゼウ・ジュダイコ（ユダヤ博物館）

ベルモンテのユダヤ博物館は2005年に開館しました。ユダヤ人の遺産とアイデンティティに関するこの文化施設では、恐怖に隠された実践によって生み出された形で、ベルモンテでのユダヤ教の経験に焦点を当てた展示が行われます。

祈りの言葉、道具、習慣は、基本的なメッセージを伝える方法です。これは、一人称でユダヤ教を行動し、考え、同一視する生きたコミュニティの博物館です。

会議や討論のためのスペースを備えた博物館は、単に訪れる場所であるだけでなく、ユダヤ人の文化、遺産、宗教についての知識を促進することを目的とした多くの文化的および学術的イニシアチブを反映するためのオープンなスペースでもあります。

Museu À Descoberta do Novo Mundo (Museu dos Descobrimientos)

住所：Solar dos Cabrais - Rua Pedro Álvares Cabral 6250-088 Belmonte

電話：+351 275 088 698

Eメール: belmonte.em@netvisao.pt ウェブサイト：
http://www.cm-belmonte.pt

特色とサービス:

カフェテリア;

Bombarral

Museu Municipal do Bombarral

住所：Praça do Município 2540-001 Bombarral

電話：+351 262 609 054 ファックス：+351 262 609 041

Eメール: museu.bombarral@clix.pt ウェブサイト： <http://www.cm-bombarral.pt/cultura.htm>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

Buçaco

Museu Militar do Buçaco

住所：Buçaco 3050 Luso

電話：+351 231 939 310 ファックス：+351 231 939 310

Eメール: musmilbucaco@exercito.pt ウェブサイト：
<http://www.exercito.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Cadaval

Museu Municipal do Cadaval

住所：Rua do Moinho2550-184 Cadaval

電話：+ 351 262 690 166

Eメール: museu@cm-cadaval.pt ウェブサイト： <http://www.cadavalcattiv.a.pt/cultura/espacos-museologicos/27/museu-municipal-do-cadaval>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 一部; 建物内のバリアフリー通路: 全部;

Núcleo Museológico do Castro de Pragança

住所：Rua 1º de Dezembro, Pragança2550-371 Lamas e Cercal – Cadaval

電話：+351 262 777 888 / 916 782 628

Eメール: turismo@cm-cadaval.pt

Núcleo Museológico do Moinho das Castanhas

住所：Rua do Moinho2550-184 Cadaval

電話：+351 262 690 166

Eメール: museu@cm-cadaval.pt ウェブサイト： <http://www.cadavalcattiv.a.pt/cultura/espacos-museologicos/28/nucleo-museologico-do-moinho-das-castanhas>

特色とサービス:

ガイドツアー;

Caldas da Rainha

Atelier-Museu António Duarte

住所：Rua Dr. Ilídio Amado 2500-217 Caldas da Rainha

電話：+351 262 840 540 ファックス：+351 262 840 549

Eメール：centro.artes@cm-caldas-rainha.pt ウェブサイト：
http://www.cm-caldas-rainha.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

アントニオ・ドゥアルテ・アトリエ美術館 (Museu-Atelier António Duarte) このアトリエ美術館は、彫刻家ジョアン・フラゴソとアントニオ・ドゥアルテの作品群を所蔵しています。これらの作品は、遺言によってカルダス・ダ・ライニーニャの街に寄贈されたものです。このアートセンターには、アトリエ、住居スペース、2つのアートギャラリーもあり、彫刻家レオポルド・デ・アルメイダとバラタ・フェーヨの家にあった作品も展示されています。

Museu de Cerâmica - Caldas da Rainha

住所：Quinta do Visconde de Santarém Rua Dr. Ilídio Amado 2504-910 Caldas da Rainha

電話：+351 262 840 280 ファックス：+351 262 840 281

Eメール：mceramica@imc-ip.pt ウェブサイト：http://www.imc-ip.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

陶磁器博物館 (Museu de

Cerâmica) - カルダス・ダ・ライニーニャ (Caldas da Rainha)

この陶磁器博物館は、サカヴェン子爵邸 (Quinta Visconde de Sacavém) を利用して、1983年に正式にオープンしました。この建物は、博物館をつくるという目的の下で、1981年に国が購入したものです。展示品は当初、国が入手したごく少数の品々とサカヴェン子爵のコレクションのみでしたが、今はカルダス・ダ・ライニーニャでつくられた陶磁器に加え、国内外の名産地から集まった品々も展示されています。カルダス・ダ・ライニーニャでつくられた陶磁器は、17世紀から20世紀前半のものが展示されています。中でも、ラファエル・ボルダロ・ピニエイロの作品を集めたセクションは見ごたえがあります。このカルダス・ダ・ライニーニャから出た名匠の最も代表的な作品を集めたコレクションのひとつに数えられ、この町のファイアンス焼き工場で作られる製品の豊富さを物語っています。国産の陶磁器にはラト工場 (Fábrica do Rato) でつくられたファイアンス焼き (1767 - 1779) が含まれていますが、19世紀から20世紀につくられた、より伝統的で地域色の強い陶器の彫刻やミニチュアもあります。ポルトガルの主な陶磁器の産地 (バンデイラ [Bandeira]、ロシャ・ソアレス [Rocha Soares]、ガイア [Gaia]、ダルク [Da rque]、バルセロス [Barcelos]、ラティニョ [Ratinho]、ジュンカル [Juncal]、エストレモズ [Estremoz]、サカヴェン [Sacavém]、ヴィウヴァ・ラメゴ [Viúva Lamego]、ヴィスタ・アレグレ [Vista Al egre]、アレレイア [Aleluia]、サンタナ [Santana] の各工場) の代表的な品々に加え、外国産 (フランス、スペイン、イタリア、オランダ、ベルギー、中国) のものも展示されています。現代アーティストによるハンドメイドの陶磁器作品には、ロレンス・アルティガス、ジュリオ・ボマル、マヌエル・カルガレイロなど有名アーティストの作品もあります。16世紀から20世紀にかけての約1700枚のタイルと40枚のタイルパネルからなる、ポルトガル様式、スペイン ムーア様式、オランダ様式の装飾タイルのコレクションもあります。

Casa-Museu São Rafael

住所：Rua Rafael Bordalo Pinheiro, 53 2500-246 Caldas da Rainha

電話：+351 262 839 384 ファックス：+351 262 839 382

Eメール：museu@fabordalopinheiro.pt ウェブサイト：
http://www.fabordalopinheiro.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; レストラン;

サン・ラファエル博物館 (Casa-Museu São Rafael)

この博物館のコレクションは、主にボルダロ・ピニエイロ工場 (Fábrica Bordalo Pinheiro) において長年にわたってつくられてきた陶磁器からなっています。その中には、19世紀終わりにピニエイロがデザイン・製造した作品の現物や複製が含まれています。

Museu de José Malhoa

住所：Parque D. Carlos I 2500-109 Caldas da Rainha

電話：+351 262 831 984 ファックス：+351 262 843 420

Eメール：mjm@imc-ip.pt ウェブサイト：http://mjm.imc-ip.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可; トラベラーズチェック利用可;

ジョゼ・マリオア美術館 (Museu de José Malhoa) この美術館は、ジョゼ・マリオアの作品を展示するため1933年に創設されました。オープンしたのは画家本人の死の数ヶ月前のことです。当初この美術館は、鉱泉病院の好意により改修・提供された、カルロスI世公園にあるカーザ・ドス・バルコス (Casa dos Barcos) を一時的に利用していました。その翌年、建築家パウリーノ・モンテスがこの美術館用の建物を設計し、1940年に完成しました。美術館として建設されたポルトガル初の建物であり、ポルトガルのモダニズム建築の興味深い例です。この美術館のコレクションは、マリオア本人の作品を中心とするポルトガル自然主義絵画の重要な作品群からなっています。マリオアの作品の中には、「ラウラ・ソーヴィネの肖像」、「群れへの叫び」、「秋の葡萄」、「雲」、「最新ニュース」、「春」、「隣人との会話」、「約束」などがあります。シルヴァ・ポルト、コルンバーノ、アントニオ・ラマリーヨ、ジョアン・ヴァス、エンリケ・ピント、モウラ・ジラオンらと共にマリオアが所属していた画家集団グループ・ド・レアン(の)作品や、マルケス・デ・オリヴェイラなど他の現代画家たちの作品も展示されています。自然主義絵画のコレクションの中には、ヴェロージョ・サルガドやルシアノ・フレイレの作品も含まれています。マルタとメディナによる肖像画や、エドゥアルド・ヴィアナのモダニズム作品にも興味深いものがあります。彫刻には、フランシスコ・フランコやレオナルド・デ・アルメイダなどの作品があります。カルダス・ダ・ライニーニャ (Caldas da Rainha) における陶磁器の長い伝統と重要性をふまえ、ラファエル・ボルダロ・ピニエイロの作品を中心とした陶磁器のセクションも設けられています。ピニエイロは陶磁器以外にも、テラコッタの彫刻が9つのグループをなす「キリストの受難」という作品をつくっています。

Museu do Hospital e das Caldas

住所：Rua Rodrigo Berquó 2500-249 Caldas da Rainha

電話：+351 262 830 300 ファックス：+351 262 880 579

Eメール：mushospaldas@sapo.pt ウェブサイト：

<http://www.museudohospital.wordpress.com>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

鉱泉病院博物館 (Museu do Hospital e das Caldas) この博物館の入っている建物は、レオノール王妃が治療を受けた場所であることから、「カーザ・レアル (王宮)」の名で知られていました。この博物館は、当時の施設とその周りにつくられた都会的な空間の記憶をとどめています。所蔵品には、16世紀から20世紀にかけての絵画、彫刻、木工品、金銀器、祭服、家具、陶磁器、図面・記録文書、医学器具・科学器具があります。

Cantanhede

Museu da Pedra

住所：Largo Cândido dos Reis, 4 3060-174 Cantanhede

電話：+351 231 423 730 ファックス：+351 231 423 732

Eメール：museudapedra@cm-cantanhede.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

Castelo Branco

Casa da Memória da Presença Judaica em Castelo Branco

住所：Rua das Olarias, N.º 436000-176 CASTELO BRANCO

電話：+351 272 323 033

Eメール：museu@casadamemoriajudaica.pt ウェブサイト：

<https://www.casadamemoriajudaica.com/>

カーサ・ダ・メモリア・ダ・プレセンサ・ジュダイカ (Casa da Memória da Presença Judaica) (ユダヤ人の存在記念館)、カステロ・ブランコ (Castelo Branco)

ユダヤ人の存在記念館は、中世と現代のカステロブランコの発展に大きく貢献したコミュニティ、その記憶と遺産の物語を称え、語っています。

訪問は、ユダヤ人コミュニティにとって最も重要な要素である律法から始まります。続いて、カステロブランコのユダヤ人コミュニティの歴史、そのユダヤ人地区、それぞれの特徴と、何世紀にもわたって不明なままであった質問への回答が続きます。

1階と2階の間の移行部には、カステロブランコでの異端審問の犠牲者の記念碑があり、合計329の特定され調査されたファイルがあり、そこではカステロブランコの異端審問の21人の犠牲者が特定されています。2階は、カステロブランコのユダヤ人の人物に完全に捧げられたスペースです。アマト・ルシターノ (Amato Lusitano)、マリア・ゴメシュ (Maria Gomes)、アフォンソ・ドゥ・パイヴァ (Afonso de Paiva)、エリアシュとモイゼス・モンタルト (Elias e Moisés Montalto)、そしてマノエル・ジョアキム・ヘンリケシュ・ドゥ・パイヴァ (Man

Museu de Arte Sacra da Misericórdia

住所：Rua Bartolomeu da Costa 6001-909 Castelo Branco

電話：+351 272 348 420 ファックス：+351 272 322 185

Eメール：scmcb.museu@netvisao.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

ミゼリコルディア宗教美術館 (Museu de Arte Sacra da Misericórdia) この修道院は、街はずれにある司教館の近くにあり、もともとはフランシスコ修道会が所有していましたが、1526年に聖アウグスチノ修道会に寄付されました。正面のファサードには、この修道院が1519年に建造されたことが記されています。この修道院の建造は、ロドリゴ・レベロの遺産によって実現したものです。現在、建造当時のままの姿で残っているのは、中央に家紋が入ったマヌエル様式の教会入口のみです。18世紀に大幅な改築が行われ、マニエリスムと装飾的なバロック様式の特徴を持った建物に生まれ変わり、今に至っています。修道院と教会へは、正面の扉を守るナルテックス (拝廊) を通っていきます。ミゼリコルディアは1514年につくられましたが、この場所に移ってきたのは1836年のことです。現在この修道院は、老人ホームと小さな宗教美術館に分かれています。この美術館の所蔵品の一番の見どころは、16世紀と18世紀につくられた象牙製の2体のキリスト像、18世紀に描かれた聖イザベル (イザベル王妃) の絵、キリストの受難が刺繍で描かれた旗や軍旗です。

oel Joaquim Henriques de Paiva) といった面々です。

3階には研究エリアがあり、ユダヤ人をテーマとした研究に関連するあらゆる種類の資料を調べることができます。メモリアルハウスには、主にユダヤ教の祝祭や儀式に関連するさまざまな品物も展示されており、関連する出版物やコーシャ製品を見つることができるショップがあります。

Museu de Francisco Tavares Proença Júnior

住所: Largo Dr. José Lopes Dias 6000-462 Castelo Branco

電話: +351 272 344 277 **ファックス:** +351 272 347 880

Eメール: mftpj@ipmuseus.pt **ウェブサイト:** <http://www.imc-ip.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

フランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館 (Museu de Francisco Tavares Proença Júnior) カステロ・ブランコ (Castelo Branco) の街に北側から入ると、印象的なバロック様式の建物が目に飛び込んできます。この建物はグアルダ司教の別荘として建てられ、1771年から1831年の間はカステロ・ブランコ司教が住まいとしていました。玄関に設けられたルネッサンス様式のベディメントには、この館が1596年から1598年にグアルダのヌノ・デ・ノローニャ司教によって建てられたことが記されています。この館は1971年にフランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館へと生まれ変わりました。博物館の名前にもなっている創設者は、科学や芸術に造詣が深く考古学者としても名を知られた人物で、1910年から自分のコレクションを一般に公開していました。この博物館には、新石器時代や旧石器時代の遺物に加え、重要なローマ時代の碑銘、青銅器時代の巨石、鉄器時代の金の装飾品など、およそ5,000点が展示されています。所蔵品の中には、この館から寄贈された16世紀から19世紀にかけての絵画、じゅうたん、彫刻なども含まれています。祭服/衣装/カステロ・ブランコの刺繍セクションでは、素晴らしい刺繍の数々が特に目を引きます。ここを訪れた際には、伝統織物技法セクションの一部となっている地元刺繍工房/学校が見えます。伝統織物技法セクションでは、リネンの製作過程を実際に見ることができます。

Celorico da Beira

Museu do Solar do Queijo

住所: Largo de Santa Maria 6360 Celorico da Beira

電話: +351 271 747 473 **ファックス:** +351 271 747 409

Eメール: solaroqueijo@cm-celoricodabeira.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-celoricodabeira.pt/emcel/solar.asp>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ソラル・ド・ケイジョ博物館 (Museu do Solar do Queijo) 18世紀後半に建てられたケイジョ・セーラ・ダ・エストレラの館 (セーラ・ダ・エストレラ・チーズの館) は、ケイジョ・セーラ・ダ・エストレラ・カテドラルとも呼ばれ、その建物を見るためだけでも訪れる価値があります。しかし、この最大のポイントは、最高の品質を誇るかの有名なセーラ・ダ・エストレラ・チーズを購入できることです。この地方の郷土料理の主役であるこのチーズと共にいろいろな名物料理を楽しんだり、おみやげとして買うこともできます。館内には、乳搾りの段階から消費者の食卓にのぼるまで、伝統的なチーズ作りの過程で使われるさまざまな用具が展示されています。

Coimbra

Casa-Museu Bissaya Barreto

住所: Rua da Infanteria 233000-219 Coimbra
電話: +351 239 853800 **ファックス:** +351 239 853806
Eメール: centro.documentacao@fbb.pt **ウェブサイト:**
<https://www.fbb.pt/cmbb/>

1986年から一般公開されているハウスミュージアムは、コインブラ大学の医学教授で、外科医・慈善家でもあり、ポルトガルの支援・社会医学の歴史において言及されるフェルナンド・ビサヤ・バレット (Fernando Bissaya Barreto, 1886-1974) を身近に感じられる空間へのアプローチを提供しています。ほぼ50年間、それは彼の私邸でした。

建物とそのユニークな建築、庭園とその装飾美学、家具とアートコレクションは、ビサヤ・バレットの人生に欠かせない美、秩序、完璧、美学の価値が重要であることを示しています。

この家庭的な空間でのみ、物質と想像力の間で、この常連客の生活に没頭し、彼の社会的な時間を想像することができます。建築家フィエル・ビテルボ (Fiel Viterbo) によって設計されたこの邸宅は、1923年に始まり、1925年に完成しました。折衷的なスタイルで2つのフロアに建てられ、ジョアンンバロックの強い痕跡があり、エレガントな窓のある広い八角形のタレットで覆われています。家と庭は全体として、この地域の有名な職人や芸術家の作品を反映しています。

ポルトガル博物館・住宅協会 (A.P.C.M.) の本部であり、その創設メンバーであり、コインブラ博物館ネットワークの創設パートナーでもあります。ビサヤ・バレット (Bissaya Barreto) 財団は、ビサヤ・バレット芸術の家や、ポルトガルの子供たちの想像力の空間で子供たちがミニチュアの家を訪れることができるポルトガル・ドス・ペケニトス (Portugal dos Pequenitos、リトルポルトガル) など、コインブラの他の文化的空間も管理しています。

Museu da Associação Académica de Coimbra

住所: Rua D. Manuel I 3030-320 Coimbra
電話: +351 918 901 679
Eメール: vasco.dordio@academica-oaf.pt **ウェブサイト:**
<http://www.academica-oaf.pt>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; レストラン;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗、ホール; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;

Museu Académico de Coimbra

住所: Praça D.Dinis (Antigo Colégio de São Jerónimo) 3000-143 Coimbra
電話: +351 239 857 000/9 **ファックス:** +351 239 825 841
Eメール: gci-rpp@ci.uc.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

コインブラ学術博物館 (Museu Académico de Coimbra)

もともとサン・ジェロニモ大学 (Colégio de São Jerónimo) が入っていた建物を利用した博物館で、1987年にオープンしました。展示品は19世紀後半以降のもので、陶磁器、メダル、宝石・金銀細工、テキスタイル、絵画、彫刻、版画が含まれています。図書館や、楽器、レコード、写真、文書、ポスターのアーカイブもあります。このコレクションは、19世紀後半から現代までをカバーする、近現代のもので、この博物館では、コインブラ大学の監督の下、伝統と歴史をはじめとする学術コミュニティの社会的、芸術的、文化的価値を守り、広めていくことに力を注いでいます。

Museu do Azeite - Bobadela

住所: Travessa dos Vales, n.º 73405-008 BobadelaCoimbra
電話: +351 238 603 095
Eメール: info@museudoazeite.com **ウェブサイト:**
<https://museudoazeite.com/>

その他の情報:

レストラン

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗、バー/カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 凡例, 双方向型・視覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu Nacional de Machado de Castro

住所： Largo Dr. José Rodrigues3000-236 Coimbra

電話： +351 239 853 070

Eメール: geral@mnmc.dgpc.pt ウェブサイト： <https://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/recursos/cedencia-e-aluguer-de-espacos/aluguer-de-espacos-museu-nacional-de-machado-de-castro/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス:

身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;
マシャード・デ・カストロ美術館 (Museu Nacional de Machado de Castro) この美術館は、コインブラの出身で18世紀の最も有名なポルトガル人彫刻家、ジョアキン・マシャード・デ・カストロを記念して、マシャード・デ・カストロ美術館と名づけられました。この美術館が入っている司教の館には、12世紀の美しい回廊が残っており、ポルトガルでも指折りの優れた美術品コレクションを展示するのに理想的な環境を醸しだしています。現在展示されている素晴らしい品々の多くは、この地域一帯の古い修道院に建てられた教会の収納庫や保管棚や祭壇にあったものです。ポルトガルの金銀細工コレクションの主なものには、12世紀のドン・ゲダ・メンデスの杯、非常に美しい18世紀後半の銀製の聖母とキリスト像、素晴らしい鍍金銀製の聖体顕示器、聖イザベル（イザベル王妃）の宝石箱があります。見事な黒のキリスト像をはじめとするゴシック様式の木製彫刻、16世紀の彫刻・家具・象牙細工、ポルトガル絵画、フランドル原始主義派の絵画を含むマシャード・デ・カストロ美術館のコレクションは、教会と王室の豊かさを反映しています。美術館の下には、ポルトガルに現存する最も印象的なローマ時代の建造物があります。屹立する巨大な2階建ての柱廊は、古代都市アエミニウム（現在のコインブラ）の大きな広場を支える目的で設計されたと考えられています。現在マシャード・デ・カストロ美術館は修復・増築工事のため閉館していますが、この壮大なローマ時代の柱廊は見学することができます。

Conímbriga

Museu Monográfico de Conímbriga

住所： Conímbriga 3150-220 Condeixa-a-Velha

電話： +351 239 941 177 ファックス： +351 239 941 474

Eメール: info@conimbriga.pt ウェブサイト： <http://www.conimbriga.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;
コニンプリガ・モノグラフ博物館 (Museu Monográfico de Conímbriga) コニンプリガにあるローマ時代の都市遺跡がルネッサンスの頃から国内外の関心を集め、多くの研究が行われてきた結果、この博物館が1962年に創設されました。この博物館の常設展示は、鉄器時代から中世にかけてのコニンプリガを知るのに不可欠な歴史の概要について、特にローマ時代の遺産に焦点をあてながら、各時代の人々の信仰や考え方や生活様式を示す日用品や象徴的な品々を通して紹介しています。中でも、モザイク、彫刻、ローマ時代・西ゴート時代の硬貨、日常生活や農耕に使用する道具類は、特に貴重なコレクションです。この興味深い博物館で見ることでできる珍しいもののひとつに、皇帝と皇帝崇拝を祝してつくられたフラウィウス時代のフォルム（広場）の復元があります。

Covilhã

Museu de Lanifícios da Universidade da Beira Interior

住所：Rua Marquês d'Ávila e Bolama 6200-001 Covilhã

電話：+351 275 241 411 / 275 241 410

Eメール: muslan@ubi.pt ウェブサイト: <http://www.museu.ubi.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
コヴィーリャ羊毛博物館 (Museu dos Lanifícios da Covilhã)
コヴィーリャ羊毛博物館は、ベイヤ・インテリオル大学 (Universidade da Beira Interior) が所有する博物館です。大学と同様に、この街で最も堂々とした建物である旧王立布地工場に入っています。この建物は、ジョゼ1世の時代であった1769年に建造されたもので、そのファサードにはジョゼ1世の紋章が見られます。この建物の中で、染色に使っていた円柱形の穴や炉が今も残る染色作業所の一部が、コヴィーリャの羊毛産業の歴史を紹介する場所として選ばれました。この博物館の展示は、ポンバル時代における王立布地工場の染色作業、コヴィーリャ地方における19～20世紀の羊毛産業、そして毛織物という3つのセクションに分かれています。コヴィーリャの街における羊毛産業の重要性と、羊毛産業が地域の生活様式に与えてきた影響についてよく理解するためには、欠かすことのできない博物館です。

Entroncamento

Museu Nacional Ferroviário

住所：Rua Engº Ferreira de MesquitaComplexo Ferroviário do

Entroncamento - Apartado 1902334-909 Entroncamento

電話：+351 249 130 382 ファックス：+351 211 021 773

Eメール: museu@fmnf.pt ウェブサイト: <http://www.fmnf.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Estarreja

Casa-Museu Egas Moniz

住所：Rua Prof. Egas Moniz 3860-078 Avanca

電話：+351 234 884 518 ファックス：+351 234 840 607

Eメール: museuegasmoniz@cm-estarreja.pt ウェブサイト:
<http://www.casamuseuegasmoniz.com/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;
エガス・モニス美術館 (Casa-Museu Egas Moniz) この美術館は、建物自体も建築的な関心の対象ですが、何と言っても特筆すべきはポルトガル人科学者で収集家でもあったエガス・モニス教授 (1874 - 1955) の貴重な美術品コレクションです。コレクションの中には、家具、磁器、ファイアンス焼き、ガラス製品、19～20世紀のポルトガル絵画、版画、彫刻、金細工、タペストリーがあります。エガス・モニスの1949年度ノーベル医学賞受賞につながる医学研究に使用された科学器具や文書もあり、人々の関心を集めています。

Fátima

Museu de Arte Sacra e Etnologia de Fátima

住所：Rua Francisco Marto, 52 - Apartado 5 2496-908 Fátima

電話：+351 249 539 470 ファックス：+351 249 539 479

Eメール: museuartesacra@consolata.pt ウェブサイト：
http://www.consolata.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ファティマ宗教美術・民族学博物館 (Museu de Arte Sacra e Etnologia de Fátima) ファティマ宗教美術・民族学博物館では、キリストの誕生と幼少時代の膨大なコレクションをはじめ、キリスト受難の十字架像からその死まで、救世主の歴史をたどることができます。ポルトガル全土から集められた展示品の数々は、14世紀以降のポルトガル人の信仰心を示す貴重なものです。世界各地から集められた文書や書物、地図、図表、写真、美術品は、遠い昔から現代にいたるまでのキリストの教えを物語っています。これらの品々は、「発見」の時代を含むさまざまな時代においてポルトガル人が果たしてきた役割を明らかにするとともに、現在の文化的使命や崇高な宗教的使命に光をあてています。民族誌関連の展示は、キリストの教えが宣教師によって伝えられた文化的背景を示すもので、アフリカ、アメリカ、中東から集められた品々が展示されています。羊飼いのセクションでは、列福したフランシスコとジャシント・マルトやその家族に関する品々を見ることができます。

Museu Etnográfico de Aljustrel

住所：Rua dos Pastorinhos - Aljustrel 2495-305 Fátima

電話：+351 249 532 828

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

アルジュストレル民族誌博物館 (Museu Etnográfico de Aljustrel) この博物館は、アルジュストレルにある予言者ルシアの家のすぐ近くにありま。この博物館は、ごく一般的な家と同様なつくりになっており、室内の様子や置かれた品々によって、20世紀はじめの日常生活を知ることができます。主な展示品としては、当時この地域で最も一般的な産業であった農耕、牧畜、織物づくり、靴づくり、錬鉄に関する道具類があります。

Museu de Cera de Fátima

住所：Rua Jacinta Marto 2495-450 Fátima

電話：+351 249 539 300 ファックス：+351 249 539 301

Eメール: museu@mucefa.pt ウェブサイト：http://www.mucefa.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ファティマ蠟人形博物館 (Museu de Cera de Fátima) ファティマ蠟人形博物館は、ポルトガルで最初の蠟人形博物館です。聖地のすぐ近くにあり、巡礼の際に訪れることができます。博物館自体の言葉を借りれば、「この博物館につくられた31の場面を見れば、年間600万人もの人がファティマを訪れる理由が分かります」。この博物館では、蠟人形を通して、ファティマで起こった出来事や歴史的に重要な出来事を紹介しています。中でも、法王の訪問（1967年のパウロ6世、1982年と1991年のヨハネ・パウロ2世）と、列聖1周年記念となる2000年の5月13日に行われた「羊飼いの列福式」については、特に重点的に取り上げられています。

Museu Interativo "O Milagre de Fátima"

住所：Centro Comercial Espaço Fatimae, Av. Dom José Alves Correia da Silva, 123 (piso -1) 2495-402 Fátima

電話：+351 249 406 881 - 916 030 189

Eメール: info@omilagredefatima.com ウェブサイト：
http://www.omilagredefatima.com

時刻表:

4月-10月（午前19時00分-30分）; 11月-3月（18時30分-30分）

が最後に見た：閉じる前に40分;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

誰として御出現の歴史は今までに言った...

次世代のマルチメディアと仮想対話型のルートで、忘れられない旅の経験、感覚や感情を存分にご堪能ください。新技術（ホログラムおよび4D）を使用して、初期の20世紀の歴史的な文脈を再作成、ポルトガルの天使やファティマの聖母の御出現、日、ファティマ、教皇ヨハネ・パウロ二世の秘密の奇跡、他の主要なイベントの中でろうそくの行列、。 <

約40分のガイドツアーは、これはあなたがファティマ、世界の平和の祭壇の街の磁気を感じることができる感情を共有するユニークな体験です。どのように行ってみましょう！

Figueira da Foz

Casa do Paço

住所: Largo Prof. António Victor Guerra nº 43080-072 Figueira da Foz
電話: +351 233 430 103 / 966 913 607
Eメール: teresa.folhadela@cm-figfoz.pt

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口:
一部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス:
身体障害者用設備, ホール; 利用可能な支援プロダクト/サービス:
視覚障害, 運動障害;

Núcleo Museológico do Mar

住所: Rua Governador Soares Nogueira, 323080-296 Figueira da Foz
電話: +351 233 413 490

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
入口へのバリアフリー経路: 一部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;
バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;

Palácio Sotto Maior

住所: Rua Joaquim Sotto Maior, 75 3080-209 Figueira da Foz
電話: +351 233 422 121 - 351 233 408 460 **ファックス:** + 351 233
422 121 - 351 233 408 403
Eメール: comercial@casinofigueira.pt **ウェブサイト:**
<http://www.palaciosottomaiormulticenter.com.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照
ください。;
ソット・マイオール宮（Palácio Sotto Maior）ジョアキン・ソット・マイ
オールによって20世紀始めに建てられたこのフランス風の建物は、内装
が素晴らしく、金属と木材としっくいを併用した手法のよさをあらため
て感じさせます。各部屋には、クリスタルとブロンズのシャンデリア、
時計、燭台、彫刻に加え、ドルディオ・ゴメス、ジョアキン・ロペス、
アントニオ・ラマーリオといった有名な芸術家たちの手による磁器や絵
画があり、うっとりするような空間をつくりだしています。一部の家具
、ステンドグラスの窓、豪華な館を取り囲む庭園も見逃せません。この
優れた文化スポットでは、美術館というだけでなく、さまざまな展覧会
、コンサート、「宮殿で開く詩会」、ファッションショー、講演会、集
会、会議なども行われています。

Figueiró dos Vinhos

Museu do Xadrez de Figueiró dos Vinhos

住所: Av. José Malhoa3260-402 Figueiró dos Vinhos
電話: +351 236 552 195
Eメール: geral@museudoxadrez.pt **ウェブサイト:**
<http://www.museudoxadrez.pt>

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 一部;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリー情報: 案内板, 凡例;
支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害;

O Casulo de Malhoa

住所: Avenida José Malhoa3260-402 Figueiró dos Vinhos

Museu Municipal Santos Rocha

住所: Rua Calouste Gulbenkian 3080-081 Figueira da Foz
電話: +351 233 402 840
Eメール: museu@cm-figfoz.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照
ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備, ホール;
バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表,
触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 精神障害;
利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 運動障害, 精神障害;

ドートル・サントス・ロシャ市立博物館（Museu Municipal Dr. Santos
Rocha）この博物館は、考古学的遺物（旧石器時代から中世）、宗教彫
刻（14～20世紀）、古銭、インド ポルトガル様式の家具、アフリカおよ
び東洋の民族誌、16世紀から20世紀にかけてのポルトガル絵画を所蔵し
ています。

Núcleo Museológico do Sal

住所: Armazéns de LavosSalina Municipal do Corredor da Cobra
電話: +351 233 402 840 / 966 344 488
Eメール: nucleo.sal@cm-figfoz.pt

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗,
バー/カフェ, 身体障害者用設備, ホール; 支援スキル: 視覚障害,
運動障害, 精神障害;

Museu e Centro de Artes de Figueiró dos Vinhos

住所: Av. José Malhoa3260-402 Figueiró dos Vinhos
電話: +351 236 552 195
Eメール: geral@mcafigueirodosvinhos.pt **ウェブサイト:**
<http://www.mcafigueirodosvinhos.pt>

特色とサービス:

ガイドツアー;
バリアフリー案内:
車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口:
一部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス:
身体障害者用設備, 中庭; バリアフリー情報: 案内板, 凡例; 支援スキル:
運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害;

電話： +351 236 552 195 / 351 236 552 178

Eメール: turismo@cm-figueirodosvinhos.pt ウェブサイト：
http://www.cm-figueirodosvinhos.pt

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス:

身体障害者用設備;

Guarda

Museu da Guarda

住所： Rua General Alves Roçadas 6300-663 Guarda

電話： +351 271 213 460 ファックス： +351 271 223 221

Eメール: mguarda@drcc.pt ウェブサイト： http://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/museus-e-monumentos/rede-portuguesa/m/museu-da-guarda/

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Ílhavo

Museu Marítimo de Ílhavo

住所： Av. Dr. Rocha Madahil 3830-193 Ílhavo

電話： +351 234 329 990 ファックス： +351 234 321 797

Eメール: museuilhavo@cm-ilhavo.pt ウェブサイト：
http://www.museumaritimo.cm-ilhavo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

イリャヴォ海洋博物館 (Museu Marítimo de Ílhavo) このユニークな博物館では、勇気と冒険と感動に満ちたタラ漁の旅と、時に危険な海と共存していくために独自の性質を身に付けた海岸地域の住人たちの豊かな民族性について紹介しています。タラ漁に焦点をあてたコレクションの象徴的存在として、差掛け屋根を持つ原寸大のタラ漁船が展示されています。この船は実際に中に入ることができるようになっています。船に備え付けられた漁具などを見れば、何ヶ月もの間、寒く遠いグリーンランドやニューファンドランドの海で働き、船の上で寝起きする男たちの生活を想像することができるでしょう。リア・デ・アヴェイロ・ラグーン

のセクションには、さまざまな原寸大の船が展示されています。これらを見ると、このラグーンを生活に利用するには複雑なスキルと昔から伝わる豊富な知恵が必要であることがわかります。モリセイロ（海藻の採取に使う船）の船首を描いた絵やパネルは、カラフルで時にユーモラスなものもあるバラエティ豊かな象徴的表現です。この博物館の所蔵品にはその他に、油彩画、彫刻、陶器、デッサン、世界中から集められた膨大な数の貝殻、海藻が含まれています。イリャヴォ海洋博物館の一部であるサント・アンドレ船博物館 (Navio-museu Santo André) も見逃せません。この船は1948年に建造され、ポルトガルのタラ漁船団の船として活躍しました。現在は、リア・デ・アヴェイロの水路に停泊しています。

Navio-Museu Santo André

住所： Jardim Oudinot (Forte da Barra) 3830-193 Ílhavo

電話： +351 234 329 990 ファックス： +351 234 321 797

Museu Vista Alegre

住所： Fábrica de Porcelana da Vista Alegre 3830-292 Ílhavo

電話： +351 234 320 628 / 234 320 600 ファックス： +351 234 320 793

Eメール: museu@vistaalegre.com ウェブサイト：
http://www.vistaalegre.com

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア / サービス: 店舗、バー / カフェ, 身体障害者用設備; 支援スキル: 運動障害, 精神障害;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

ヴィスタ・アレグレ歴史博物館 (Museu Histórico da Vista Alegre) イリャヴォ (Ílhavo) にあるヴィスタ・アレグレ博物館は、ポルトガルにおける陶磁器の歴史を網羅した、国内でも最も重要な陶磁器博物館のひとつです。

1920年に建てられたこの博物館は、ヴィスタ・アレグレ陶磁器工場における陶磁器製造のさまざまな時代を取り上げた5つの部屋からなっています。そのセクションには、同工場から初めてつくられた製品であるガラス製品・クリスタル製品、1824年から1832年の素焼き製品、試行錯誤を重ねた初期の磁器製品 (1832 - 1838)、有名なフランス人肖像画家ヴィクトル・ロソーのデザインによる華麗なる時代の製品 (1836 - 1868)、記念となる作品のセクションがあります。記念となる作品には、紋章が刻まれているものや、世界の芸術的傾向を反映したもの、芸術の世界における著名人のサインが入ったものなどがあります。

ここでは、値の付けられないような貴重な作品と、試作品や名もない作品とが一緒に展示されています。これらの作品は、1824年以降の陶磁器

Eメール: museuilhavo@cm-ilhavo.pt ウェブサイト: <http://www.museumaritimomuseu-ilhavo.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

サント・アンドレ船博物館 (Navio-Museu Santo André)

サント・アンドレ船博物館は、イリャヴォ海洋博物館 (Ílhavo Maritime Museum) の分館です。サント・アンドレはポルトガルのタラ漁船団で活躍した船であり、この船を利用した博物館はトロール漁に用いられるさまざまな技術や手法を紹介することを目的として設計されています。このサイド・トロール船（今より「古典的な」トロール漁に使用されていたもの）は、アヴェイロ漁業会社の注文によって、1948年にオランダで建造されました。全長71.40メートルで最高2,000トンの魚を積むことができる、当時としては最新式の船でした。1980年代になって外国の水域で漁をすることに対する規制が導入されると、漁船団は縮小され、多くの船が解体されることとなりました。サント・アンドレも例外ではなく、1997年8月21日に解体作業が開始されました。しかし、かつて象徴的な存在であったこの船は、多くの人々の記憶にとどまっており、保存すべきだという声が高まりました。そしてサント・アンドレの保存に向けて団結し、アイデアを出し合ったのです。その結果、船主のアントニオ・ド・ラゴ・セルケイラとイリャヴォ市議会は、大西洋における壮大なタラ漁の時代を生きてきた人々の夢を実現するために、古くなったサント・アンドレを船博物館として転用することを決定しました。こうしてサント・アンドレは解体の危機をまぬがれましたが、その他のトロール船はそれほど幸運ではなく、順次解体されてその記憶は永久に失われてしまいました。現在サント・アンドレは博物館としてよみがえり、半世紀にわたって漁業活動にたずさわったこの船の全乗組員たちの記憶に敬意を表すると共に、かつてのトロール船によるタラ漁がどのように行われていたかを現在と未来の世代に伝えていくことを新たな使命としています。

Leiria

Centro de Diálogo Intercultural de Leiria

住所: Rua Miguel Bombarda 152400-190 Leiria

電話: +351 244 839 628

Eメール: cdil@cm-leiria.pt ウェブサイト: <https://www.cm-leiria.pt/pages/566>

セントロ・デウ・ディアロゴ・インテルクルチュラル・デウ・レイリア (Centro de Diálogo Intercultural de Leiria) (レイリア異文化間対話センター)

街の歴史的中心部にあるレイリアの異文化間対話センターは、ユダヤ教とキリスト教の記憶を組み合わせています。地元のユダヤのシナゴークがあった1544年に建てられた古いイグレハ・ダ・ミセリコルディア (ミセリコルディア教会) で運営されているこの博物館プロジェクトは、本をテーマとして、黙示録のアイデアの中心となっています。それは、さまざまな文化を横断し、それらの間の対話を仲介する要素です。また、オルタ家の手による、1492年から1497年までの古いシナゴークの改善の対象でもありました。

これはポルトガルで最初の3つの印刷所の1つであり、セファルディ系ユダヤ人の文化が繁栄するための基本的な中心地であり、多くの作品がヘブライ文字で印刷されていました。今日、そこは、3つの重要な一神教の存在によって何世紀にもわたって残された遺産を解釈することを目的とする場所です。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教。これらのコミュニティとアイデンティティの共存と記憶も評価され、レイリアのユダヤ人と新キリスト教徒に特に重点を置いています。本のアイデアは、文化的および宗教的にこれらの宗教を統合し、これは中世の終わりにレイリアのユダヤ人コミュニティの主な遺産として確認されました。

解釈の中核には、旧市街の中世の区画で際目立つ建物である、有名なカーサ・ドス・ピントレス (Casa dos Pintores) (画家の家) もあり、ここではオルタ家の特別展が開催されます。古いミセリコルディア教

製造の歴史を物語る上で価値があるという理由で選ばれています。

ヴィスタ・アレグレ博物館には、デザイン画、関連書籍、陶磁器の製造に必要な原材料の下準備に使用される機械に加え、ヴィスタ・アレグレの長い歴史を紹介する品々も展示されています。

Museu da Imagem em Movimento

住所: Largo de São Pedro (cerca do Castelo) 2400-235 Leiria

電話: +351 244 839 675

Eメール: mimo@cm-leiria.pt ウェブサイト: <http://www.cm-leiria.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

会では、4人の伝道者の異彩を放つ肖像、キリスト教寺院の天井画、金色の木彫りの内陣の祭壇画、色彩豊かな大理石を見ることができます。

Museu Escolar de Marrazes

住所: Largo da Feira dos 18 - Marrazes 2415-690 Leiria

電話: +351 244 812 701 **ファックス:** +351 244 812 701

Eメール: museuescolar@museuescolar.pt **ウェブサイト:**
<http://www.museuescolar.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

マラゼス学校博物館 (Museu Escolar de Marrazes) マラゼス学校博物館は、「学校の移り変わり」と題する展示を行おうと考えたマラゼス初等学校の一部の教師たちの運動で、1992年に創設されました。1995年までは、校内の小さな部屋を使って書籍や資料、教材、家具を展示していましたが、その後この地区の議会が、展示により適した広いスペースを用意しました。ここが博物館としてオープンしたのは1997年のことです。この博物館は、地質学、手工芸・木工、教室、ポルトガルの若者、伝統玩具、カステイリョ以前の文学、君主制の終焉、初の共和制国家と独裁政権、というテーマごとに分かれた8つの部屋からなっており、19世紀半ば以降のポルトガルにおける教育の進化の歴史を紹介しています。これらの常設展示の他に、特別展用のスペースも設けられています。

Lourinhã

Centro de Interpretação da Batalha do Vimeiro

住所: Rua do Monumento, nº 17-A2530-835 Vimeiro-Lourinhã

電話: +351 261 988 471

Eメール: cibatalhavimeiro@cm-lourinha.pt **ウェブサイト:**
<https://www.batalhadovimeiro.pt/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

バリアフリー情報: 双方向型・視聴覚資料を用いた発表、触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 視覚障害、聴覚障害、運動障害、精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害、聴覚障害、運動障害;

GEAL - Museu da Lourinhã

住所: Rua João Luís de Moura 2530 Lourinhã

電話: +351 261 414 003 **ファックス:** +351 261 423 887

Eメール: museulourinha@mail.telepac.pt **ウェブサイト:**
<http://www.museulourinha.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

ヴィメイロの戦いインタープリテーションセンター[Batalha do Vimeiro]

フランスのポルトガルへの最初の侵略を終結させた、決定的な戦いが起こった田舎にあるヴィメイロの戦いインタープリテーションセンター(CIBV)[CIBV]は、ロウリーニャ[Lourinhã]自治体の観光アメニティであり近代的な特徴と設備を備えています。

CIBVのコレクションは魅力的で、訪問客のご希望の滞在時間に合わせたガイド付きの訪問もご用意しています。この時代のすべての歴史ファンにとって見逃せない通過点と考えられており、観光客の注目に値する展示コンテンツ、武器、ユニフォーム、当時の文書やユニークな考古学品が収められた3つの公共区域を提供します。

事前に予約すると、ヴィメイロの戦いを想起させるエリアでの散歩やバトルツアーと併せて、CIBVのガイド付き訪問、教育やその他ワークショップの予定を立てることもできます。

Mangualde

Palácio dos Condes de Anadia

住所：Largo Condes de Anadia 3530-129 Mangualde

電話：+351 232 622 366

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

アナディア伯爵の館（Palácio dos Condes de Anadia）

アナディア伯爵の館であるパエス・ド・アマラル宮（Palácio dos Paes do Amaral）は、ベイラ・アルタ（Beira Alta）の数ある大邸宅の中で最も美しいもののひとつといわれています。この館は、1724年にシマオン・パエス・ド・アマラルによって建てられました。パエス・ド・アマラルはアフォンソVI世に仕えていた貴族で、キリスト騎士団の騎士であり、マンガルデ（Mangualde）司令官、ヴィゼウ（Viseu）総督でもありました。この館は、当時ポルト（Porto）に住んでいた建築家ニコラウ・ナゾニが設計したと考えられています。18世紀と19世紀に若干の改築が行われ、その結果、ポルトガル文化において特に重要な、芸術と洗練を最大の特徴とした古きよき時代の空気を今に伝える素晴らしい建物へと生まれ変わりました。館の内部では、美しい18世紀のタイルのパネルが目を引きます。

Marinha Grande

Museu do Vidro da Marinha Grande

住所：Palácio Stephens Pç. Guilherme Stephens 2430-960 Marinha Grande

電話：+351 244 573 377 ファックス：+351 244 561 710

Eメール：museu.vidro@cm-mgrande.pt ウェブサイト：http://www.cm-mgrande.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

マリーニャ・グランデ・ガラス博物館（Museu do Vidro da Marinha Grande）この博物館は、かつてウィリアム・スティーブンスが住まいとしていた館を利用しています。新古典主義を取り入れた18世紀の優雅な建物で、英国風の素晴らしい庭園があります。館の入口には18世紀につくられた鉄の門があり、かつて作業員を工場へ召集するために使われた鐘が今も残っています。この博物館の所蔵品には、工場創設当時につくられた芸術的なガラス窓や、グラス、水差し、花瓶などの洗練されたクリスタルガラス製品に加え、17～20世紀にポルトガル国内の主な工場で作られたさまざまな製品があります。ガラスづくりに適した環境にあるこの博物館には、復元した工場のスペースや、小規模な家内工業としてのガラス工房も設けられており、ガラスづくりに関するさまざまなものが展示されています。その他の部屋では、絵画、家具、記録文書、書物など、ポルトガルにおけるガラスの歴史に関する品々も展示されています。

Museu Joaquim Correia

住所：Largo 5 de Outubro, nº 3 2430-262 Marinha Grande

電話：+351 244 568 801 ファックス：+351 244 561 710

Eメール：museu.jcorreia@cm-mgrande.pt ウェブサイト：http://www.cm-mgrande.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

タイプネール・デ・モライス・サントス・パローザの館（Palácio Taibner de Morais Santos Barosa）- ジョアキン・コレイア美術館（Museu Joaquim Correia）この館は、1911年に工場を設立したジョゼ・ドス・サントス・パローザ一家の住まいとして、19世紀半ばに建てられました。現在この館には、彫刻家ジョアキン・コレイアの残した作品が所蔵されています。1920年にマリーニャ・グランデ（Marinha Grande）のガラス職人の家に生まれたジョアキン・コレイアは、ポルト芸術学校（Belas Artes do Porto）で彫刻を学び、興味深い彫刻を数多く生み出しました。この美術館では、そうした作品の数々を見ることができます。

Nazaré

Museu Etnográfico e Arqueológico Dr. Joaquim Manso

住所：Rua D. Fuas Roupinho Sítio 2450 Nazaré

電話：+351 262 562 801 ファックス：+351 262 561 246

Eメール：mdjm@imc-ip.pt ウェブサイト：http://www.imc-ip.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

ジョアキン・マンソ博士民族誌・考古学博物館（Museu Etnográfico e Arqueológico Dr. Joaquim Manso）ナザレ博物館（Museu da Nazaré）の名でも知られるジョアキン・マンソ博士民族誌・考古学博物館は、1976年に一般向けにオープンしました。この博物館は、ジョアキン・マンソ博士の夏の別荘として使われていた20世紀前半の建物を利用しています。マンソ博士は、文筆家・ジャーナリストとして活躍した人物で、日刊紙「ディアリオ・デ・リスボン」の創始者でもあります。この家は、地元の慈善家アマデウ・ガウデンシオによって、博物館として活用するために1968年に国へ寄贈されました。この博物館は地域に密着した博物館であり、その展示品は地域一帯の歴史とナザレの人々の文化的独自性を伝える内容になっています。最近では、展示テーマの範囲が広げられて海洋民族誌も含まれるようになり、地元の漁業の伝統に光をあてて、漁業に使われるいろいろな種類の伝統的な船や技法についての展示を行っています。ここの所蔵品には、考古学的な遺物、記録文書、伝統的な衣装に加え、彫刻や絵画も含まれています。

Óbidos

Museu Municipal de Óbidos

住所：Solar de Santa Maria - Casa Malta Rua Direita 2510 Óbidos

電話：+351 262 955 500 - 262 959 299 ファックス：+351 262 955 501

Eメール：museu.municipal@cm-obidos.pt ウェブサイト：
http://www.obidos.pt

オビドス市立博物館（Museu Municipal de Óbidos）

オビドスは中世の城壁に守られた街です。

入り組んだ狭い通りに美しい白壁の家が建ち並び、多くの教会があって、一歩足を踏み入れれば中世にタイムスリップした気分になります。

この博物館は、彫刻や絵画を含む宗教美術品のコレクションを所有しています。その中には、高名な芸術家であるジョゼファ・ド・オビドス（1630 - 1684）の作品も含まれています。

Ourém

Museu Paroquial

住所：Igreja de São João Baptista 1 Porta da Vila 2510-001 Óbidos

電話：+351 262 950 550

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

教区博物館（Museu Paroquial）この博物館は、街で最も古い教会のひとつであるサン・ジョアン・バプティスタ教会（Igreja de S. João Baptista）に設けられています。博物館としてのスペースでは、宗教遺産というテーマに沿った文化的・教育的な展示を行っています。この博物館は、異教の人々の宗教文化を紹介し、宗教的なものに対するそれらの人々の敏感さや、芸術に対してどのような感情を抱いているかを知る企画展を開くことを目的としています。

Museu Municipal de Ourém - Núcleo da Casa do Administrador

住所: Largo Dr. Vitorino de Carvalho, nº 14 2490-497 OURÉM

電話: +351 249 540 900 - +351 919 585 003 **ファックス:** +351 249 549 068

Eメール: museu@mail.cm-ourem.pt **ウェブサイト:** <http://www.museu.cm-ourem.pt>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Penela

Museu da Villa Romana do Rabaçal

住所: Rua da Igreja 3230-544 Penela

電話: +351 239 561 856 **ファックス:** +351 239 569 400

Eメール: museu.rabacal@cm-penela.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

トラベラーズチェック利用可;

Peniche

Museu Municipal de Peniche

住所: Fortaleza de Peniche Campo da República 2520-607 Peniche

電話: +351 262 780 116 **ファックス:** +351 262 780 116

Eメール: museu@cm-peniche.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-peniche.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ペニーシェ市立博物館（Museu Municipal de Peniche）ペニーシェ博物館は、革命以前に「エストアド・ノヴォ（新国家）」の政治犯用の監獄として使われていたペニーシェの要塞（Fortaleza de Peniche）にあります。反ファシストのレジスタンス運動を取り上げたセクションをはじめ、考古学的な遺物（フルニーニャの洞窟から発見された品々）、海底考古学に関するもの、軟体動物学に関するもの、建築家パウリーノ・モンテスの残した美術品、造船や地元の手工芸（ボビンレース）に関する品々を展示しています。

Núcleo Museográfico da Santa Casa da Misericórdia de Peniche

住所: Largo 5 de Outubro, 22 2520-228 Peniche

電話: +351 262 782 197 **ファックス:** +351 262 782 197

Eメール: misericordiapeniche@sapo.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

サンタ・カーザ・ダ・ミゼリコルディア・デ・ペニーシェ美術館（Núcleo Museográfico da Santa Casa da Misericórdia de Peniche）サンタ・カーザ・ダ・ミゼリコルディア・デ・ペニーシェ美術館は、同胞教会（Igreja da Irmandade）と付属する建物からなっています。教会の中心部分の壁に飾られている55点の絵画は、ここに展示されている17世紀の地方主義絵画の貴重なコレクションを代表するものです。中でも、ジョゼファ・デ・オビドスの5点の油彩画や、バルタザール・ゴメス・フィゲイラの作品は特に目を引きます。

壮大な14世紀のフランドル派の祭壇画も見逃せない作品のひとつです。

Porto de Mós

Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota - CIBA

住所： Av. D. Nuno Álvares Pereira, nº 120, São Jorge 2480-062 Calvaria de Cima

電話： +351 244 480 060

Eメール： info.geral@fundacao-aljubarrota.pt ウェブサイト：

<http://www.fundacao-aljubarrota.pt>

その他の情報:

CIBAとバターリャの修道院を結ぶ、歴史電車（Comboio Histórico）が走っています。週末のみ30ごとの運行。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;

入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部;

特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ, 身体障害者用設備,

中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板,

双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;

支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害,

精神障害;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

アルジュバロッタの戦い研究センター（O Centro de Interpretação da Batalha de Aljubarrota (CIBA)）は、サン・ジョルジェ古戦場（Campo Militar de S. Jorge）を重要視し、保護するために立ち上げられた、アルジュバロッタの戦いの財団（Fundação da Batalha de Aljubarrota）によるプロジェクトです。

この施設は、サン・ジョルジェ（São Jorge）に在り、この戦いについての解説エリアが、教育とエンターテインメントという新しい概念により、4つの核から成り立っています。それぞれのエリアにおいて、来場者に対して、アルジュバロッタの戦いが、如何にして起こり、どんな戦いであったかの解説がなされています。最初の2つのエリアでは、過去の記述や、戦場の考古学的な発見に基づいた、アルジュバロッタの戦いの解説があります。ここには、この戦いの復興および関連イベントに関する映像を上映する、オーディオルームの設備もあります。そして、3つ目のエリアでは、戦いの目的について、科学的、文学的、それぞれ違った見解を通して、アルジュバロッタについての様々な解釈がなされています。最後のエリアは、このセンターの外部のスペースで、サン・ジョルジェ平原（Campo de São Jorge）と呼ばれる、戦場において最も重要であった場所を示しています。このセンターの見学に要する時間は約50分です。CIBAとサン・ジョルジェ平原(Campo de São Jorge) 両方見学の場合は約2時間です。

Sabugal

Casa da Memória Judaica da Raia Sabugalense

住所： Largo do Castelo, 6320-365 Sabugal

電話： +351 271 751 040

Eメール： geral@cm-sabugal.pt ウェブサイト： <https://www.cm-sabugal.pt/camara-municipal/equipamentos/culturais/casa-da-memoria-judaica-da-raia-sabugalense/>

サブガル (Sabugal) 国境のカーサ・ダ・メモリア・ジュダイカ (Casa da Memória Judaica) (ユダヤ人記念館)、サブカル

ラルゴ・ド・カステロ・ド・サブガル (Largo do Castelo do Sabugal) (サブガル城の広場) に位置するユダヤ人記念館は、かつてのカーサ・ド・カステロ (Casa do Castelo) (城の家) の建物を占めています。2階建ての説明パネルでは、この国境地域と15世紀から18世紀のユダヤ人および隠れユダヤ教徒との関係を示しています。

15世紀にこの地域でユダヤ人の家族が滞在・居住したことを証言するこの家は、1492年にスペインから追放された後、このポルトガルの自治体

に定住したユダヤ人の気質を明らかにしています。

考古学的な展示作品の中で特に注目すべきは、宗教的な道具、特にトローラーの巻物が保管されていたヘジャル（Hejal）（アロン・コデシュ）として使用された可能性のある食器棚です。これは、1703年に審問官によって尋問を受けた地元民であるジョアン・ロベシュ・ヌネシュ（João Lopes Nunes）によって証言されました。

また、1階では、2018年にポルトガル博物館学協会からアウトリーチ映画賞を受賞したサブガルのユダヤ人コミュニティの存在と生活についてのドキュメンタリーを見ることができます。

Seia

Museu do Brinquedo

住所：Largo de Santa Rita6270 Seia

電話：+351 238 082 015 ファックス：+351 238 083 521

Eメール: museu.brinquedo@cm-seia.pt ウェブサイト： <http://www.cm-seia.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

Tomar

Núcleo de Arte Contemporânea - Museu Municipal de Tomar

住所：R. Gil Avô 7, 2300-586 Tomar

電話：(+351) 249 329 814

Eメール: turismo@cm-tomar.pt; museologia@cm-tomar.pt

ウェブサイト： <https://www.visit-tomar.com/Places/Details/nucleo-de-arte-contemporanea-museu-municipal>

ジョゼ・アウグスト・フランサ（José-Augusto França）教授の寄贈によ

り2004年に創設されたこのセンターは、絵画、彫刻、素描、写真で構成

され、1932年からの年代順の弧を描いています。マリオ・エロイ（Mário

Eloy）、ジュリオ&アルマダ・ネグレイロス（Júlio and Almada Negreiro

s）の作品が際立っており、20世紀の第2四半期のモダニズムを示してい

ます。

リスボンのシュルレアリスムグループによって制作された多数のシュル

レアリスム作品もあります。抽象主義と新形象派美術は、とりわけフェ

ルナンド・ランハシュ（Fernando

ムゼウ・ルソ - ヘブライコ・デウ・アブラハム・ザクート（Museu Lusó-Hebraico de Abraham Zacuto）（アブラハム・ザクート・ルソ-ヘブライ博物館）-トマール（Tomar）・シナゴーク

住所：Rua Dr. Joaquim Jacinto, 73 2300-577 Tomar

電話：+351 249 329 814 ファックス：+351 249 329 811

Eメール: museologia@cm-tomar.pt ウェブサイト： <http://www.cm-tomar.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 建物内のバリアフリー通路: 全部;

特色とサービス:

ガイドツアー;

トマール・シナゴークは、15世紀半ばに建てられてから今日に至るまで、ほとんど変更されておらず、完全に保存されている唯一のユダヤ教の宗教建築物です。これはルネッサンス様式の建物で、トマールのユダヤ人コミュニティが、都市の人口と富が増加したときに作業を依頼したエンリケ航海王子（1394-1460）に非常に親密であったときに建てられました。

キリスト教世界のほとんどすべてのユダヤ教の会堂のように、非常に目立たない外観で、内部は驚きです。天井は4つの柱で支えられており、それぞれの柱には、イスラエルの母を表す幾何学的な植物のモチーフで装飾された柱頭があります。サラ、レイチェル、レベッカ、リア。柱の間にはイスラエルの12部族を象徴する12のアーチが接続されており、礼拝室の上部の隅には石積み逆さまに配置された8つの粘土製容器の Mauspiers に対応して2つの穴があり、儀式での聖歌の響きを増幅しています。

1496年、国の領土からユダヤ人が追放されたため、シナゴークは閉鎖さ

Lanhas) やジョアン・クティレイロ (João Cutileiro) などの作品に代表されています。コレクションの完成は、20世紀の終わりから現在に至るまでのさまざまな作品です。

トマールの歴史的な中心部の中心部にある200を超える現代ポルトガル美術

のコレクションを備えた現代美術の核の建物は、キリスト教修道院の前

の邸宅の裏庭がかつてあった場所にあり、現存する建物は、20世紀

初頭に住宅用に建てられ、建築家ジョルジュ・マスカレンハシュ (Jorge

Mascarenhas) によって提供されたプロジェクトで改装されました。

イタリアのフィレンツェにあるローレンツォ図書館のために作成された

ミケランジェロの作品は、上から見ると奇妙に長くなっている階段を通

って、2階に上がるよう促しています。屋外に出ると、博物館向けに特別

に制作されたジョゼ・デ・ギマランイシュ (José de

Guimarães) の「アルヴォア・アズール (Árvore

Azul)」(「ブルーツリー)」と、エドゥアルド・ネリー (Eduardo

Nery) の「モジュラサオン・ルミノサX (Modulação Luminosa X)」(

「ルミナス・モジュレーションX)」という2つの大作を見ることができ

ます。

Tondela

Museu do Caramulo

住所: Rua Jean Lurçat, 42 3475-031 Caramulo

電話: +351 232 861 270 ファックス: +351 232 861 308

Eメール: info@museudocaramulo.pt ウェブサイト:
<https://museudocaramulo.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

トラベラーズチェック利用可;

カラムーロ博物館 (Museu do Caramulo) この非常にユニークな博物館は、眼下に素晴らしい田園風景の広がる、緑豊かなカラムーロ山脈 (Serr

れ、1923年にサミュエル・シュワルツ博士 (1880~1953年) に買収され、彼が設立したルソヘブライ博物館がそこに残ることを条件に、1939年に州に寄贈されるまで、さまざまな用途を経てきました。それは国の様々な地域に散在する墓石の重要なコレクションを提示し、ポルトガルのヘブライ文化の重要性を証明しています。コレクションには、ユダヤ人の伝統と崇拝の本や物も含まれています。

最近、発掘調査の

後、隣りに女性の清めの儀式の浴槽

ミクヴェ (mikveh) を目的とする部屋が見つかりました。

a do Caramulo)の中にあります。この博物館が所有する珍しい車のコレクションは、博物館の創設者であるジョアン・デ・ラセルダが始めました。この65台の自動車コレクションの中には、ポルトガルの首相であったアントニオ・デ・オリヴェイラ・サラザールが長い間使用していた防弾仕様のメルセデスとキャデラック、フランコ将軍がクラヴェイロ・ロペス大統領に贈ったペガソのスポーツカー、リアフェルドが1931年に陸上での最高速度、時速200km超を記録した際に使われたブガッティ35Bなどがあります。これらは保存状態が素晴らしく今でも走ることができ、一番古い車でも、いまだにヨーロッパで行われるレトロカーの主なパレードやレースに参加しています。この博物館は素晴らしい美術品のコレクションも所有しています。その中には、ポルトガル船による発見の旅を描いた16世紀のトゥルネーのタペストリー、フランドルの油彩画、ダリ、ピカソ、ヴィエラ・ダ・シルヴァから贈られた油彩画をはじめ、貴重な家具、陶磁器、銀細工のセクションもあります。

Torres Novas

Museu Municipal Carlos Reis

住所: Rua do Salvador, 10 2350-416 Torres Novas

電話: +351 249 812 535 **ファックス:** +351 249 839 099

Eメール: museu.municipal@cm-torresnovas.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-torresnovas.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

カルロス・レイス博物館 (Museu Municipal Carlos Reis)

この博物館は、考古学、宗教美術、現代絵画、地元民族誌に関する興味深い品々を所蔵しています。

Torres Vedras

Centro de Interpretação da Comunidade Judaica de Torres Vedras

住所: Largo Padre Jacinto Pio Sobreiro 1-3, 2560-651 Torres Vedras

電話: +351 261148633

Eメール: cijtv@cm-tvedras.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-tvedras.pt/artigos/detalhes/centro-de-interpretacao-da-comunidade-judaica/>

セントロ・デウ・インテルプレタソン・ダ・クルチャーラ・ジュダイカ (Centro de Interpretação da Comunidade Judaica) (ユダヤ人コミュニティ解釈センター)、トレシュ・ベドラシュ (Torres Vedras)

ユダヤ人コミュニティ解釈センターは、トレシュ・ベドラシュ (Torres Vedras) の歴史的な中心部にあり、城の隣にあり、古いユダヤ人地区から50mの場所にあり、セルカ・ダ・ジョゼファ (Cerca da Josefa) として知られる伝統的建築の建物群を占めています。

そこには、異端審問の犠牲者であるトレシュ・ベドラシュの記念碑が建てられています。記念碑には、キリスト教コミュニティが古いユダヤ人地区のシナゴグを納屋に変え、そこにセニョール・ドス・パスス (Senhor dos Passos) の行列のポイントの1つを建てるのに使用されたという逸話が記されています。

それは3つのスペースで構成される施設です。最初の部屋では、ポルトガルとトレシュ・ベドラシュでのユダヤ人の存在が、その起源から強制開放と改宗まで説明され、契約書、恩赦書、勅許などの蔵書が展示されています。2番目の部屋では、トレシュ・ベドラシュに存在していたユダヤ人地区が再構成され、コミュニティの主要な家族が説明され、名前、職業、日常の慣習が示されています。なかでも、リスボンの大シナゴグ (1307) の創設者であるラビD. ジュダシュゲデリヤ (Rabbi D. Judas G

Museu Municipal Leonel Trindade

住所: Convento da Graça - Praça 25 de Abril 2560-286 Torres Vedras

電話: +351 261 310 485 **ファックス:** +351 261 310 494

Eメール: museu@cm-tvedras.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-tvedras.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー(文化欄)をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

レオネル・トリンダデ博物館 (Museu Municipal Leonel Trindade) この博物館には、象牙製の美しい「善き羊飼ひ」の彫刻などの宗教美術品を集めたセクションがあります。その他にもトーレ・ヴェドラス (Torres Vedras) の防衛に関する重要なセクションや、先史時代の宝飾品が目を引く考古学セクション、ポルトガル国内で最大規模の中世の墓石コレクションがあります。

uedelha) 首長が属していたゲデリヤ家は際立っています。最後の部屋は、ユダヤ人のキリスト教徒への強制改宗(それ以降、新キリスト教徒と呼ばれた)、ユダヤ教の慣習の非難、そして審問活動がもたらした影響に捧げられており、これらのことはユダヤ人コミュニティの歴史の最も劇的な部分を構成しています。

Trancoso

Casa do Bandarra

住所: Tv. do Poço do Monte, 6420-071 Trancoso

電話: +351 271 817 176

Eメール: turismo@cm-trancoso.pt

カーサ・ド・バンドラ (Casa do Bandarra) (バンドラの家)、トランコーソ

レクリエーション、教育、科学的解釈のセンターであるバンドラの家は、神秘的な詩人ゴンサロ・アネス・バンドラ (Gonçalo Anes Bandarra) (1500~1556) の人物像を通して、ポルトガル人のアイデンティティの一部である記憶を保存することを目的としています。トランコーソで生まれた彼は、予言的なバラードで知られるようになり、行方不明のポルトガル国王セバスチアンの帰還を予告しました。

本業は靴職人であるバンドラは、20世紀の有名な詩人であるフェルナンド・ペソア (Fernando Pessoa) によってポルトガルのノストラダムスと見なされていました。彼は、17世紀に新キリスト教徒と旧キリスト教徒の間の差別の終焉を擁護したイエズス会の有名なアントニオ・ビエイラ神父などの作家に影響を与え、ポルトガル文化の救世主思想の多くに影響を与えました。

彼には社会的地位が認められており、つながりがあり、多くの人が彼を文学の解説者あり宗教指導者であると考えていました。1541年、彼は異端審問によって裁判にかけられ、聖書を解釈したり、宗教について書いたりすることを禁じられました。彼がユダヤ人の子孫であるかどうかは定かではありませんが、彼が扱った珍しいテーマはユダヤ教のしるしとして見られました。彼は1556年に亡くなり、トランコーソの歴史的中心部にあるイグレハ・デ・サンペドロ (聖ペテロ教会) に埋葬されました。

家の中庭 (セントロ・ドゥ・インテルプレタソン・ダ・クルチャーラ・ジュダイカ・イザック・カルドーソ (Isaac Cardoso ユダヤ文化解釈センター) と同じ通りにあります) では、彼のバラードを井戸の底から「聞く」ことができます。異端審問を離れた後にバンドラが避難した村の住民からの口頭による証言に加えて、彼の裁判の再構築、散文の複製、そしてさまざまなアーカイブ文書にアクセスすることができます。

Vila Nova de Paiva

Centro de Memória Judaica de Vila Cova à Coelheira

住所: Rua do Mosteiro, 3650-120 Vila Cova à Coelheira

電話: +351 232 609 900 | +351 304 501 170

Eメール: turismo@cm-vnpaiva.pt ウェブサイト: http://cm-vnpaiva.pt/index.php?option=com_content&view=article&id=1254%3Acentro-de-memoria-judaica&catid=32

セントロ・ダ・メモリア・ジュダイカ (Centro da Memória Judaica) (ユダヤ人記念センター) / シナゴーク - ヴィラ・コヴァ・ア・コエリエイラ (Vila Cova à Coelheira)、ヴィラ・ノヴァ・デウ・パイヴァ (Vila Nova de Paiva)

ユダヤ人記念センターが設置された建物は、ヴィラ・コヴァ・ア・コエリエイラの村で最も重要な建物の1つです。シナゴークとして人々の間で口頭で知られている、ユダヤ人コミュニティのための崇拜または祈りの場所としてその文書による証拠はありません。

Centro de Interpretação da Cultura Judaica Isaac Cardoso

住所: Rua Poço do Mestre, 6420-116 Trancoso

電話: +351 271 817 176

Eメール: turismo@cm-trancoso.pt

セントロ・デウ・インテルプレタソン・ダ・クルチャーラ・ジュダイカ・イザック・カルドーソ (Centro de Interpretação da Cultura Judaica Isaac Cardoso) (イザック・カルドーソ・ユダヤ文化解釈センター)、トランコーソ

現代建築の建物であるイザック・カルドーソ・ユダヤ文化解釈センターは、旧トランコーソユダヤ地区にあり、17世紀初頭に街で生まれたユダヤ人医師に敬意を表しています。カルドーソはマドリッドの裁判所の主治医になり、宗教的迫害を受け手最終的にイタリアのヴェローナに避難しました。

このセンターの使命は、この地域のユダヤ人の遺産を保存することであり、この都市におけるヘブライ人の存在についての研究、考察、知識のための場です。そこには、一時的な展示室、異端審問の犠牲者を追悼する、トランコーソの囚人の515名の記念碑、ペイトマイムハイムと呼ばれるシナゴーク・カーサ・ダス・アグアス・ピバス (Casa das Águas Vivas) (ライブウォーターハウス) が含まれています。

トマール・シナゴークで最も明白なインスピレーションを持っているこのシナゴークは、すべて木で作られており、他のすべての建物が花崗岩製であるのとは対照的です。イスラエルの尊い女性を表す4本の柱の様式と同様に、壁のすべての被覆材は、私たちの目を天井に向けます。天井は、照明ボックスで構築された模様がイスラエルの12部族を表しています。

2013年、イザック・カルドーソ・ユダヤ文化解釈センターはセーフエルトラー (律法または法の役割) を受け取りました。これにより、1496年にポルトガルのマヌエル1世によって命じられたユダヤ人の追放とそれに続く当時のトランコーソユダヤ人コミュニティを壊滅させた審問による強制的な改宗の500年以上後に、トランコーソに戻ったことになりません。

センターは何世紀にもわたって隠されなければならなかったアイデンティティを大切にしているので、展示内容は異端審問によって開始された迫害に焦点を当てています。

迫害の記憶の価値を高めることによるコミュニティの記憶とこの和解の後、現在の目的は、ヴィラ・コヴァ・ア・コエリエイラでのユダヤ人の生活と家族についての文書を収集することです。

Viseu

Museu Nacional Grão Vasco

住所：Paço dos Três Escalões 3500-195 Viseu

電話：+351 232 422 049 ファックス：+351 232 421 241

Eメール: mngv@mngv.dgpc.pt ウェブサイト：http://www.museunacion
algraovasco.gov.pt/http://www.patrimoniocultural.gov.pt/pt/museus-e-
monumentos/rede-portuguesa/m/museu-grao-vasco/

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路:

全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部;

バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備;

利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

グラン・ヴァスコ美術館 (Museu de Grão Vasco) 1915年に創設された
グラン・ヴァスコ美術館は、ヴィゼウ (Viseu) の街のカテドラルに隣接
する司教館を利用した美術館です。その創設者フランシスコ・デ・アル
メイダ・モレイラは、ポルトガルの美術品、特に近現代における最高の
ポルトガル人画家たちの作品を収集することに力を注ぎました。美術館
に入る前に、溝彫りをほどこした2本の柱が両端に立つ洗練されたポルテ
イコ (柱廊玄関) を見れば、このルネッサンス時代の建物の崇高さを感じ
ることができます。この司教館は、さまざまな高位聖職者 (恐らく始
めは1466年から1482年にヴィゼウ司教を務め、この中庭に眠るジョアン
・ゴメス・デ・アブレウ) の手につくられてきたものです。後年この司
教館には、すべてのカテドラルに対して一定人数の若者の教育を義務付
ける1563年のトレント公会議の決定を受けて、コンシラール神学校も併
設されました。所蔵品には、本来礼拝の儀式に用いられていた品々 (ル
ネッサンスからバロック時代にかけての絵画、彫刻、金銀器、象牙細工
) に加え、考古学的遺物、19世紀の重要なポルトガル絵画、ポルトガル
製のファイアンス焼きがあり、東洋の磁器や家具もいくつか含まれてい
ます。この美術館のメインとなる展示品は、グラン・ヴァスコの名で知
られるヴァスコ・フェルナンデス (1475 - 1542) と、その主な合作者で
あるガスパール・ヴァスの素晴らしい絵画の数々です。

マデイラ諸島

Funchal

Casa-Museu Frederico de Freitas

住所：Calçada de Santa Clara, 7 9000-036 Funchal

電話：+351 291 202 570 ファックス：+351 291 202 580

Eメール: cmffreitas@sapo.pt ウェブサイト：http://www.museumac.com
/item3.php?lang=1&idchannel=20&idpage=31&id=41;http://www.museu
mac.com

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照
ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ;

Madeira Story Centre

住所：Rua D. Carlos I Nº 27-299060-051 Funchal

電話：(+351) 291 639 081 | (+351) 291 639 082

Eメール: info@madeirastorycentre.com ウェブサイト：
http://www.madeirastorycentre.com/

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照
ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

マデイラ・ストーリー・センター (Madeira Story Centre)

Museu da Quinta das Cruzes

住所: Calçada do Pico, 1 9000-206 Funchal

電話: +351 291 740 670 **ファックス:** +351 291 741 384

Eメール: mqc.drac.srt@gov-madeira.pt **ウェブサイト:**
<http://www.museuquintadascruzes.com/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu de Fotografia da Madeira – Atelier Vicente 's

住所: Rua da Carreira, 439000-042 Funchal

電話: (+351) 291 145 325

Eメール: mfm-avicentes@madeira.gov.pt **ウェブサイト:** <https://cultura.madeira.gov.pt/museu-de-fotografia-da-madeira-atelier-vicente-s>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; バリアフリー入口: 全部;

1865年にVicente Gomes da Silva (1827-1906) によって買収された、ポルトガルで2つしかない19世紀の写真スタジオの1つを拠点とする美術館。そのコレクションには、シナリオ、カメラ、特殊な家具、オリジナルの写真が入ったフレーム、写真技法に関する本、約150万部の貴重な写真アーカイブが含まれています。コレクションは1850年代にさかのぼり、映画に関するセクションもあります。

オリジナルのアトリエは、その写真作品によって2つの重要な栄誉を受けました。その1つは1866年のことで、ゴメス・ダ・シウバ (Gomes da Silva) が撮影したエリザベス皇后（通称「シシィ」）のポートレートを受けたもので、オーストリア=ハンガリー帝国によって付与されました。1903年、彼の息子であるピセンテ・ジュニアは、ポルトガルのカルロス1世 (1863-1908) とオルレアンのアメリー女王 (1865-1951) の写真記録を収めたことにより、「ポルトガル王室の写真家」の称号を授与されました。

1970年代まで4世代にわたって営業を続けました。マデイラ地方政府は1979年にスタジオの全コレクションを取得し、1982年3月22日にはもう美術館として発足していました。2014年に再認定工事のため閉鎖され、2019年7月に再開されました。元のアトリエの記憶を維持することに加えて、それは現在、完全に写真に特化した唯一の国立美術館として認められており、マデイラの写真遺産に加え、今日まで知られていなかった多くの写真家や作品に光を当てました。

美術館のコレクションの中には、ピセンテのコレクションだけでなく、他のプロ写真家やアマチュア写真家のコレクション、地域の観光交通局の視聴覚資料もあります。この形式では、アトリエの再構成に加えて、美術館は、ダゲレオタイプから最初のカラー写真まで、途中で幻灯機や立体鏡を紹介しながら写真プロセスの歴史を紹介します。常設展示スペースには、19世紀と20世紀の事実上すべての素晴らしいマデイラ写真家の所蔵品が含まれています。特別展では定期的に新作を展示しています。

Photographia Museu "Vicentes"

住所: Rua da Carreira, 43 - 1º Apartado 348 9001-904 Funchal

電話: +351 291 225 050 **ファックス:** +351 291 228 724

Eメール: photographia.vicentes.drac.srtc@gov-madeira.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照

マデイラ・ストーリー・センターは、フンシャル (Funchal) の街の古い地区にあります。マデイラの歴史と文化に気軽に接し、肌で感じることができます。

Museu de Arte Sacra do Funchal

住所: Rua do Bispo, 21 9000-073 Funchal

電話: +351 291 228 900 **ファックス:** +351 291 231 341

Eメール: masf@netmadeira.com **ウェブサイト:**
<http://www.museuartesacrafunchal.org/homepage.html>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; レストラン;

Núcleo Museológico do Bordado da Madeira

住所: Rua Visconde do Anadia, nº 449050-020 Funchal

電話: +351 291 211 600 **ファックス:** +351 291 224 791

Eメール: ivbam@madeira.gov.pt **ウェブサイト:**
<https://bordadomadeira.com/museu-do-bordado>

時刻表:

De 2ª a 6ª feira, 9h00-12h30 / 14h00-17h30

Encerrado: sábados, domingos e feriados.;

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 一部;

バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表;

ください。;
特色とサービス:
ガイドツアー;

Ilha da Madeira

MUDAS. Museu de Arte Contemporânea da Madeira

住所: Estrada Simão Gonçalves Câmara 379370-139 Estreito da Calheta

電話: (+351) 291 820 900 **ファックス:** (+351) 291 820 911

Eメール: mudas@madeira.gov.pt **ウェブサイト:** <https://cultura.madeira.gov.pt/mudas-museu-de-arte-contemporanea-da-madeira>; <http://www.mudasmuseuvirtual.com/>

特色とサービス:
ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

2015年10月に設置されたこの美術館ユニットは、フンシャウ (Funchal) 現代美術館のコレクションを移転されて出来上がりました。1960年代から現在に至るまで、ポルトガルの現代美術に特化した約400点のコレクションで、最初の核は1966年と1967年のイニシアチブによるフンシャウ市優良芸術賞の取得から生まれました。

最初の作品群には、ジョアキン・ロドリゴ、アントニオ・アレアウ、アルトゥール・ローザ、ジョゼ・エスカーダ、イレナ・アルメイダ、ジョルジュ・マルティンス、ヌノ・シケイラ、マヌエル・バプティスタなどの作品が含まれています。多くがマデイラ出身の有名なポルトガルの造形芸術家によるこれらの作品には、アートギャラリーや作家自身から購入した他の作品や、地域観光文化事務局の旧ギャラリーでの展示会やアナ・ハザリー、ペドロ・ウァウデス・カルドーゾ、アウブケルケ・メンデシュ、ソフィア・アレアルなどの個人からの寄付が伴います。

1992年の旧美術館の開館から2015年までの間に、現在のコレクションのサイズのスペースは使い果たされていました。国際的な賞を受賞した現在の建物は、マデイラの建築家パウロ・ダヴィッド (Paulo David) によって設計されました。落ち着いた美しさを念頭に置き、周囲を取り囲む斜面と海を見晴らす眺めを想定して設計されています。

講堂、図書館、ショッピング、カフェテリア、レストラン、文化的娯楽のためのエリア、駐車場も含まれています。

Ilha de Porto Santo

Casa Colombo Museu do Porto Santo

住所: Travessa da Sacristia, 2 / 4 9400-176 Porto Santo

電話: +351 291 983 405 **ファックス:** +351 291 983 840

Eメール: casacolombo@netmadeira.com **ウェブサイト:** <http://www.museucolombo-portosanto.com/home.html>

その他の情報:
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:
ショッピング; ガイドツアー;
コロンブスの家 (Casa Colombo) ポルト・サント島 (Ilha do Porto Santo) は、1418年にエンリケ航海王子の命令で行われた発見の航海において、ポルトガル人が発見した最初の島です。しかし、この島の存在はそれ以前から既に知られており、1370年頃につくられたメディチ家の地図に「ポルト・スコ」の名で記載されています。バルトロメウ・ベレストレロは、ジョアン王子一族の使節として、この島の占拠を取り仕切ることを許可されたと考えられています。この地位は、ベレストレロがこの島の総督とする1446年11月1日付の手紙によって正式なものとなりました。彼はドナ・イザベル・デ・モニスと結婚して娘をもうけ、この娘フィリッパ・デ・モニスが後にクリストファー・コロンブスの妻となります。

この結婚は1479年か1480年のことと考えられています。コロンブスの弟バルトロメ・デ・ラス・カザスによると、2人はマデイラ（Madeira）とポルト・サントに住み、1482年にここで一人息子のディオゴが生まれたということです。ディオゴが父コロンブスのカリブ海への旅に同行することはありませんでした。しかし、1506年5月20日にコロンブスが亡くなった後、ディオゴは1492年の4月17日のサンタ・フェ協定で定められたすべての称号、地位、特権を受け継いでいます。ディオゴ・コロンブスはその後1523年2月24日に亡くなりました。コロンブスの家は、ポルト・サントの歴史を記録する幅広い文献や資料を統括する博物館の本部として使用されています。

リスボンとその周辺地方

Alcochete

Museu Municipal de Alcochete

住所： Rua Dr. Ciprião de Figueiredo 2890-071 Alcochete

電話： +351 21 234 86 53 **ファックス：** +351 21 234 86 92

Eメール： museu.municipal@cm-alcochete.pt **ウェブサイト：**
<http://www.cm-alcochete.pt>

その他の情報：

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

特色とサービス：

ショッピング；ガイドツアー；

Cascais

Casa das Histórias Paula Rego

住所： Av. da República, 300 2750-475 Cascais

電話： +351 21 482 69 70 **ファックス：** +351 21 482 69 71

Eメール： chpr@cm-cascais.pt **ウェブサイト：**
<http://www.casadashistoriaspaularego.com>

バリアフリー案内：

車椅子用通路の設備；

特色とサービス：

ショッピング；ガイドツアー；カフェテリア；レストラン；

Museu do Mar - Rei D.Carlos

住所： Rua Júlio Pereira de Mello 2750-407 Cascais

電話： +351 214 861 377 **ファックス：** +351 214 836 268

Eメール： museumar.dpat.dec@cm-cascais.pt

その他の情報：

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

Museu Condes de Castro Guimarães

住所： Av^a. Rei Humberto II de Itália2750-319 Cascais

電話： (+351) 214 815 303

Eメール： mccg@cm-cascais.pt **ウェブサイト：** <https://bairrodoismuseus.cascais.pt/list/museu/museu-condes-de-castro-guimaraes/>

その他の情報：

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。；

特色とサービス：

ガイドツアー；

カストロ・ギマラインス公爵博物館（Museu Condes de Castro Guimarães）この博物館は、豪華な装飾がほどこされ天井が美しく塗られた部屋のある、優雅な邸宅を使用しています。音楽室には美しいオルガンがあり、家具、陶磁器、銀器の豪華なコレクションや、非常に古い貴重な本（16世紀にドゥアルテ・ガルヴァンによって書かれたポルトガル王アフォンソ・エンリケスの年代記の彩色写本を含む）を数多く所蔵する素晴らしい図書館もあります。所蔵品の中でも特に興味深いのは絵画で、その多くはポルトガル自然主義派の作品です。

Estoril

Espaço Memória dos Exílios

住所： Av. Marginal 7152 B, 2765-192 Estoril

電話： +351 214 815 930

Eメール: eme@cm-cascais.pt ウェブサイト：

<https://cultura.cascais.pt/list/museu/espaco-memoria-dos-exilios>

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 触覚的探索用のアイテム;

エスパソ・メモリア・ドス・エクシリオシュ (Espaço Memória dos Exílios) (亡命記念スペース)、エストリル

1999年に発足した亡命者記念スペースは、20世紀にヨーロッパを荒廃させたさまざまな戦争中に、カスカイスとエストリルで「安全な避難所」を見つけたすべての人々、特にナチス政権から逃れたユダヤ人の記憶を保存しています。

この施設は、象徴的に、家族のニュースが送受信される郵便局の上層階で運営されています。エストリルの中心部に位置し、1942年に建てられ、建築家アデリーノ・ヌネシュ (Adelino Nune) によって設計されたポルトガルのモダニズムの模範的な建物です。

アーカイブ文書、写真、年代物、参考資料、専門図書館からなる常設展示があります。これらの難民の存在を研究することを目的として、この作業は、特に、地域の旅館から政権の警察に送られ、今日まで保存されている数万の難民ファイルの体系化に焦点を当てています。

Lisboa

Atelier-Museu Júlio Pomar

住所： Rua do Vale 71200-472 Lisboa

電話： +351 215 880 793

Eメール: info@ateliermuseujulioanmar.pt ウェブサイト：

<https://www.ateliermuseujulioanmar.pt/>

特色とサービス:

ガイドツアー;

アトリエ美術館の使命は、ジュリオ・ポマルの作品に関する知識を保存、普及、深め、現代美術に関する議論を促進し、空間を構成する複数の表現を取り入れることです。リスボン市議会によって買収された2000年当時は古い倉庫でしたが、ジュリオ・ポマルが美術館になるために寄贈した2010年まで、アルヴァロ・シザ・ピエイラ (Álvaro Siza Vieira) の手によって改装されました。

この施設では、展示は空間の美学とその内容物に差し込む光に関連しています。近隣の建築に個別に統合された建物は、2つのフロアで構成され、中央に展示エリア、2つの保護区、サービスエリアがあります。訪問者はパティオから入ります。60席の収容能力を持つ講堂もあります。

建築家、芸術家、学芸員、思想家、一般の人々が参加する実践的かつ理論的な活動のプログラムとともに、膨大なコレクションの一部を交代交代で展示します。ジュリオ・ポマルの芸術作品のなかでインスピレーションを与えると考えられる貸し出し作品も定期的に展示されています。

アトリエ美術館は、国内外問わず、新進気鋭か、地位が確立されているかを問わず、ジュリオ・ポマルと同世代や他の世代の他の芸術家の展示会も主催し、空間と彼の作品との対話を提案しています。

BMAD - Berardo Museu Arte Deco

住所： Rua 1º de Maio, 24 (Alcântara)1300-474 Lisboa

電話： +351 21 219 80 71

Eメール: lojabmad@bacalhoa.pt ウェブサイト： <https://www.bmad.pt/>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, 中庭; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Casa-Museu Dr. Anastácio Gonçalves

住所： Avenida 5 de Outubro, 6 - 8 1050-055 Lisboa

電話： +351 21 354 08 23 - +351 21 354 09 23 ファックス： +351 21 354 87 54

Eメール: cmag@imc-ip.pt ウェブサイト： <http://www.cmag-ipmuseus.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

Casa Fernando Pessoa

住所: Rua Coelho da Rocha, 16-18 (Campo de Ourique) 1250-088 Lisboa
電話: +351 21 391 32 70 - +351 21 391 32 77 **ファックス:** +351 21 391 32 78
Eメール: info@casafernandopessoa.pt **ウェブサイト:** http://www.casafernandopessoa.pt

その他の情報:

フェルナンド・ペソア博物館(Casa Fernando Pessoa)は改修のため、閉館しております。ですが、「アウェイフロムホーム」アクティビティプログラムによる学習サービスは、引き続き開催しています。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

フェルナンド・ペソア博物館 (Casa-Museu Fernando Pessoa) リスボン (Lisboa) 市議会は、詩人のフェルナンド・ペソアが晩年を過ごした家を利用して、1993年にフェルナンド・ペソア博物館を設立しました。フェルナンド・ペソアは世界でも最も偉大な詩人のひとりに数えられています。この博物館は、この家を真の「詩の殿堂」にすることによって、ペソア作品の研究を支援し、芸術的な創作活動を促進することを目的としています。ここでは、フェルナンド・ペソアが使っていた眼鏡、ペソアの詩集「メッセージ (Mensagem)」の初版本、1930年代のポルトガル文化における重要人物であったアントニオ・フェーロにペソアが送った手書きの手紙などを見ることができます。現在の建物は、フェルナンド・ペソアの研究者らとイタリア人建築家ダニエラ・エルマーノの設計により、家の外壁を残しながら博物館としての新たな役割に適した形に改築されています。現在、ペソアが暮らしていた当時の家具が置かれているのは、ペソアの寝室のみです。ここにはペソアの作品や世界の詩に関する書籍等を集めた質の高い図書室が設けられており、世界中から多くの研究者たちが訪れます。この博物館は美術展覧会や大規模な編集作業にも使われています。ペソアのファンにお勧めの順路: 午前中にフェルナンド・ペソア博物館を見学。次にシアードにあるカフェ「ブラジレイラ (Brasileira)」へ行き、道端に並ぶテーブル (できればペソアの像のそばの席) に座る。コーヒーを片手に「メッセージ」の詩を何篇か読む。その後コメルシオ広場 (Praça do Comércio) へ行き、フェルナンド・ペソアが長年通ったカフェ・マルティニョ・ダ・アルカーダ (Café Martinho da Arcada) で昼食をとる。

Casa-Museu Fundação Medeiros e Almeida

住所: Rua Rosa Araújo, 41 1250-194 Lisboa
電話: +351 21 354 78 92 **ファックス:** +351 21 356 19 51 - 21 316 04 68
Eメール: geral@fundacaomedeirosealmeida.pt **ウェブサイト:** http://www.fundacaomedeirosealmeida.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;
メデイロス・イ・アルメイダ財団美術館 (Casa-Museu Fundação Medeiros e Almeida) アントニオ・デ・メデイロス・イ・アルメイダ (1895 - 1986) が住まいとしていたこの建物は、1970年代にアルメイダ本人の手で美術館へと生まれ変わりました。アルメイダは1973年にメデイロス・イ・アルメイダ財団を設立し、自分の所有する土地建物をすべて財団に寄付しました。美術館のスペースは25の部屋からなっています。その中には、アントニオ・メデイロス・イ・アルメイダ本人が住まいとしていた部分も含まれており、今も当時の雰囲気が残されています。所蔵品には、17世紀から現代までの絵画、家具、タペストリー、宗教美術品、単品やセットのガラス製品や宝飾品があります。中でも以下3つのコレクションは特に見ごたえがあり、それぞれ一部屋を使って展示されています: - 約225点の時計コレクション。16世紀から現在まで年代順に展示されています。 - 中国の陶磁器コレクション。先史時代の素焼きの品 (漢王朝の時代) から18世紀のものまであります。 - 銀器コレクシ

アナスタシオ・ゴンサルヴェス博士博物館 (Casa-Museu Dr. Anastácio Gonçalves) 館内に入る前に、まず魅力的なアールヌーボーの建物が目を引きま。この建物は、画家のジョゼ・マリオアの家として、建築家ノルテ・ジュニオール設計により1905年に建てられました。アナスタシオ・ゴンサルヴェス博士がこの家を入手したのは1932年のことです。館内に足を踏み入ると、高名な眼科医であり収集家でもあった博士が住んでいた頃と変わらぬ、調和のとれた優雅な雰囲気を感じることができます。1965年に死去したゴンサルヴェス博士の遺志により、生前博士が集めた美術品のコレクションは国に寄贈されました。ここでは、その優雅な室内に今も人が住んでいるかのような雰囲気をかもし出すよう、美術品が展示されています。これらの展示品からは、博学だった博士のセンスのよさと教養の高さを感じられます。展示品には、最上級のポルトガル人画家の作品、中国の陶磁器、18世紀から19世紀のポルトガル家具や外国家具 (特に有名なフランスの職人の作品)、懐中時計やガラス製品などの小物類があり、目の保養になります。

Central Tejo

住所: Edifício Central Tejo - Avenida Brasília 1300-598 Lisboa
電話: +351 21 002 81 90 **ファックス:** +351 21 002 81 04
Eメール: maat@edp.pt; visitar.maat@edp.pt **ウェブサイト:** https://www.maat.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

電気博物館 (Museu de Electricidade) 国の史跡に指定されているセントラル・テジョ発電所の建物を利用した博物館です。建物自体が一見に値するほか、20世紀前半にリスボンの街への電力供給に使われていた機械類が見どころです。展示品には、19世紀の発電機、電気モーター、蒸気エンジン、高圧ボイラー、水圧発電機など、さまざまな器具や設備があります。

Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão

住所: Rua Dr. Nicolau Bettencourt 1050-078 Lisboa
電話: +351 21 782 30 00 - 21 782 34 74 **ファックス:** +351 21 782 30 37 - 21 782 30 34
Eメール: camjap@gulbenkian.pt **ウェブサイト:** http://www.camjap.gulbenkian.org

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
ジョゼ・デ・アゼレード・ベルディガン現代美術センター (Centro de Arte Moderna José de Azeredo Perdigão) この美術館は、絵画、彫刻、デッサン、写真、版画など、20世紀ポルトガル美術の貴重なコレクションを所有しています。その中には、アマデオ・デ・ソウザ・カルドソ (1887 - 1918) の代表的な作品のコレクションも含まれています。1960年代から現代にかけての英国のアート、アーシル・ゴーカー (1904 - 1948) の作品を中心としたアルメニアのアート、ヴィエラ・ダ・シルヴァとアルパド・スゼンヌの作品の重要なコレクションも展示しています。

MAAT - Museu de Arte, Arquitetura e Tecnologia / Fundação EDP

住所: Av. Brasília, Central Tejo 1300-598 Lisboa
電話: +351 210 028 130 | +351 210 028 102
Eメール: maat@edp.pt **ウェブサイト:** https://www.maat.pt/

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

ン。英国の銀細工師ポール・ストー（1792 - 1838）の作品2点をはじめ、ポルトガル製の銀のつまようじ入れ約80点を含む16～17世紀ポルトガルの銀製品があります。

Centro Cultural de Belém (Coleção Berardo)

住所：Praça do Império 1449-003 Lisboa

電話：+351 21 361 24 00

Eメール：ccb@ccb.pt ウェブサイト：https://pt.museuberardo.pt/

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

Lisboa Story Centre - Memórias da Cidade

住所：Terreiro do Paço, 78 / 81 1100-148 Lisboa

電話：+351 21 031 28 00

Eメール：info@lisboastorycentre.pt ウェブサイト：
http://www.visitlisboa.com

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu Antoniano

住所：Largo de Santo António, 24 1100-585 Lisboa

電話：+351 21 886 04 47 ファックス：+351 21 757 18 58

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

アントニアーノ博物館（Museu Antoniano）カテドラルのそばにあるアントニアーノ博物館は、「リスボンの聖アントニオ」にまつわる品々を所蔵・展示している博物館で、聖アントニオ生誕の場所と信じられている建物を使用しています。この聖人は、亡くなった場所であるイタリアの街の名前から「パドヴァの聖アントニオ」とも呼ばれています。この博物館には、聖アントニオやその生涯を描いたさまざまな彫刻、版画、絵画、陶磁器に加え、聖アントニオ崇拜に関する儀式に用いる道具や、文献一覧があります。博物館の隣には、サント・アントニオ教会（Igreja de Santo António）があり、その前には聖アントニオをたたえる記念像が立っています。これらはすべて民間信仰の対象となっており、特に6月のフェスティバルシーズンには、聖アントニオの誕生日でありリスボン市内では祭日となっている6月13日を中心に、多くの人が集まります。

Museu Arqueológico do Carmo / Convento do Carmo

住所：Largo do Carmo1200-092 Lisboa

電話：+351 213 460 473 / +351 213 478 629

Eメール：secretaria@arqueologos.pt ウェブサイト：
https://www.museuarqueologicodocarmo.pt/

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

カルモ（カルメル会）修道院は、軍の指揮官であり、ポルトガル国王ジョアン一世 [João I] に忠誠を誓い1385年のアルジュバロータ [Aljubarrota] の戦いでポルトガル人の国家を防衛するために戦った騎士であるヌノ・アルヴァレス・ペレイラ [Nuno Álvares Pereira] によって設立されました。

ヌノは自身の重人としての使命を果たしたと感じたのち、1423年にカルメル会托鉢修道会（Carmelite Mendicant Order）に入りました。その後は禁欲的な生活を送り、聖母マリアの修道僧ヌノとしてその人生を宗教

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ, 身体障害者用設備, 中庭, ホール; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva

住所：Praça das Amoreiras, 56- 58 1250-020 Lisboa

電話：+351 21 388 00 44 / 53 ファックス：+351 21 388 00 39

Eメール：fasvs@fasvs.pt ウェブサイト：http://www.fasvs.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン; アルパド・スゼンヌ ヴィエラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Arpad Szenes - Vieira da Silva）この美術館の所蔵品には、アルパド・スゼンヌ（1897 - 1985）とマリア・ヘレナ・ヴィエラ・ダ・シルヴァ（1908 - 1992）の絵画があります。この美術館は、ジョアン5世の時代の1734年に設立された古い絹工場を利用しています。近くの公園にはたくさんの美しいクワの木が植えられており、その横にはジョアン5世の命令で建設された水道橋のアーチが続いています。この美術館では、作品にスゼンヌやシルヴァと何らかの共通点があるアーティストや、この2人と生活や仕事を共にしたアーティストの作品を展示する特別展も定期的開催しています。

Museu Calouste Gulbenkian

住所：Av.de Berna, 45 A 1067-001 Lisboa

電話：+351 21 782 30 00 ファックス：+351 21 782 30 32

Eメール：museu@gulbenkian.pt ウェブサイト：
https://gulbenkian.pt/museum/

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

カルースト・グルベンキアン美術館（Museu Calouste Gulbenkian）1969年にオープンしたこの美術館は、カルースト・グルベンキアンが個人で集めた素晴らしいコレクションを所蔵しています。建物は最新の美術館建築を取り入れており、周囲に広がる公園とよく調和するように設計されています。

常設展示のスペースは、建築家ポール・ヴァンデポテルメの設計に基づいて最近改装されました。この美術館では、エジプト美術、グレコ・ローマン美術、イスラム美術、ヨーロッパ絵画のセクションに加え、ルネ・ラリックのデザインした素晴らしい宝飾品の数々を見ることができます。

絵画コレクションには、フランドル、オランダ、フランス、英国、イタリアの各派による16世紀から19世紀の作品が含まれています。主なものには、ロヒール・ファン・デル・ウェイデン、ドメニコ・ギルランダイオ、フランス・ハルス、レンブラント・ファン・レイン、ピーテル・パウル・ルーベンス、ジャン・オノレ・フラゴナール、ユベール・ロペール、エドゥアール・マネ、エドガー・ドガの作品があります。

彫刻（特に18世紀から19世紀の作品）、ルネッサンス時代のタペストリー（イタリア製およびフランドス製）、フランス家具（ルイ15世、16世の時代のもの）のセクションも、絵画セクション同様見ごたえがあります。美術館の内部は、新たに配置換えを行ってシンプルになり、空間を広く取ってあるため以前ほど雑然としておらず、作品を新たな視点から

に捧げました。ヌノ自身は1918年に列福されました（死後崇敬の対象として認め、宣言するカトリック教会の公式手続き）。

堂々としたたずまいのゴシック建築は1389年にゴメス・マルティンスの設計に基づいて建てられました。そして、カルメル山の成熟の聖母 [Nossa Senhora do Vencimento do Monte do Carmo] に捧げられました。この地での建築には困難が伴うにも関わらず、ヌノは城の反対側の丘という立地や王家の宮殿、大聖堂があるという点を好み、またこの地とパレスチナのカーメル山（カルメル会の起源）とのつながりを感じ、明確な決意をもって取り組みました。

修道院は1755年の地震やその後起きた火災によって崩壊してしまいました。20世紀になるとポルトガル考古学協会の本部として使われるようになり、この協会によってカルモ考古学博物館が設立されました。博物館ではリスボンの歴史に関する品々を展示しています。先史時代から中世までの展示品が並び、中世の宗教関連の展示品や紋章の展示品などの素晴らしいコレクションが見られます。

Museu da Cidade

住所: Palácio Pimenta - Campo Grande, 245 1700-091 Lisboa

電話: +351 21 751 32 00 **ファックス:** +351 21 757 18 58

Eメール: museudacidade@cm-lisboa.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

リスボン博物館（Museu da Cidade）

18世紀半ばに夏の住まいとして建てられたピメンタ宮（Palácio Pimenta）を利用した博物館です。ジョアン5世の時代につくられたアズレージョのパネルが美しい礼拝堂、台所、食糧庫、寝室、居室などの空間は、その「時代のアンサンブル」を再現して18世紀の生活を思い起こさせる、博物館の重要な一部です。この博物館は、考古学関連の品々、絵画、デッサン、版画、彫刻を施した石など、膨大なコレクションを所有しており、特にバロック時代とポンバル時代に重点を置きつつ、先史時代・ローマ時代から19世紀にかけてのリスボンの歴史を紹介しています。さまざまな展示品の中でも、1755年の大地震以前の街の様子を再現した模型は特に目を引きます。この模型は、リスボンの偉大な歴史学者グスタヴォ・デ・マトス・セケイラの指導の下で、ティシアノ・ヴィオランテによって1950年代に制作されました。

Museu da Marioneta – Convento das Bernardas

住所: Rua da Esperança, 1461200-660 Lisboa

電話: +351 213 942 810 | +351 916 294 128 | +351 916 294 135

ファックス: +351 213 942 819

Eメール: museu@museudamarioneta.pt **ウェブサイト:**

<https://www.museudamarioneta.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

国立マリオンネット博物館（Museu Nacional da Marioneta）

ベルナルダス修道院（Convento das Bernardas）の中には、他では見られない専門博物館があります。それは世界中のさまざまな文化圏から集められた、さまざまな操り人形とお面を展示しているマリオンネット博物館です。人形やお面以外にも、実物大の模型、小道具、影絵劇場、舞台背景に加え、舞台裏で活躍するさまざまな機械類や、復元したバロック様式の劇場があります。もちろん、舞台上に嵐や波を起こす扇風機も備えられています。これらの品々が一堂に会したマリオンネット博物館は、人形劇という古くから行われてきた娯楽に関する非常に独創的な博物館です。この博物館の歴史とその幅広い展示品の数々は、もともとS・ロウレンソ劇団一座が上演用に集めた、さまざまな劇に合わせてデザインされた人形などのコレクションから始まっています。この博物館では、世界各地の人形劇の歴史を知ることができます。影絵と東洋のセクションに

見ることができるようになりました。

案内図も新たにデザインしなおされ、常設展示作品のデータ、コレクター、所蔵品、建物、サービスや活動について来館者が検索することができるコンピューターが各所に設けられました。

Museu da Farmácia - Lisboa

住所: Rua Marechal Saldanha 11249-069 Lisboa

電話: (+351) 213 400 688

Eメール: museudafarmacia@anf.pt **ウェブサイト:**

<https://www.museudafarmacia.pt/>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

1996年6月にリスボンに開館したこの博物館は、ポルトガルの薬局という職業の歴史を保存する趣旨から誕生しました。1981年に、すべての薬局は、将来の薬局博物館のためのコレクションを構築するために浄財を寄付するように全国薬局協会の理事会から要請を受けました。

出資者一同の熱意は、ポルトガルの薬局の歴史の大規模で代表的なコレクションを生み出しました。1997年から2010年の間、博物館は世界中の薬局の歴史の代表的なコレクションを構築しようと、優れたコレクションを収集し、今日では国際的な参考資料となっています。

博物館は、18世紀の古い薬局から20世紀初頭のファルマシア・リベラル（Farmácia Liberal、リベラル薬局）に至るまで、実際の施設の再構成を通じて、訪問者が15世紀の終わりから現在までのポルトガルの薬局の進化を見ることができる空間と環境を創り出しています。19世紀後半からのマカオの伝統的な薬局の再構成や軍事薬局専用のエリアも含まれています。

展示作品は、メソポタミア、エジプト、ギリシャ、ローマ、インカ、アステカ、イスラム、チベット、中国、日本、そして最後に中世からベニシリンの分離までのヨーロッパの薬局のように、時空を隔てた文明と文化に由来しています。展示会は、「エンデバー」スペースシャトル上で使用された仮設の薬局とミール宇宙ステーションからの薬の展示で終わります。

Museu da Presidência da República

住所: Palácio Nacional de Belém Praça Afonso de Albuquerque

1349-022 Lisboa

電話: +351 21 361 46 60 **ファックス:** +351 21 361 47 64

Eメール: museu@presidencia.pt **ウェブサイト:**

<http://www.museu.presidencia.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

共和国大統領博物館（Museu da Presidência da República）

この大統領博物館は、大統領公邸であるベレン王宮（Palácio de Belém）を一般に公開することによって、国民の代表である大統領をもっと身近に感じてもらうというアイディアのもとに設立されました。よって、この博物館では文化と一般市民をその長期テーマにかかっています。大統領博物館はベレン王宮に設けられており、この大統領公邸の歴史や大統領自身について、幅広く正確な情報を伝えることに努めています。この博物館では、革新的なテクノロジーを活用することにより、簡単にインタラクティブな形で情報にアクセスできるようになっています。こう

はじまり、さまざまな人形の種類、形、制作方法の説明を経て、ヨーロッパの伝統的な人形劇一座のセクションへと移ります。特に、人形劇に対するポルトガル人の貢献に焦点が当てられています。人形劇を広い意味でとらえ、テレビに登場するパペットやアニメーションに関するセクションも設けており、人形を使ったテレビ番組の原理も紹介しています。

Museu da Água da EPAL

住所: Rua do Alviela, 12 (a St.ª Apolónia) 1170-012 Lisboa

電話: +351 21 810 02 15

Eメール: mda.epal@adp.pt **ウェブサイト:**

<https://www.epal.pt/EPAL/menu/museu-da-%C3%A1gua>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング;

EPAL水博物館 (Museu da Água da EPAL)

この博物館があるバルバディーニョス蒸気ポンプ揚水所 (Estação Elevatória a Vapor dos Barbadinhos) は18世紀の産業施設で、数少ない産業考古学的な遺産のひとつです。展示品の中には、保存状態の良好な、巨大な蒸気エンジンやポンプなどの産業機械が含まれています。こうした博物館のコンセプトに対して、これまでに複数の賞が贈られています。常設展示ホールでは、ローマ時代から現代にわたる、この街の水供給の歴史を紹介しています。リスボンの街の水供給の歴史と密接な関係のある、18~19世紀に建造された水道橋 (Aqueduto das Águas Livres)、パトリアルカル貯水池 (Reservatório da Patriarcal)、アモレイラス貯水池 (Reservatório da Mãe d'Água das Amoreiras) も、この水博物館の一部です。

Museu da Água da EPAL - Núcleo Mãe d'Água das Amoreiras

住所: Praça das Amoreiras, 10 (Largo do Rato) 1250-020 Lisboa

電話: +351 21 810 02 15 / **ファックス:** +351 21 810 02 31

Eメール: museu@epal.pt **ウェブサイト:** <http://museudaagua.epal.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

EPAL水博物館 (Museu da Água da

EPAL) - アモレイラス貯水池 (Núcleo Mãe d'Água das Amoreiras) この貯水池は、ハンガリー人建築家カルロス・マルデルの設計で、1834年に完成しました。内部には、水が滝のように落ちる場所と深さ7メートルの溜め池があります。素晴らしい街の風景を展望できるテラスも設置されています。

Museu das Comunicações

住所: Rua do Instituto Industrial, 16 1200-225 Lisboa

電話: +351 21 393 5108 / 59 - 800 215 216 **ファックス:** +351 21 393 50 06

Eメール: museu@fpc.pt **ウェブサイト:** <http://www.fpc.pt>

その他の情報:

Voor meer informatie over tijdelijke exposities en evenementen kunt u de Culturele Agenda raadplegen;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

Museu de Marinha

住所: Praça do Império - Belém 1400-206 Lisboa

電話: +351 21 362 00 19 **ファックス:** +351 21 363 19 87

Eメール: geral.museu@marinha.pt **ウェブサイト:**

した方法を取り入れることによって、情報の伝達や文化の公開の新たな手段を活用した先例ともなる、現代の政治と政府機関の歴史博物館をつくりあげようとしているのです。この大統領博物館は、ただ企画通りにつくられた動きのない空間ではなく、教育、研究・調査、出版、文化のイニシアティブの中心でもあります。その他の参加型ツールには、ウェブサイト、デジタル・アーカイブ、仮想博物館、教育・訓練サービス、多数の文化拡大活動があります。このように大統領博物館では、現在進行形の活発なプロジェクトを実施します。

Museu da Água da EPAL - Núcleo Aqueduto das Águas Livres

住所: Calçada da Quintinha, 6 1070-225 Lisboa

電話: +351 21 810 02 15 / **ファックス:** +351 21 810 02 31

Eメール: museu@epal.pt **ウェブサイト:** <http://museudaagua.epal.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

EPAL水博物館 (Museu da Água da EPAL) - 水道橋 (Núcleo Aqueduto das Águas Livres) この水道橋は、1732年にジョアン5世の命令で建設されました。その全長は58,135メートルにおよび、18世紀において並外れて複雑な水供給システムのひとつであるとともに、古今東西の水力学の歴史における最も重要な偉業のひとつとされています。

リスボンのアルカンタラの谷 (Vale de Alcântara) にかかる高架橋は、35の巨大なアーチで構成され、全長が941メートル、高さが65メートルあります。この高架橋は3月から10月の間、一般に公開されています。

Museu da Água da EPAL - Núcleo do Reservatório da Patriarcal

住所: Praça do Príncipe Real 1250-184 Lisboa

電話: +351 21 810 02 15 / **ファックス:** +351 21 810 02 31

Eメール: museu@epal.pt **ウェブサイト:** <http://museudaagua.epal.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

EPAL水博物館 (Museu da Água da

EPAL) - パトリアルカル貯水池 (Núcleo do Reservatório da Patriarcal) この貯水池は、フランス人建築家マリーの設計にもとづき、1860~1864年にかけて建設されました。屋根を支える石のアーチは、高さ9.25mの31本の柱によって支えられています。

Museu de Arte Popular

住所: Avenida de Brasília 1400-038 LISBOA

電話: +351 213 011 282

Eメール: geral@map.dgpc.pt **ウェブサイト:**

<https://museuartepopular.wordpress.com>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu de São Roque

住所: Largo Trindade Coelho1200-470 Lisboa

電話: +351 21 323 50 65 **ファックス:** +351 21 323 50 60

Eメール: info@museu-saoroque.com **ウェブサイト:** <http://www.museu-saoroque.com>; <http://www.scml.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

<http://ccm.marinha.pt/pt/museu>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 触覚的探索用のアイテム;

海洋博物館 (Museu de Marinha) この海洋博物館は、1863年にポルトガル王ルイス1世によって設立されました。その100年後、ジェロニモス修道院 (Mosteiro dos Jerónimos) の一角に移転し、多くのポルトガル船が航路を見つける旅に出て行く姿を見守ってきたこの修道院と、象徴的な関係が築かれました。17,000点以上を所蔵するこの博物館では、海事の歴史とポルトガルの船乗りたちの活躍の証拠を見ることが出来ます。そうした所蔵品の中には、昔の大型帆船やカラベル船から現代のクルーザーまで、さまざまな船のほぼ完璧な模型があります。入口ホールには巨大な地球儀があり、11世紀から16世紀にかけてのポルトガルによる領地拡大の軌跡と、トルデシリャス条約にもとづくポルトガル王国とカステイリャ王国による世界の分割統治の様子が示されています。ここで見逃せないポイントとして、カルロス1世が1901年に購入し海洋学的な研究に使用した王室専用ヨット、アメリカ号の船室があります。家具、陶磁器、グラス、フォークやスプーンなどが置かれ、ポルトガル王家のプライベートな空間が再現されています。ポルトガル共和国が誕生した1910年10月5日に、ポルトガル最後の国王マヌエル2世は、このアメリカ号に乗ってジブラルタル海峡を渡りました。広大な小型帆船館には、王室が所有していた立派なヨットやブリッグ船（2本マストの帆船）、6艘の素晴らしい小型帆船など、さまざまな伝統的なポルトガル船が展示されています。サカドゥーラ・カブラルとガゴ・コウティニョが1922年にリスボンからリオ・デ・ジャネイロへの初の南大西洋横断飛行に使用した水上飛行機「サンタ・クルス号」は、世界の飛行の歴史における重要な1ページを今に伝えています。

Museu do Campo Pequeno

住所: Praça do Campo Pequeno 1000-306 Lisboa

電話: +351 21 799 84 50

Eメール: museu@campopequeno.com ウェブサイト: <http://www.campopequenotaouromaquia.com>

時刻表:

10:00 - 13:00 / 14:00 - 18:00;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Museu do Fado

住所: Largo do Chafariz de Dentro 1 1100-139 Lisboa

電話: +351 218 823 470 ファックス: +351 218 823 478

Eメール: info@museudofado.pt ウェブサイト: <http://www.museudofado.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング;

ファドとポルトガルギター記念館 (Casa-Museu do Fado e da Guitarra Portuguesa) ファドとポルトガルギター記念館は、18世紀にリスボンの庶民の間で生まれたファドというポルトガル特有の歌と音楽を記念し、ファドの進化と発展に自らの声と感情を捧げてきた人々をたたえる博物館です。ここでは、視聴覚システムによって再現されたさまざまな情景や、レコード、写真、フィルム、小道具、機器類など内容の充実したコレクションを通して、ファドの歴史を知ることができます。館内には、資料センター、講堂、ミュージアムショップ、カフェも設けられています。

サン・ロケ博物館 (Museu de São Roque) この博物館は、宗教的な慈善施設サンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディア (Santa Casa da Misericórdia) の所有する品々を公開した展覧会に端を発しています。この展覧会は、ヴァスコ・ダ・ガマのインド到達400周年を記念すると共に、イエズス会による東洋での布教活動を祝って、1898年にリスボンで開かれました。この博物館の所蔵品は、4つのセクションに分けて展示されています。そのセクションには、リスボンのサンタ・カーザ・ダ・ミゼルコルディアの遺産、サン・ロケ教会と聖ロケの伝説に関する絵画等の作品、サン・ジョアン・バプティスタ礼拝堂 (Capela de São João Baptista) の至宝、かつてのイエズス会の所蔵品、の4つがあります。イエズス会は、サン・ロケ学校を創設時 (16世紀) から同会がポルトガルから追放される1768年まで運営していました。この博物館で見ることで多数の貴重な品々の中でも、聖ロケの伝説に関する絵画、グレゴリオ・ロベスの作といわれるポルトガル王ジョアン3世とその妻カタリナの肖像画 (16世紀)、慈愛の書、マヌエル1世とレオノール王妃の婚礼を描いた絵画 (16世紀) は特に見逃せません。

Museu do Centro Científico e Cultural de Macau

住所: Rua da Junqueira, 30 1300-343 Lisboa

電話: +351 21 361 75 70 ファックス: +351 21 362 78 59

Eメール: geral@cccm.pt ウェブサイト: <http://www.cccm.mctes.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

Museu do Oriente

住所: Av^a. Brasília, Doca de Alcântara (Norte) 1350-302 Lisboa

電話: +351 21 358 52 00

Eメール: info@museudooriente.pt ウェブサイト: <http://www.museudooriente.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

はるか極東の港にたどりついた最初の国、ポルトガル。そのポルトガルとアジアとの歴史的なつながりの証にふさわしく、オリエン博物館 (Museu do Oriente) はアルカンタラ河岸 (Doca de Alcântara) に位置し、博物館のある40年代の建物のかたわらをテージュ川が流れるという、素晴らしい環境にあります。当博物館は、二つの常設展を大きな柱としてしています。1階の展示は「アジアにおけるポルトガルの存在」と題し、オリエン財団が長年にわたり収集した美術品、資料類から構成されています。非常に価値の高い収蔵品のなかでも、特筆すべきは17、18世紀の中国・日本の屏風、南蛮美術、インド会社の刻印入り陶磁器コレクション、チモール原住民の文化に関する品々です。2階の展示「アジアの神々」は、クォーク・オン・コレクションを基に計画されたもの。1万3千点以上の品々からなるこのコレクションは、ヨーロッパのこの種のものでは最も重要なひとつとされています。展示室には、操り人形、仮面、絵画、祭具、ランプ、竜、遊具、像など、アジアの芸能美術、民間伝説・信仰の証たる品々が並んでいます。また館内には、特別展示のためのスペースや、音楽、ダンス、演劇、映画、人形劇など、さまざまな文化イベントのための多目的スペースも備わっています。

Museu do Tesouro Real

住所: Palácio Nacional da Ajuda Largo da Ajuda 1349-021 Lisboa

Museu do Tesouro da Sé de Lisboa

住所： Sé de Lisboa - Largo da Sé 1100-585 Lisboa
電話： +351 21 886 67 52

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

リスボン・カテドラル宝物博物館（Museu do Tesouro da Sé de Lisboa）この博物館は、豪華な装飾がほどこされた聖体顕示器などの高価な品々を含む、祭服や金銀製の皿の貴重なコレクションを所有しています。

Museu Geológico

住所： Rua Academia das Ciências, 19-2.º 1249-280 Lisboa
電話： +351 21 346 39 15 ファックス： +351 21 342 46 09

Eメール： museugeol@ineti.pt ウェブサイト： <http://e-geo.ineti.pt/MuseuGeologico/default.htm>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu Nacional de Arqueologia

住所： Praça do Império 1400-206 Lisboa

電話： +351 21 362 00 00 - +351 21 362 00 12 / 14 ファックス： +351 21 362 00 16

Eメール： mнарqueologia@imc-ip.pt ウェブサイト：
<http://www.mнарqueologia-ipmuseus.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

国立考古学博物館（Museu Nacional de Arqueologia）この博物館は、国際的にその名を知られたポルトガル民族学者で言語学者でもあったジョゼ・レイテ・デ・ヴァスコンセロス（1881 - 1941）によって、1893年に設立されました。16世紀に建てられたジェロニモス修道院（Mosteiro dos Jerónimos）の一部を利用しています。ジェロニモス修道院は、ポルトガル発見の歴史における記念碑的存在であり、UNESCOの世界遺産に指定されています。この博物館の幅広い膨大な数の所蔵品は、現在ポルトガルとなっている土地での人間の進化の歴史について学びたい人にとって、欠かすことのできない重要な資料です。ここのコレクション（ヨーロッパでも有数の中石器時代・巨石時代のコレクションを所有）は、はるか古代にはじまり、この半島の伝説的な富に引きつけられてやってきたフェニキアやギリシャの商人や船乗りたちの影響、長期にわたってこの地を支配し独自の社会や政治体系の証拠を数多く残した偉大なローマ文明やアラブ文明まで、幅広い時代をカバーしています。この博物館は、考古学、民族誌、金石学、古銭学に関する幅広いコレクションを活用し、定期的に企画展を開いています。こうした企画展では、特定のテーマに沿って、包括的な時代背景を踏まえた展示を行うことにより、一般の人がその文化的価値をよりよく理解できるようにしています。常設展示には、いつの時代も人々を魅了する黄金の魅力をつつポルトガル考古学の至宝コレクションや、それよりも規模は小さいものの内容の充実した古代エジプトのコレクションがあります。

Museu Nacional de Arte Contemporânea - Museu do Chiado

住所： Rua Serpa Pinto, 4 | Rua Capelo, 13 1200-444 Lisboa

電話： +351 21 343 148

Eメール： geral@mnac.dgpc.pt ウェブサイト：
<http://www.museuartecontemporanea.gov.pt>

電話： +351 211 163 425

Eメール： geral@tesoureal.com ウェブサイト：
<http://www.tesoureal.pt>

特色とサービス:

ショッピング; カフェテリア;

王室宝物博物館（Museu do Tesouro Real）

王室宝物博物館には、旧王室に由来する金細工工芸および宝石コレクションの中から歴史的、芸術的、文化的価値のあるユニークなコレクションを常設展示しています。

宝物には、旧王室の品々のほか、ポルトガル王室の様々なメンバーのプライベートなコレクションで構成されています。世界から集められたユニークな物品は、11のセクションに分けられ、各セクションは、ブラジル、王室紋章(Insignias Régias)、敬称序列(Ordens Honoríficas)および外交上の贈り物(Ofertas Diplomáticas)に関するものなど、ポルトガルの歴史に重要な瞬間を描いています。

民生用の銀製品に関連するコレクションのセクションには、いわゆる「王権の銀（Silver of the Crown）」の一部である16世紀の盆や皿のセットがあり、最初に一般向けに展示されています。特筆すべきはジェルマンのテーブルセット（Baixela Germain）です。1755年の地震の後、金細工師フランソワ・トーマス・ジェルマンによって作られ始めたことからそう呼ばれています。世界で唯一の完全な王室テーブルセットです。観覧は、ポルトガルの国内外の公的セレモニーや厳粛な儀式で使用された時代を思い起こさせる「宝物の旅」の中心で終わります。

アジユダ国立宮殿（Palácio Nacional da Ajuda）も併設されている王室宝物博物館は、長さ40m、高さ10mの3階建てです。入口は、各5トン、厚み40cmの2つの鋼製の扉で出来ています。

博物館には、カフェテリア、ラウンジエリア、オリジナルグッズを取り揃えたショップもあります。

Museu Militar de Lisboa

住所： Largo do Museu da Artilharia (Santa.Apolónia) 1100-366 Lisboa

電話： +351 21 884 25 69 ファックス： +351 21 884 25 16

Eメール： museumilitar@portugalmail.pt ウェブサイト：
<http://www.exercito.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

リスボン軍事博物館（Museu Militar de Lisboa）

リスボン軍事博物館は、テージョ川（Rio Tejo）を見下ろすリスボンの海岸地区にある、興味深い歴史的建造物を利用した博物館です。正面入口には、フランス人建築家フェルディナン・ドゥ・ラールが設計し、1755年の大地震を耐え抜いたポルティコ（柱廊玄関）があります。18世紀始めに修復された別館には、ポルトガル人アーティストの絵画や彫刻が飾られています。東側のファサードには、ポルティコの上に、テイシェイラ・ロペスが彫刻を手がけた印象的なペディメントがあります。この博物館は、1851年に武器博物館の名で正式に設立されました。その後、19世紀後半から20世紀前半の主要なポルトガル人アーティストから寄贈された作品が室内を飾るようになりました。その中には、コルバーノ、マリョア、カルロス・レイス、ヴェロゾ・サルガードなどの作品があり、こうした美術品を楽しめるのもこの博物館の魅力のひとつです。この博物館の展示は、訪れた人に学習的な体験をしてもらえるようデザインされています。ポルトガル王ジョアン1世（1385 - 1433）の剣をはじめとする武器などの軍需品や、数々の装飾的な絵画を通して、インド航路の発見、ポルトガルの第一次世界大戦への参加、モウジーニョ・デ・アルブルケケが指揮した19世紀末のモザンビークでの紛争鎮圧作戦といった、ポルトガル史における重要なテーマについて学ぶことができます。「大砲の中庭（Pátio dos Canhões）」では、カフェテリアで休憩しながら

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表; 支援スキル: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

シアード美術館 (Museu do Chiado) - 国立現代美術館 (Museu Nacional de Arte Contemporânea) リスボンの中でも特に歴史の古い地区にあるシアード美術館 (国立現代美術館) は、1911年に設立されました。その建物は、1994年に、ジャン・ミシェル・ヴィルモットによって現代主義的な設計に基いた改装が行われました。この改築により、美術館としてのセクションが拡大され、名前もシアード美術館と改名されました。所蔵品には、1850年から現代までの油彩画、彫刻、デザイン画などがあります。ポルトガル美術におけるロマン主義、自然主義、現代主義、シュールレアリスム、抽象主義を代表する非常に重要な作品が含まれており、ポルトガル美術の進化の様子を細かく見ていくことができます。この美術館では、期間限定の企画展を開催するにあたり、ある3つの基準を設けています。その基準とは、永久所蔵品も含め、所蔵作品またはその作者や流派に対する新たなアプローチを示す展示、美術館の対象範囲に入る国際的な展覧会、現代アーティストを紹介する展示の3つで、これらの基準に合った展覧会を定期的に行っています。

Museu Nacional do Azulejo

住所: Rua Madre de Deus, 4 1900-312 Lisboa

電話: +351 21 810 03 40 **ファックス:** +351 21 810 03 69

Eメール: mnazulejo@imc-ip.pt **ウェブサイト:** <http://mnazulejo.imc-ip.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

国立アズレージョ美術館 (Museu Nacional do Azulejo) この美術館は、1509年にレオノール王妃によって建てられたマドレ・デ・デウス修道院 (Convento da Madre de Deus) を利用しています。現在の建物は、優れた17世紀の建築に18世紀の絢爛なバロック様式の装飾が組み合わされたものです。来館者は、教会、聖具室、礼拝堂など、修道院全体を見学することができます。この美術館が所蔵する素晴らしいアズレージョの中には、15世紀から現代にかけてのポルトガルにおけるアズレージョの歴史的、技術的、芸術的進化を示す品々が含まれています。主要な展示品として、「生命の聖母 (Nossa Senhora da Vida)」のパネル (1580年)、東洋の影響を受けた祭壇前部、狩りの様子を描いたパネル (1680年)、「舞踏の稽古 (Lição de Dança)」 (1707年)、18世紀につくられたサント・アントニオ礼拝堂 (Capela de Santo António) の壁画タイル、1755年の大地震以前の「リスボン展望図 (Vista Panorâmica de Lisboa)」, 「帽子屋の物語 (História do Chapeleiro)」 (1800年) があります。20世紀の陶芸作品やアズレージョには、ジュリオ・バラダス、マリア・ケイル、ジュリオ・ポマール、カルガレイロ、ケルビン・ラバといったアーティストの作品があります。

Museu Nacional do Traje

住所: Largo Júlio de Castilho - Lumiar1600 - 483 Lisboa

電話: +351 217 567 620

Eメール: mntraje@mntraje.dgpc.pt **ウェブサイト:** <http://www.museudotraje.gov.pt/>; <https://artsandculture.google.com/partner/national-museum-of-costume-in-portugal>

ら貴重な大砲のコレクションを眺めることができます。

Museu Nacional de Arte Antiga

住所: Rua das Janelas Verdes 1249-017 Lisboa

電話: +351 21 391 28 00

Eメール: geral@mnaa.dgpc.pt **ウェブサイト:** <http://www.museudearteantiga.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

国立古美術館 (Museu Nacional de Arte Antiga) 16世紀にカルメル会の修道院があった場所に建つ17世紀の館を利用した美術館です。修道院があった頃の建物では、バロック様式の礼拝堂のみが残っています。この美術館はポルトガルで重要な美術館のひとつであり、その敷地の中にはテージョ川 (Rio Tejo) を見下ろす素晴らしい庭園があります。ヌーノ・ゴンサルヴェス (15世紀)、フレイ・カルロス、ヴァスコ・フェルナンデス、クリストヴァン・フィゲイレド、グレゴリオ・ロベス (16世紀)、ヴィエラ・ポルトウエンセ、ドミンゴス・セケイラ (18~19世紀) といったポルトガル人画家の素晴らしい絵画に加え、優れたヨーロッパの流派や画家 (メモリンク、ボシュ、デューラー、ホルバイン、ジェラール・ダヴィッド、ルーカス・クラナッハ、モラレス、ピーテル・デ・ホーホ、スルバラン、ピエロ・デッラ・フランチェスカ、ラファエロ、フラゴナル、クールベなど) の作品も所蔵しています。中世からバロック時代にかけての宗教彫刻のコレクション (マシャード・デ・カストロの非常に美しいキリスト生誕像数点を含む) や、素晴らしい装飾美術品のコレクションもあります。装飾美術品の中には、ポルトガルおよび東洋の陶磁器 (16~18世紀)、家具、アライオロスのじゅうたん、テキスタイルがあります。忘れてはならないのが、ポルトガルで最も重要な金銀器のコレクションです。中世につくられたものから、18世紀のバロック様式の素晴らしい品、フランス系ドイツ人の金細工職人 (父と息子) によって王室用につくられた非常に美しい銀食器まで、さまざまなものがあります。ポルトガル人と世界のさまざまな国の人々との特別な関係を示すため、アフリカ、インド、中国からわたってきた、象牙細工、家具、刺繍、銀器、磁器、絹製品などの貴重な装飾品のコレクションも展示しています。屏風や漆器を含む、日本の南蛮美術のコレクションもあります。

Museu Nacional de Etnologia

住所: Av. Ilha da Madeira 1400-203 Lisboa

電話: +351 21 304 11 60 **ファックス:** +351 21 301 39 94

Eメール: mnetnologia@ipmuseus.pt **ウェブサイト:** <http://www.mnetnologia-ipmuseus.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

国立民族学博物館 (Museu Nacional de Etnologia) 国立民族学博物館は、1959年にジョルジェ・ディアスが展覧会の開催用に集めた品々がもとになっています。ディアスは、ポルトガル植民地の少数民族研究ミッションの一環として行われた「マコンデ族の生活と芸術」という展覧会の実施責任者でした。この博物館は、1965年にポルトガル植民地民族学博物館の名で正式に設立されました。1974年に民族学博物館と改名され、翌年にはこの博物館用に建設された現在の建物に移転しました。財政難により一般への公開が一時中止されましたが、その後も研究チームによる研究・維持は引き続き行われていました。1985年に再度一般公開されるようになり、1989年に国立博物館となりました。約30,000点におよぶ所蔵品の中で、体系的に収集されてきた農具類が特に貴重なものです。常設展示のセクションはなく、期間を限定して複数のテーマに沿った

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; レストラン;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備;
支援スキル: 視覚障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害,
精神障害;

国立服飾博物館 (Museu Nacional do Traje) 国立服飾博物館は、ルミアール (Lumiar) 地区にあるアンジェジャ・バルメラ宮 (Palácio Angeja-Palmela) を利用した博物館です。この建物は、18世紀に3代目アンジェジャ侯爵ペドロ・デ・ノローニャがつくったもので、1840年にバルメラ家が購入しました。その後1975年に、国が博物館をつくる目的で、隣接するモンテイロ・モル公園 (Parque do Monteiro-Mor) とともにこの館を購入しました。設立当初の所蔵品は、国立馬車博物館から移されてきた約7,000点の衣装やアクセサリーでした。これらの所蔵品の一部は、かつて王家が所有していた品々で、フランスの侵略にあい王家がブラジルへと旅立った際にリスボンに残されたものが含まれています。展示品の中で最も多いのは一般市民の女性用ドレスですが、18世紀のポルトガル帝国の宮廷用ドレスや、衣服の博物館では珍しい男性用の服や子供服もあります。その他にも現代の衣服、タペストリー、宝飾品、おもちゃなどが展示されています。眼の不自由な人向けの小さな常設セクションもあります。館内には、衣服や装飾品、布地、タペストリー、テキスタイルの歴史や技術に関する専門図書室があり、火曜日から金曜日まで自由に閲覧することができます。現在この博物館は、建物の工事のために閉館しています。ただし、ミュージアムショップ、仮設展示セクション、モンテイロ・モル公園は、通常の開館時間に利用できます。

Museu Rafael Bordalo Pinheiro

住所: Campo Grande, 382 1700-097 Lisboa

電話: +351 21 755 04 68 ファックス: +351 21 757 18 58

Eメール: museu.bordalopinheiro@cm-lisboa.pt ウェブサイト:

<http://www.museubordalopinheiro.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;
ラファエル・ボルダロ・ピニエイロ美術館 (Museu Rafael Bordalo Pinheiro) この美術館は、19世紀後半のリスボンで文化、芸術、政治の各分野において重要な人物であったラファエル・ボルダロ・ピニエイロ (1846 - 1905) の生涯と作品を紹介する、伝記的な専門美術館です。ラファエル・ボルダロ・ピニエイロは、デッサンや陶磁器をはじめとするさまざまな芸術作品を残し、風刺画家として、また当時の社会の痛烈な批評家として、高い名声を得ました。この美術館では、ボルダロ・ピニエイロが残した陶磁器の作品の包括的なコレクション (彼の特徴である超自然主義的なセンスを反映したもの) に加え、ピニエイロの絵画、デッサン、出版物を多数所有しています。

Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas

住所: Largo das Portas do Sol 21100-411 Lisboa

電話: (+351) 21 881 46 40 | (+351) 21 881 46 00

Eメール: museu@fress.pt ウェブサイト:

<https://www.fress.pt/museu/um-projeto-original/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照

展示を行っています。これまで行われた展示には、人類科学の一般的な分野をカバーしたもの（「人類と文化」など）をはじめ、現代と直接的に深く関わっているテーマや、ポルトガル特有の音楽様式であるファドなど特定のテーマを取り上げたものがあります。

Museu Nacional do Teatro

住所: Estrada do Lumiar, 10 - 12 1600-495 Lisboa

電話: +351 21 756 74 10 / 19 ファックス: +351 21 757 57 14

Eメール: mn teatro@ipmuseus.pt ウェブサイト:

<http://museudoteatro.imc-ip.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;
国立演劇博物館 (Museu Nacional do Teatro) 夏の住まいとしてつくられた18世紀の小さな館を利用した博物館です。その19世紀の外装は、博物館用に大きく区切られた部屋の内装とよく調和しています。建物の周りには庭園は、19世紀にここを所有していたアンジェジャ侯爵がつくったもので、リスボンでも美しい庭園のひとつです。この博物館に足を踏み入れると、強い感情にいだかれた演劇独特の雰囲気を感じられます。館内にある実物大のセット、舞台衣装、衣裳部屋、小道具、主役たちの風刺画や写真、19~20世紀につくられた紙製のミニ劇場、そして数千枚に及ぶ写真を見れば、いつの時代にも変わらぬ舞台の不思議な魅力を感じることができます。外ではのんびりと歩きながら自然の魅力を堪能し、彫刻の庭園を眺めて楽しむことができます。この一番の見どころのひとつは、舞台と演技に一生を捧げたポルトガルの偉大な俳優や女優へのオマージュです。その中には、エドゥアルド・ブラザンとローザ・イ・ブラザン劇団 (1880 - 1898)、アメリカ・レイ・コラソとレイ・コラソ・ロブレス・モンテイロ劇団、女優のヴィルジニア、アマリア・ロドリゲス、ヴァスコ、エンリケ・サンタナなどがいます。約30,000冊を所蔵するこの図書館は、重要書の揃ったポルトガル最大の舞台芸術専門図書館です。

Museu Nacional dos Coches

住所: Praça Afonso de Albuquerque 1300-044 Lisboa

電話: +351 21 361 08 50 ファックス: +351 21 363 25 03

Eメール: geral@mncoches.dgpc.pt ウェブサイト:

<http://www.museudoscoches.pt>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

国立馬車博物館 (Museu Nacional dos Coches) この馬車博物館は、ポルトガル王カルロス1世 (1889 - 1908) の妻であるオルレアン・ブラガンサ家のアメリカ王妃の提案でつくられました。1905年の落成式には王妃自らに参加しています。この博物館は、華麗な装飾をほどこした17世紀から19世紀の上流階級の乗り物 (大型四輪馬車、箱馬車、常用馬車、二輪馬車、こし、かご) を集めた、他では見ることでできない貴重なコレクションを所有しています。

これらの乗り物は、自動車が出現するまで、ポルトガルをはじめとするヨーロッパ諸国の宮廷や、リスボンの高位聖職者、ポルトガルの貴族によって使われていたものです。この素晴らしい展示品の中でも、希少価値の高いフィリップ2世の長距離用四輪馬車 (16世紀後半)、ポルトガルからローマ法王クレメンス11世のもとへ送られた使節団が使用した記念すべき3台の馬車 (1716年) は特に見逃せません。使節団の馬車には、金で装飾された木製部分に、ポルトガルによる「発見」を賛美する図柄が描かれています。馬車博物館はベレンの新しい建物と、アフォンソ・デ・アルブケルケ広場にも、ヴィラ・ヴィソザのドゥカル宮殿にもある王宮の旧乗馬競技場に分けられています。

馬車博物館 (Museu dos

ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可; トラベラーズチェック利用可;

ポルトガル装飾芸術学校博物館 (Museu-Escola de Artes Decorativas Portuguesas) 銀行家で美術品の収集家でもあったリカルド・エスピリト・サント・シルヴァは、1953年にその貴重な美術品コレクションの一部を国に寄贈しました。その多大な寄贈物のひとつにアズララ宮 (Palácio Azurara) がありました。これは18世紀につくられた美しい建物で、リスボンの古い街並みを残す地区の中でも特に美しい場所であるポルトス・ド・ソル広場 (Largo das Portas do Sol) の近くにあり、アズララ宮の各部屋には真の名品が数多く飾られており、18世紀のポルトガル貴族の館の優雅な雰囲気にひたることができます。ポルトガルでも有数の貴重な家具のコレクションがあり、ポルトガルと遠方の国々との出会いを象徴する品々を含む、16世紀から19世紀の家具が展示されています。装飾品の中には、最高品質のアライオロス (Arraiolos) のじゅうたん、東洋の影響を受けたキルトや刺繍、ポルトガル人画家やポルトガルに滞在した外国人画家の絵画、この博物館の創設者が収集した金銀器の貴重なコレクション (16~19世紀に民間人が使用していたポルトガル製銀器のセットなど)、陶磁器やガラス製品があります。デッサン、版画、装丁本、時計といった、小さいながら価値のある品々もさまざまな部屋に配置されており、実際に人が住んでいるかのような雰囲気を高めています。ポルトガルにおける装飾芸術の研究や学習を促進し、一流の専門訓練を推進していくために、財団では装飾芸術高等学校 (Escola Superior de Artes Decorativas) と美術・工芸研究所 (Instituto de Artes e Ofícios) を運営しています。博物館では、木工品、装飾絵画、彫刻、版画、装丁、めっき、アライオロスのじゅうたんなどに関する伝統技能を学ぶ、さまざまなワークショップが開かれています。世界各地で行ってきた数々の仕事の中でも、ヴェルサイユ宮殿にある火事で焼けたデュバリー婦人の図書室の復元は特に大きな成果といえるでしょう。

Palácio Nacional da Ajuda

住所: Largo da Ajuda 1349-021 Lisboa

電話: +351 213 637 095

Eメール: geral@pnajuda.dgpc.pt ウェブサイト:

<http://www.patrimoniocultural.gov.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

アジュダ宮 (Palácio Nacional da Ajuda)

アジュダ宮は、19世紀前半に建てられた新古典主義の宮殿です。

ルイス1世 (1838 - 1889) が王となり、イタリアのサヴォイアのマリア・ピア王女 (1847 - 1911) と結婚してから、ポルトガル王家の住まいとなりました。

1910年の共和国宣言で宮殿は閉鎖されましたが、1968年に博物館として再び一般公開されました。2018年に、王室宝物博物館の貴重品保管室が設置される西側ウィングの再建を含む建物の再適格性確認作業が始まりました。博物館では現在、ポルトガル王冠宝石を含む1000点を超えるユニークな作品のコレクションを観覧できます。

現代の再建プロジェクトは宮殿の建築設計に続くもので、設計はジョアン・カルロス・サントスによるものです。

アジュダ国立宮殿は、しばしば共和国の元首による公的セレモニーや厳粛な儀式的の場になっています。

アルジュベ博物館—レジスタンスと自由 (Museu do Aljube – Resistência e Liberdade)

Coches) は、ベレンの新しい建物と

王宮の旧乗馬競技場

に分けられていますが、それらはリスボンのアフォンソ・デ・アルブケルケ広場とドヴィラ・ヴィソザにあるドゥカレ宮殿にあります。

新しい国立馬車博物館の建物は、2015年5

月に落成し、ここではコレクションの多くの代表的な部分を保有しています。この博物館は、以前軍の工場 (Oficinas Gerais do Exército

) があったベレンの町の一角を占めており、文化的施設と公共スペースの2

つの目的を担っています。ブリッツアー賞を受賞した建築家でこの建物を設計したパウロ・メンデス・デ・ロシャの言葉によれば、「この博物館にはドアがなく、あらゆる面での触れ合いの機会を作り出しています。」しかしこのプロジェクトは博物館だけが目的ではなく、「公共ス

、展示エリアと技術サポートインフラストラクチャーを拡張するという博物館のニーズに対応し、また訪問者によってこれが最も訪問者の多い博物館と認識されるための新しい側面を作り出しています。その構造は、メインの建物とそれに付随したホールと別館からなり、これらは高架でつながっているため人々はある場所から別の場所へと移動することができます。建物のレイアウトは、自由にアクセスできる内側の広場に向かって一種の柱廊を形作っています

新しい博物館には常設展示および期間限定展示のためのスペースや、予備のコレクション用のエリア、さらには保存・修復のための作業場もあり、ここはこの種の遺産の保存・修復の開発に貢献しています。また、ここには図書館や保管所のための新しいスペース、330座席のホール、レストランバーとカフェテリア、ギフトショップもあります。

王宮の乗馬競技場エリアは

、最初は建築家、ロセンド・カルヴァルヘイロ、その後ラウル・リノにより博物館として建てられましたが、見て興味深く、18世紀を代表する建造物でした。ポルトガルの重要な2人の画家、ジョゼ・マリオアとコンセイサン・イ・シルヴァの絵画は特筆に値します。

ヴィラ・ヴィソザにあるド

ゥカレ宮殿

のかつての厩舎には、国立馬車博物館の支所もあり、アレンテージョ地方のこの市を訪れるように促す説得力のある理由となっています。

Museu República Resistência

住所: Estrada Benfica, 419 1500-078 Lisboa

電話: +351 21 771 23 10 ファックス: +351 21 778 26 81

Eメール: cmlresistencia@mail.telepac.pt ウェブサイト:

<http://republicaresistencia.cm-lisboa.pt>

Palácio dos Marqueses de Fronteira

住所: Largo de São Domingos de Benfica, 1 1500-554 Lisboa

電話: +351 21 778 20 23 ファックス: +351 21 778 49 62

Eメール: fronteiraalorna@mail.telepac.pt ウェブサイト:

<http://www.fronteira-alorna.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー (文化欄) をご参照ください。;

特色とサービス:

ガイドツアー;

フロンテイラ侯爵の館 (Palácio dos Marqueses de Fronteira) この館は17世紀に建てられたもので、同時代のアズレージョによる装飾と、18世紀のロカイユ様式の装飾がほどこされています。室内には、インド ポルトガル家具を含むさまざまな18世紀の家具、スペインの衝立、絵画、タペストリーがあります。「戦いの間」には、再独立をかけた1640年のスペインとの戦いで活躍した、1代目フロンテイラ侯爵の話を描いた一連の

住所：Rua de Augusto Rosa, 421100-059 Lisboa
電話：+351 215 818 535

Eメール: info@museudoaljube.pt ウェブサイト：
https://www.museudoaljube.pt/

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

アルジュベ博物館—レジスタンスと自由は、リスボンのアルファマ地区にあり、かつてのアルジュベ刑務所内に作られた博物館です。カーネーション革命から41周年を迎えた2015年4月25日に開設されたこの博物館は、独裁に対する闘争の歴史と記憶、自由と民主主義のための抵抗をテーマとする市の施設です。

1926年から1974年の間、ポルトガルを支配した政権の不都合な真実を暴くことをテーマとする歴史的博物館です。常設展示は、この時代の世相、民衆の圧制手法、異議・抗議への対応手法、軍事クーデターにつながる反植民地闘争の様々な側面についても来館者に提示しています。

建物の地下にはショッピングと特別展示があります。講堂が付設され、テグス川や街を展望できる4階でも特別展示が開催されます。1階から3階までの常設展示は、社会の水面下の動き、当局、刑務所、そして植民地主義といった様々なテーマで構成され、最近の展示は、「Os que Ficaram pelo Caminho (道半ばで倒れた人々)」と題して、ポルトガルの独裁政権の終焉を見届けることのできた犠牲者をテーマとするものでした。

建物には蔵書センターがあり、博物館のテーマに則した文献を重要度を問わず収集し、処理し、利用可能にしています。一般開放された図書館もあります。

ズレージョがあります。館の外では、ヴィーナスの庭園や、王の回廊が設けられた17世紀の幾何学的な庭園が目を引きまします。

Quake - Centro do Terramoto de Lisboa

住所：Rua Cais da Alfândega Velha, 39 | 1300-598 Lisboa, Portugal

Eメール: info@lisbonquake.com ウェブサイト：
http://www.lisbonquake.com

時刻表:

火～木曜日：14:00～19:00 (最終入場時間)

金曜日から月曜日：10:00から19:00 (最終セッション入場);

その他の情報:

対象年齢は6歳以上です。4～5

歳のお子様は、体験の見学は可能ですが、シミュレーターのプラットフォームには入れません。没入型体験のため、各部屋の見学時間があらかじめ設定されており、合計で1時間30

分程度の見学時間を想定しています。すべてのコンテンツは、ポルトガル語、英語、スペイン語、フランス語の4ヶ国語で提供されます。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;

建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗、

バー/カフェ、身体障害者用設備; バリアフリー情報: 案内板、凡例、

双方向型・視聴覚資料を用いた発表、触覚的探索用のアイテム;

支援スキル: 視覚障害、聴覚障害、運動障害、精神障害;

リスボンで最も新

しい没入型体験の登場です。ベレン-

リスボンにあるクエイクは、ビデオマッピング、インタラクティブ技術、最先端のシミュレーターを

組み合わせ、1755

年にさかのぼり、リスボンの最も破壊的な出来事であるリスボン地震を再現することができます。ご家族やご友人と一緒に、科学、歴史、文化に触れることができる素晴らしい旅です。

リスボンの新しいアトラクションを体験する準備はできましたか？

貨幣博物館(Museu do Dinheiro)

住所：Antiga Igreja de S. Julião, Largo de S. Julião, 1100-150 Lisboa

電話：+351 213 213 240

Eメール: info@museudodinheiro.pt ウェブサイト：
https://www.museudodinheiro.pt/

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

貨幣博物館はリスボンのダウンタウンの古いサン・ジュリアン教会内に2016年春から開館しています。ポルトガル国内、そして国際的な貨幣の歴史を様々な観点でたどることを目的とした文化施設です。この博物館は、西洋と東洋の社会の発展を通じて貨幣の歴史について語っています。ポルトガル銀行(Banco de Portugal)のコインと紙幣のコレクションを見ることができるだけでなく、体験型展示もあります。

博物館展示物は、テーマ毎にグループ分けされており、貨幣が登場する前の別の支払い手段、ユニークなコインの歴史、貨幣のイコノグラフィ、銀行の発展、紙幣とコインの製造、紙幣のイラスト、偽造防止のための特徴、そして市民の生活における貨幣の役割についての個人的な証言の数々を紹介しています。博物館は、12.6kgの純金の延べ棒、中国の古い紙幣やレアなコイン、Muralha de D.

Dinisの一部を含むアイテムにハイライトをあてています。

あらゆる年代をカバーする多様な文化プログラムがあり、カフェテリアやショップもあります。建物は1933年からポルトガル銀行に属しており、2007年から2012年の間、建築家Gonçalo ByrneとJoão Pedro Falcão de Camposの両名により、古い教会のリフォームや修復作業に加えて、博物館展示が企画実施されました。

Loures

Casa-Museu José Pedro

住所: Travessa dos Combatentes da Grande Guerra, 8 2685-043 Sacavém
電話: +351 211 150 536 - 211 151 083/4
Eメール: dcmuseus@cm-loures.pt ; seceramica@cm-loures.pt
ウェブサイト: <https://www.cm-loures.pt/AreaConteudo.aspx?DisplayId=770>

Museu Municipal de Loures

住所: Quinta do Conventinho - EN8 - Km 4,32660-346 Santo António dos Cavaleiros
電話: +351 211 150 536 / 211 150 175
Eメール: dcmuseus@cm-loures.pt ; seconventinho@cm-loures.pt
ウェブサイト: <https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;
ロウレス市立博物館（Museu Municipal de Loures）この博物館には、体験学習用のミニ菜園、ハーブガーデン、特別な活動用の作業所、農業用の運搬機械や農業用器具のコレクションがあり、一般に公開されています。考古学や民族誌に関する企画展を行うスペースも設けられています。ここでは、ロウレス地域で発見された考古学や民族誌に関する展示品に加え、聖霊の礼拝堂（Capela do Espírito Santo）、アラビドス修道院（Conventinho dos Arrábidos）の回廊、噴水や東屋のある自然の空間もあります。

Mafra

Palácio Nacional e Convento de Mafra

住所: Terreiro D. João V2640-492 Mafra
電話: +351 261 817 550 **ファックス:** +351 261 811 947
Eメール: geral@pnmafra.dgpc.pt **ウェブサイト:** <http://www.palaciomafra.pt/>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;
マフラの王宮と修道院（Palácio Nacional e Convento de Mafra）マフラの王宮、修道院、聖堂の壮大なデザインは、ポルトガル王ジョアン5世（1707 - 1750）の時代の王室がいかに裕福であったかを物語っています。ポルトガルのバロック時代を代表する建築物となるこれらの王宮や修道院の建設を命じたのは、ジョアン5世です。フレデリコ・ルドヴィスが設計し、イタリア風の建築要素やスタイルが取り入れられています。王家の夏の住まいとして使われたこの王宮には、ポルトガルをはじめイタリアやフランスの芸術家たちが王の命令で制作したバロック様式の絵画や彫刻などの作品や、シリーロ・ヴォルクマール・マシャード、ドミンゴス・セケイラといったポルトガルの一流芸術家が制作した壁画、祭服や宗教的な装飾品など、さまざまなコレクションが展示されています。聖堂には、世界でもここでしか見られない16台1組のオルガンがあります。ここでは、各塔に57個、計114個の鐘を持つ2組のカリヨン（組み鐘）も設置されています。これは18世紀にアントワープで制作された、世界最

Museu do Vinho e da Vinha - Bucelas

住所: Rua D. Afonso Henriques, 2 - 4 (EN 16)2670-637 Bucelas
電話: +351 211 150 536 / 924 487 297
Eメール: dcmuseu@cm-loures.pt ; museuyinho@cm-loures.pt
ウェブサイト: <https://www.cm-loures.pt/Ligacao.aspx?DisplayId=109&CursorId=527>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表, 触覚的探索用のアイテム;
支援スキル: 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 運動障害;

大のものです。ロカイユ様式の図書館も見逃せません。マフラ修道院の東側の部分にあり、ここの建物群の中で最も長い83メートルのメインルームを使用しています。この図書館は、ポルトガルにおいて最も重要な18世紀の修道院 / 王室図書館です。アラビダ修道院から来た修道士たちの手で整理された18～19世紀の書物約40,000冊が所蔵されており、現在も当時の分類体系がそのまま受け継がれています。修道士たちは、1819年までに入手したすべての書物の題名をリストアップしたカタログも作成しています。この貴重なコレクションの中には16～18世紀の書物が含まれており、22点のインキュナビュラ（初期刊本）や41点の地図など、極めて希少価値の高いものも多々あります。

Oeiras

Centro de Arte Manuel de Brito

住所: Palácio dos Anjos - Alameda Hermano Patrone 1495-064 Algés

電話: +351 21 411 14 00 **ファックス:** +351 21 411 14 05

Eメール: info@camb.pt **ウェブサイト:** <http://www.camb.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

カフェテリア;

アンジョス宮殿（Palácio Anjos）は、アルジェース（Algés）を象徴する建物で、2006年11月より、20世紀のポルトガルアートを代表する多くの作品を展示しています。

Museu da Pólvora Negra

住所: Fábrica da Pólvora de Barcarena Estrada das Fontainhas 2745-615 Barcarena

電話: +351 210 977 420 / +351 210 977 422 / +351 210 977 423 / +

351 210 977 424 **ファックス:** +351 210 977 425

Eメール: museudapolvoranegra@oeiras.pt **ウェブサイト:**

<https://www.oeiras.pt/museu-da-p%C3%B3lvora-negra>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

Palácio e Jardins do Marquês de Pombal

住所: Largo Marquês de Pombal 2780-501 Oeiras

電話: +351 21 440 87 81

Eメール: visit.palacio@cm-oeiras.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-oeiras.pt>

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア;

Lagar de Azeite

住所: Rua do Aqueduto, 2780-190 Oeiras

電話: +351 214 404 834

Museu do Automóvel Antigo de Oeiras

住所: Alameda Calouste Gulbenkian, loja 7 2770-023 Paço D'Arcos

電話: +351 21 441 06 33 **ファックス:** +351 21 441 23 78

Eメール: cpaalx@netcabo.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-oeiras.pt/Museus/Automovel/Automovel>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

オエイラス・アンティークカー博物館（Museu do Automóvel Antigo de Oeiras）この博物館では、20世紀初頭から1960年までに製造された、40点の古い自動車、バイク、自転車を展示しています。

Seixal

Ecomuseu Municipal do Seixal

住所: Praça 1º de Maio 2840-485 Seixal

電話: +351 210 976 112 **ファックス:** +351 210 976 113

Eメール: ecomuseu@cm-seixal.pt **ウェブサイト:** <http://www.cm-seixal.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

Setúbal

Museu de Arqueologia e Etnografia de Setúbal

住所: Avenida Luísa Todi, 162 2900-451 Setúbal

電話: +351 265 239 365 **ファックス:** +351 265 527 678

Eメール: maeds@mail.telepac.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

セトゥーバル考古学・民族誌博物館（Museu de Arqueologia e Etnografia de Setúbal）

この博物館では、伝統的な漁業と塩づくりの様子を紹介するとともに、農耕に使う道具や機械をはじめとする農業活動（コルク採取、畜牛など）に関する品々の展示を行っています。

民族誌に関する所蔵品には、羊毛を紡いだ糸や織物、リネン、レース、地域の伝統衣装などがあります。

旧石器時代からローマ時代にかけての考古学的遺物のコレクションも展示されています。

Museu do Barroco

住所: Casa do Corpo Santo - Terreiro de Santa Maria 2900-334 Setúbal

電話: +351 265 236 066 **ファックス:** +351 265 537 893

Eメール: museu.setubal@mun-setubal.pt

Museu Oceanográfico

住所: Fortaleza de Santa Maria da Arrábida - Portinho da Arrábida - Parque Natural da Arrábida

電話: +351 21 218 97 91

ウェブサイト: <http://www.icn.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

海洋学博物館（Museu Oceanográfico）

この博物館は、サンタ・マリア・ダ・アラビダの要塞（Fortaleza de Santa Maria da Arrábida）を利用した博物館です。館内には、セトゥーバルの博物学者ルイス・ゴンザガ・ド・ナシメントが20世紀初頭から集めたコレクション専用の展示室が設けられています。その他にもアラビダの沿岸で採集された動植物を見ることができる海水水族館、アラビダの海岸線やアラビダ山脈（Serra da Arrábida）やサド川（Rio Sado）に関するさまざまなテーマに沿った展示が行われている展示室もあります。ビデオを観られる視聴覚室や、ビデオライブラリーも設けられています。現在は博物館となっているこの要塞は、1670年にアラビダ修道院から

Museu de Setúbal / Convento de Jesus

住所: Rua do Balneário Dr. Paulo Borba 2900-261 Setúbal

電話: +351 265 537 890 **ファックス:** +351 265 537 893

Eメール: museu.setubal@mun-setubal.pt **ウェブサイト:** <http://www.rpmuseus-pt.org/Pt/cont/fichas/museu92.html>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショップ;

セトゥーバル美術館（Museu de Setúbal）/ ジェズス修道院（Convento de Jesus）ジェズス修道院に設けられているセトゥーバル美術館では、宗教儀式に使用する金銀の皿のコレクションや、16世紀のポルトガル絵画やフランドル絵画など、16世紀の美術品を展示しています。

中でも、セトゥーバルのジェズスの教会（Igreja de Jesus）の祭壇画は特に見ごたえがあります。14枚のパネルからなるこの祭壇画は、ジョルジェ・アフォンソのリスボン工房が制作したもので、ジョルジェ・アフォンソ、グレゴリオ・ロペス、ガルシア・フェルナンデス、クリストヴァン・フィゲイレドという、当時最も評判の高かった芸術家たちの技を結集した作品です。

Museu do Trabalho Michel Giacometti

住所: Largo Defensores da República 2910-470 Setúbal

電話: +351 265 537 880 **ファックス:** +351 265 537 889

Eメール: museu.trabalho@mun-setubal.pt **ウェブサイト:** <http://www.rpmuseus-pt.org/Pt/cont/fichas/museu94.html>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

トラパーリョ・ミシェル・ジャコメッティ博物館（Museu do Trabalho Michel Giacometti）

かつて魚の缶詰工場として使われていた建物を利用した博物館で、魚の缶詰製造や缶詰にプリントするリトグラフに関する産業機械に加え、ミシェル・ジャコメッティの指導の下で集められた農具や農耕機械を展示しています。この博物館は、欧州会議の1998年度欧州博物館賞の努力賞を受賞しました。

の要請により、当時実権を握っていたドン・ペドロ（後のペドロ2世）の命令で建造されました。1978年にアラビダ自然公園に寄付され、公園側はそれを改築して1991年に海洋学博物館をオープンしました。17世紀の設計であることがはっきりとわかるつくりになっており、海側には4つの胸壁が設けられています。ここには、石の彫刻や入口の上にある紋章など、注目に値するポイントがいくつかあります。同じく17世紀の特徴を持つ、非常に美しい「リオーズ」の大理石でつくられた聖母マリア像もあります。

Sintra

Casa-Museu Leal da Câmara

住所：Calçada da Rinchoa, 67 - Rinchoa 2635-312 Rio de Mouro

電話：+351 21 916 43 03 ファックス：+351 21 916 43 03

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

レアル・ダ・カマラ美術館（Casa-Museu Leal da Câmara）この美術館は、油画家で風刺画家でもあったレアル・ダ・カマラ（1876 - 1948）が住んでいた家を使用しています。レアル・ダ・カマラがデザインした家具、アズレージョ、テーブルランプ、陶磁器に加え、さまざまなテーマで描かれた絵画作品の一部（油彩画、水彩画、デッサン、パステル画、木炭画など）や、レアル・ダ・カマラ自身に関する多数の資料が展示されています。

MU.SA - Museu das Artes de Sintra

住所：Av. Heliodoro Salgado 2710-575 Sintra

電話：+351 219 236 101

Eメール：dcul.servico.educativo@cm-sintra.pt ウェブサイト：

<http://www.cm-sintra.pt>

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, 身体障害者用設備;

Museu Arqueológico de São Miguel de Odrinhas

住所：Av. Prof. Dr. D. Fernando de Almeida - Odrinhas 2705-739 São João das Lampas

電話：+351 21 961 35 74 ファックス：+351 21 961 35 78

Eメール：museudeodrinhas@sapo.pt ウェブサイト：

<http://museuarqueologicodeodrinhas.cm-sintra.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー;

サン・ミゲル・デ・オドリニャス考古学博物館（Museu Arqueológico de São Miguel de Odrinhas）この博物館は、紀元前4世紀から紀元19世紀まで、2000年以上にわたるさまざまな時代の碑銘のコレクションを所有しています。所蔵品の中には、エルトリアの石棺のコレクション（エルトリア時代の地下聖堂）、膨大な量のローマ時代の碑文（ローマ時代のバシリカ聖堂）、一連の古代キリスト教の墓石（西ゴート時代の教会）、古代建造物の再利用に関するセクション（クロノス・デヴォラートル）、中世および中世以降の多数の墓石などがあります。サン・ミゲル・デ・オドリニャスのローマ時代のヴィラから見つかった遺物も展示されています。

Museu Ferreira de Castro

Chalet da Condessa d'Edla

住所：Estrada da Pena 2710-609 Sintra

電話：+351 21 923 73 00 ファックス：+351 21 923 73 50

Eメール：info@parquesdesintra.pt ウェブサイト：

<http://www.parquesdesintra.pt>

その他の情報:

事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方を対象としたガイドツアーをご利用頂けます。

ペナ公園には身体の不自由な方をサポートする設備があり、全ての観光客にアクセシブルとなっています。手動式車椅子に取り付けられる Swiss-Trac 装置や多様な興味関心を引くスポットに行くことができる電気バスもあります。

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備; 支援スキル: 聴覚障害, 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 聴覚障害, 運動障害;

エドラ伯爵夫人のシャレー[Chalet da Condessa d'Edla]

火災により部分的に損壊した後、大規模な修復作業が実施され、一般公開を迎えました。それはポルトガル史におけるすばらしいラブストーリーの記憶を保存し、ユネスコより人類の遺産として分類された最初の文化的景観であるシントラ山塊[Serra de Sintra]にあるペナ公園[Chalet da Condessa d'Edla]の堂々とした建造物群の観光ルートに含まれています。

この建物は19世紀後半にヨーロッパで流行していたアルパインシャレーのモデルに従って、ドン・フェルナンド2世国王[D. Fernando II]が女王マリア2世[D. Maria II]の死から16年後、恋に落ち1869年に2度目の結婚を希望したクラシック歌手、エドラ伯爵夫人のために建設されました。

当時のロマンティックな潮流の強く風光明媚な雰囲気であふれたその建物の外装はドア枠、窓、丸窓に装飾要素としてのコルクの使用が際立ち、完全に壁画で覆われています。典型的なバルコニーが突き出し、上階のすべてを取り囲んでいます。内装はしっくい、フレスコ、はめ込まれたコルクと銅で上質かつ精巧に作られています。

シャレーの周りの庭園には、当時の収集潮流に影響を受けたドン・フェルナンドとエドラ伯爵夫人が世界各地から収集した植物種が見られます。ドラマに満ちたロマンティックな環境を作り出すためにオーストラリアとニュージーランドから木生シダが慎重に導入された庭園の中でも最もエキゾチックなフェテイラ・ダ・コンデッサ[Feteira da Condessa]は特筆に値する場所です。

修復作業は2007年にEEA-

Grantsの融資により開始し、ポルトガル政府観光局[Turismo de Portugal]と環境戦略プログラムのサポートにより補完されました。現在シャレーは周囲の庭園とともに元通りとなり、ペナ公園のユニークで新たな見

住所：Rua Consiglieri Pedroso, 34 Vila Velha 2710-550 Sintra
電話：+351 21 923 88 28 ファックス：+351 21 923 88 28
Eメール：museu.fcastro@cm-sintra.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

フェレイラ・デ・カストロ博物館（Museu Ferreira de Castro）この博物館には、作家フェレイラ・デ・カストロ（1898 - 1974）が仕事部屋に使っていた部屋があり、初版本、原稿、手紙など、その執筆活動に関連のある品々が展示されています。

Palácio e Parque Biester

住所：Av. Almeida Garrett, 1A2710-567 Sintra
電話：+351 218 708 800
Eメール：info@biester.pt ウェブサイト：http://www.biester.pt

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 一部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス:
バー/カフェ, 身体障害者用設備, 中庭; バリアフリー情報: 案内板, 凡例;

Palácio e Quinta da Regaleira

住所：Rua Barbosa du Bocage 2710-567 Sintra
電話：+351 21 910 66 50 ファックス：+351 21 924 47 25
Eメール：regaleira@mail.telepac.pt ウェブサイト：
http://www.regaleira.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

特色とサービス:

ガイドツアー; カフェテリア;

キンタ・ダ・レガレイラの館（Palácio e Quinta da Regaleira）シントラの歴史的地区の中心近くにあるキンタ・レガレイラは、この街で最も謎に満ちた場所のひとつです。キンタ・ダ・レガレイラの館は、大富豪アントニオ・アウグスト・カルヴァーリョ・モンテイロ（1848 - 1920）によって、20世紀初頭に建てられました。この大富豪は、建築家で舞台美術家のルイジ・アーネニ（1848 - 1936）の手を借りて、ここに自らの夢をひとつ実現させたのでした。豊かな緑に囲まれたこの館には、興味深い見どころがたくさんあります。ゴシック様式、マヌエル様式、ルネッサンス様式の建築的・装飾的な特徴を真似た、ロマン主義的な復興様式で建てられ、そこに神秘的な象徴主義が加えられています。ここで忘れてはならないのが聖三位一体の礼拝堂（Capela da Santíssima Trindade）です。ここからは、井戸状の螺旋階段を使って地下聖堂に上がることができます。その底の部分には洞窟があり、庭の中央部に隠された池とつながっています。

Palácio Nacional de Queluz

住所：Largo do Palácio de Queluz 2745-191 Queluz
電話：+351 219 237 300 ファックス：+351 219 237 350
Eメール：info@parquesdesintra.pt ウェブサイト：
http://www.parquesdesintra.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

ケルース宮（Palácio Nacional de Queluz）のちの女王マリア1世（1734

）どころの中心となっています。

Museu Anjos Teixeira

住所：Azinhaga da Sardinha, Rio do Porto2710-631 Sintra
電話：+351 21 923 88 27
Eメール：dcul.museu.ateixeira@cm-sintra.pt ウェブサイト：
http://www.cm-sintra.pt

特色とサービス:

ガイドツアー;

バリアフリー案内:

入口へのバリアフリー経路: 一部; 建物内のバリアフリー通路: 一部;
バリアフリー情報: 凡例, 双方向型・視聴覚資料を用いた発表,
触覚的探索用のアイテム;

アンジョス・テイシェイラ美術館（Museu Anjos Teixeira）この美術館には、彫刻家のアルトゥール・アンジョス・テイシェイラ（1880 - 1935）とその息子アウグスト・ドス・アンジョス・テイシェイラ（1908 - 1997）が残した、数多くのデッサン、模型、鋳型、彫刻、ブロンズ作品が展示されています。

Museu de História Natural de Sintra - Coleção Miguel Barbosa

住所：Rua do Paço, nº 20 - Vila de Sintra 2710-602 Sintra
電話：+351 21 923 85 63 / 21 910 52 49 ファックス：+351 21 923 85 20
Eメール：museu.hnatural@cm-sintra.pt ウェブサイト：http://www.cm-sintra.pt

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

NewsMuseum

住所：Rua Visconde de Monserrate, 262710-591 Sintra
電話：+351 210 126 600 / 01
Eメール：info@newsmuseum.pt ウェブサイト：
http://www.newsmuseum.pt

時刻表:

4月～9月: 午前9時30分～午後7時

10月～3月: 午前9時30分～午後6時

12月25日に閉店;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備; 身体障害者専用駐車スペース;
入口へのバリアフリー経路: 全部; バリアフリー入口: 全部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路:
全部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ,
身体障害者用設備, 中庭, ホール; バリアフリー情報: 案内板, 凡例,
双方向型・視聴覚資料を用いた発表; 支援スキル: 聴覚障害, 運動障害,
精神障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 聴覚障害, 運動障害;

NewsMuseumは、最近の歴史のエピソードのメディア報道を呼び出して説明し、訪問者がラジオやテレビと交流できるようにします。それは彼らの仕事で不朽のジャーナリストに敬意を表し、それは業界の主人公を呈し、競争カバレッジの進展を予測し、私たちが象徴するメディア戦闘を文脈化し、私たちの時代の「悪いニュース」を見る。プロバガンダと広報業界を解き放つ。

- 1816)の夫ペドロ3世の命令で建てられ、王家の住まいとして使用されたこの宮殿は、18世紀後半のポルトガル建築の最も優れた例のひとつです。ここには貴重な装飾美術品の美術館も設けられており、この宮殿をさらに素晴らしい場所としています。美術館の所蔵品の大半は、かつて王家が所有していたものであり、王家の品としてふさわしい場所に展示されています。この部屋の多くは、ロカイユ様式の装飾がほどこされています。例えば「玉座の間」では、壁は鏡や素晴らしい木工細工で飾られています。宮殿を取り囲む庭園には、噴水や装飾的な池がつけられており、神話をモチーフにした彫刻からきらめく水が噴き出ています。中でも、海王の庭園につくられた池の周りには数々の彫刻は特に見ごたえがあります。

Sintra Museu Klaus Ohnsmann

住所: Rua Marechal Saldanha,3 (entrada/entrance Costa do Castelo, 2) 2710-587 Sintra

電話: +351 21 923 44 87

Eメール: klausohnsmannpainter@msn.com

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア;

インタラクティブなインフォテイメントは非常にモダンで参加型で、教育的な訪問のために準備された小さな講堂があります。ポルトガル語と英語で利用できるこのエクスペリエンスは、合計16時間のビデオやその他の形式でパーソナライズされています。

Palácio e Parque de Monserrate

住所: Estrada de Monserrate 2710-405 Sintra

電話: +351 21 923 73 00 **ファックス:** +351 21 923 73 50

Eメール: info@parquesdesintra.pt **ウェブサイト:**

<http://www.parquesdesintra.pt>

その他の情報:

事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方を対象としたガイドツアーをご利用頂けます。

シントラの公園は身体の不自由な方をサポートする設備があり、全ての観光客にとってアクセシブルとなっています。手動式車椅子に取り付けられる Swiss-Trac システムや多様な興味関心を引くスポットに行くことができる電気バスがあります。

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 一部; バリアフリー入口: 全部; 特別なお手伝いが必要な方の受付エリア; 建物内のバリアフリー通路: 一部; バリアフリーのエリア/サービス: 店舗、バー/カフェ, 身体障害者用設備; バリアフリー情報: 触覚的探索用のアイテム; 支援スキル: 聴覚障害, 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

モンセラテの館と公園 (Palácio e Parque de Monserrate)

この素晴らしいロマン主義の公園は、シントラ山脈 (Serra de Sintra) に魅せられたウィリアム・ベックフォードによってつくられました。モンセラテの館と公園は、果樹園と牧場のある農場だった場所につくられており、18世紀にメロ・イ・カステロ家からその農場を借りたジェラルド・デヴィズメが最初に構想しました。その後、やはりここに住んだウィリアム・ベックフォードとフランシス・クックにその構想が引き継がれました。しかし、コントラストに富んだこの公園の風景をつくりだしたのは、初代モンセラテ子爵であるフランシス・クックです。彼は、風景画家のウィリアム・ストックデール、植物学者のウィリアム・ネヴィル、名庭師のジェームズ・パーとともに、遺跡や滝や湖や人の目に触れない木陰の間を曲がりくねった小道が交錯する、この一見無秩序な庭をつくりあげました。ポルトガルに自生する植物 (アービュタス、セイヨウヒイラギ、コルクガシなど) と、世界の5大陸すべてから集められた植物がうまく組み合わせられており、オーストラリアやメキシコや日本など世界中のさまざまな草木の間を散歩することができます。ここに植えられている植物は、合計2500種以上におよんでいます。館の中では、音楽室、インドの間などの豪華な客間、食堂、図書室が特に目を惹きます。これらの部屋はみな1階にあります。宮殿の中をまわるツアーではプライベートな部屋のある2階も見学できます。

Palácio Nacional da Pena

住所: Estrada da Pena 2710-609 Sintra

電話: +351 21 923 73 00 **ファックス:** +351 21 923 73 50

Eメール: info@parquesdesintra.pt **ウェブサイト:**

<http://www.parquesdesintra.pt>

その他の情報:

ペナ宮の観覧ルートは段差が多いため車椅子の方は入場できません。事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方を対象としたガイドツアーをご利用頂けます。

ペナ公園は身体の不自由な方をサポートする様々な設備があり、アクセシブルとなっています。けん引装置を取り付けられる手動式車椅子や

王宮までのルート網を網羅しているアクセシブル対応バスなどをご用意しています。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー; カフェテリア; レストラン;

支払い:

クレジットカード利用可;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 入口へのバリアフリー経路: 一部;
特別なお手伝いが必要な方の受付エリア;
バリアフリーのエリア/サービス: 店舗, バー/カフェ, 身体障害者用設備;
支援スキル: 聴覚障害, 運動障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス:
視覚障害, 聴覚障害, 運動障害, 精神障害;

ペナ宮 (Palácio Nacional da Pena) この魅力あふれる宮殿は、ポルトガルにおける19世紀のロマン主義的な復興様式の建築物の中で、最も優れたものです。ペナ宮は、ジェロニモス派の古い修道院があった、モンテ・ダ・ペナ (Monte da Pena) の山頂に建てられています。この宮殿は、1836年にマリア2世と結婚したザクセン・コーブルク・ゴータ家のフェルナンド2世の想像力の結晶です。フェルナンド2世はシントラをいたく気に入りに入り、ここに王室用の夏の宮殿をつくるために、修道院とその周辺の土地を購入することを決めたのでした。王は、さまざまな復興様式に基づく宮殿 (ネオ・ゴシック、ネオ・マヌエル、ネオ・イスラム、ネオ・ルネッサンス様式) に、ポルトガル式の建築的・装飾的な特徴を取り入れました。その一方で宮殿の周りには、さまざまな外来の木を植えた壮大な英国風の森林公園をつくりました。宮殿の内部には、かつてここに住んだ王や王妃の趣味に合わせた装飾が今も残されています。忘れてはならないのが礼拝堂で、ニコラ・シャンテレヌ (リスボンのジェロニモス修道院を手がけた建築家の一人) の作とされる素晴らしいアラバスターの祭壇飾りを見ることができます。トロンブルイユの技法を使った壁の絵やアズレージョも一見の価値があります。宮殿の一角にはレストランが設けられており、そのテラスからはシントラ山脈と海岸を見渡す美しい景色が楽しめます。

Palácio Nacional de Sintra

住所: Largo Rainha D. Amélia 2710-616 Sintra

電話: +351 219 237 300 **ファックス:** +351 219 237 350

Eメール: info@parquesdesintra.pt **ウェブサイト:**

<http://www.parquesdesintra.pt>

その他の情報:

事前予約をすれば、特別な支援を必要とする方へのガイドツアーが利用できます。

シントラの王宮の観覧ルートは特別な支援を必要とする方に合わせてより見やすく変更しました。空間の景観を損なわずに利用できる、傾斜台などの移動可能な設備やプラットフォームリフトなどの固定式およびリバーシブルツールなどのアクセシビリティ対策設備を設置しています。

正面玄関には複数の踊り場があるので、身体の不自由な方がアクセスすることはできません。身体に不自由がある方は、傾斜台を利用できるキッチンからご入場ください。ここからマヌエル様式の部屋[Sala Manuelina]に行くことができ、その後王宮をすべて見て回ることができます。

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

バリアフリー案内:

身体障害者専用駐車スペース; 建物内のバリアフリー通路: 一部;
バリアフリーのエリア/サービス: 身体障害者用設備; 支援スキル:
聴覚障害; 利用可能な支援プロダクト/サービス: 視覚障害, 聴覚障害;

シントラの王宮 (Palácio Nacional de Sintra) シントラの王宮は、ポルトガル各地にある中世の王宮の中でも独特の存在であり、シントラの街で最も目立つ建物でもあります。最初の王国建国以来、シントラはポルトガルの王や王妃が好む場所のひとつとなってきました。しかし、現在の王宮があるのは、改築を行ったジョアン1世と、装飾をさらに美しくするとともに建物の増築を行ったマヌエル1世のおかげです。宮殿の中に入

れば、誰でも何かしらポルトガルの歴史について新たな発見があります。室内の装飾は、ここに住んだ歴代の王たちの趣味に合わせてさまざまな芸術様式が組み合わされており、非常に見ごたえがあります。装飾様式によって各部屋には独自の特徴があり、それぞれに名前が付けられています。中でも、白鳥の間、紋章の間、カササギの間（読書室）、礼拝堂は、特に訪れる人の目を引きまします。この宮殿には、マヌエル1世が持ち込んだスペイン ムーア風のタイルから18世紀の典型的な青と白のタイルまで、幅広い装飾タイル（アズレージョ）があり、ポルトガルにおけるアズレージョの進化の歴史を大まかにたどることができます。外装では、台所に設けられている2本の巨大な円錐形の煙突が、最も目立つ特徴です。これらの煙突はそれぞれ33メートルの高さがあり、現在ではシントラのシンボルです。

Vila Franca de Xira

Casa Museu Mário Coelho

住所： Tv. do Alecrim, 5 2600-195 Vila Franca de Xira

電話： +351 263 272 920 **ファックス：** +351 263 272 920

Eメール： museumunicipal@cm-vfxira.pt

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu de Alhandra - Casa Dr. Sousa Martins

住所： Largo do Cais, nº 2 2600-422 Alhandra

電話： +351 21 950 36 45

Eメール： museualhandra@mail.telepac.pt **ウェブサイト：** <http://www.museusousamartins.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

特色とサービス:

ショッピング; ガイドツアー;

Museu do Ar

住所： Granja do Marquês 2710-021 Sintra

電話： +351 21 967 89 84 **ファックス：** +351 21 967 89 38

Eメール： musedoar@emfa.pt **ウェブサイト：** <http://www.emfa.pt/www/po/musar/?lang=pt>

航空博物館（Museu do Ar） - アルヴェルカ（Alverca）この珍しい博物

館では、ポルトガルにおける軍や民間の飛行の歴史について学び、空を

征服する道を切り開いたポルトガルの先駆者たちについて知ることがで

きます。ここに展示されている飛行機、エンジン、飛行装備、写真、そ

して実物の70分の1の大きさのモデル飛行機約600点は、太古の昔から人

間を抱いてきた「空を飛ぶ」という夢を雄弁に物語っています。この博

物館は、子どもたちに実物大のレプリカや、今も飛行可能な実物の飛行

機を見せるのに最適の場所です。展示されている飛行機の中には、サン

トス・デュモンが使用した重さわずか118 kgの「ドゥモワゼル号」（190

8年）から、ポルトガル空軍において初めて水平飛行で音速に達した飛行

機まで、さまざまなものがあります。ポルトガルにおける飛行の歴史の

中で重要な日を3つ挙げると以下の通りになります：1922年 - 操縦士の

アルトゥール・サカドゥラ・カブラルと航空士のカルロス・ヴィエガス

・ガーゴ・コウティーニョが、リスボンから厳しい行程を制覇してリオ

・デ・ジャネイロに無事到着し、初の南大西洋横断に成功しました。こ

の偉業の達成に使われたのは、フェ%

Museu do Neo-Realismo - Vila Franca de Xira

住所： Rua Alves Redol, 45 2600-109 Vila Franca de Xira

電話： +351 263 285 626 **ファックス：** +351 263 284 814

Eメール： neorealismo@cm-vfxira.pt **ウェブサイト：** <http://www.cm-vfxira.pt>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。;

ネオリアリズム美術館（Museu do Neo-

Realismo） - ヴィラ・フランカ・デ・シーラ（Vila Franca de Xira）この美術館では、ポルトガルにおけるネオリアリズムに光をあてた展示を行っており、膨大な文学コレクションをはじめ、このテーマに沿ったビデオ、絵画、音楽、出版物を所有しています。

Núcleo Museológico de Alverca do Ribatejo

住所： Praça João Mantas (Largo do Pelourinho) 2615-101 Alverca do Ribatejo

電話： +351 21 957 03 05

Museu Municipal de Vila Franca de Xira

住所：Rua Serpa Pinto, 65 2600-263 Vila Franca de Xira

電話：+351 263 280 350 ファックス：+351 263 280 358

Eメール：museumunicipal@cm-vfxira.pt ウェブサイト：

<http://www.museumunicipalvfxira.org>

その他の情報:

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

バリアフリー案内:

車椅子用通路の設備;

特色とサービス:

ショップ; ガイドツアー;

ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館（Museu Municipal de Vila Franca de Xira）ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館は複数の場所に設けられており、場所によってさまざまな展示がおこなわれています。

1. ソブラリーニョ宮（Palácio do Sobralinho）博物館の本部となっている17世紀の宮殿で、資料センターと教育サービスも入っています。宮殿の建物と敷地も見学することができます。南の塔には「宮殿ワークショップ」が設けられており、4才から12才までの子どもたちに美術教育を行うアトリエがあります。2. アルヴェルカ博物館（Núcleo Museológico de Alverca）「日常生活から博物館へ：17世紀から20世紀のアルガルヴェ」をテーマに、この地域一帯の農業活動に関わりのあるものを中心とした、民族誌的な品々を数多く展示しています。3. 歴史アーカイブ 4. バルコ・ヴァリノ・リベルダーデ（Barco Varino Liberdade）

バルコ・ヴァリノ・リベルダーデは、かつてテジョ川（Rio Tejo）で使われていた典型的な川船です。完全に昔の姿に復元されており、4月から9月まで川を運航しています。5. キンタ・ダ・ピエダーデ（Quinta da Piedade）

キンタ・ダ・ピエダーデは、ポヴォア・デ・サンタ・イリア（Póvoa de Santa Iria）にある建物と土地からなり、国の史跡に指定されています。

ドン・マルティニョ協会が所有する、地域の歴史に関する品々の常設展示を行っているほか、図書室と特別展示用のギャラリーも設けられています。農耕機械専門の博物館も近々オープンする予定です。6.

サント・マルティル教会（Igreja de Santo Mártir）この教会は、ヴィラ・フランカ・デ・シーラ市立博物館の宗教美術センターです。